

市民アンケート調査及び分析結果について

第1章 市民アンケート調査の実施

1 調査の目的

市民アンケート調査は、本市の公共施設のあり方を検討する上での基礎資料とすること及び、アンケートの対象者に対し、公共施設の現状や課題について考える機会をつくり、市民の意向等の把握を行うことを目的として実施しました。

2 調査概要

市民アンケート調査の概要を以下に示します。

- ・ 調査名 岩倉市の公共施設の利用及び今後のあり方に関する市民アンケート調査
- ・ 調査対象 平成 28 年 6 月 1 日時点の住民基本台帳から、16 歳以上の市民 2,500 人を無作為に抽出
- ・ 調査期間 平成 28 年 6 月 23 日～平成 28 年 7 月 22 日
- ・ 総回答数 914 人（回収率 37％）
- ・ 調査項目 下表の通り

表1-1 調査項目

調査項目	内容
1. 回答者の属性	・ 性別、年齢、職業等（問 1）
2. 公共施設の利用状況	・ 市内の公共施設の利用頻度（問 2）
3. 公共施設の評価	・ 利用時間、人員配置（問 3①）
	・ 利用料金、サービス内容（問 3②）
	・ ハード面の規模、安全性等（問 3③）
	・ 公共施設の施設数（問 3④）
	・ 公共施設のアクセス（問 3⑤）
4. 今後の公共施設のあり方	・ 今後の公共施設のあり方（問 4）
	・ 統合や複合のあり方（問 5）
	・ 今後維持（保有）すべき公共施設（問 6①）
	・ 今後統合・削減すべき公共施設（問 6②）
	・ 民間への転換、民間の管理運営について（問 7）
5. 自由記入	・ 近隣自治体の施設の使用について（問 8）
	-

次頁より、アンケート調査時に使用したアンケート用紙を示します。

岩倉市の公共施設の利用及び今後のあり方に関する 市民アンケート調査

アンケート調査にご協力いただく皆様へ

平素は、岩倉市の市政運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

全国的に公共施設の老朽化が進んでおり、その対策が大きな課題となっています。岩倉市も例外ではなく、今後公共施設の維持にかかる費用が大きな負担になることが予想されます。そのため、適正な施設の配置、長寿命化を含めた将来を見据えた公共施設のあり方を市民の皆さんと行政が一体となって議論する必要があると考えています。

岩倉市では、平成 27 年度に公共施設の現状や将来の建て替え等に係る費用を分かりやすく「見える化」した「岩倉市公共施設白書」を作成し、広報いわくら及びホームページで公表しました。また、現在、公共施設等の管理に関する基本的な考え方をまとめた「岩倉市公共施設等総合管理計画」の策定作業を進めています。さらに公共施設のあり方の基本的な考え方をまとめる「岩倉市公共施設再配置計画」を策定していく予定です。この計画の中で、今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎資料として、公共施設の利用等に関する皆さんのご意見・ご感想をいただき、策定にあたっての参考とさせていただくことを目的に調査を実施します。

調査票は、岩倉市内にお住まいの 16 歳以上の方の中から 2,500 人の方に送付させていただいています。なお、調査の結果は全て統計的に処理し、目的以外に利用することはありません。個人に関わる情報が公表されることは一切ありません。お手数をおかけしますが調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成 28 年 6 月

岩倉市長 片岡 恵一

ご記入にあたっての注意事項

○今回の調査での公共施設とは建物のことを指し、公園等の施設は含みません。

○公共施設の利用などについて、あなた自身の思いや考え方にもっとも近いと思う番号に○をつけてください。

○設問によって個別の問いがある場合には、問いに沿ってご記入ください。

○アンケート調査は、皆さんの回答を統計的に処理し、**目的以外に使用することはありません。**

○記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが同封の返信用の封筒に入れて、投函してください。**差出人記名及び切手貼付ともに不要です。**

○アンケートの回答期限は 7 月 22 日（金） となっております。ご協力をお願いします。

○この調査に関してご不明な点がございましたら、お気軽に下記の問い合わせ先までご連絡ください。

調査に関する

問い合わせ先：岩倉市役所 建設部都市整備課営繕グループ Tel (0587) 38-5814(直通)

市民アンケートのための基礎情報

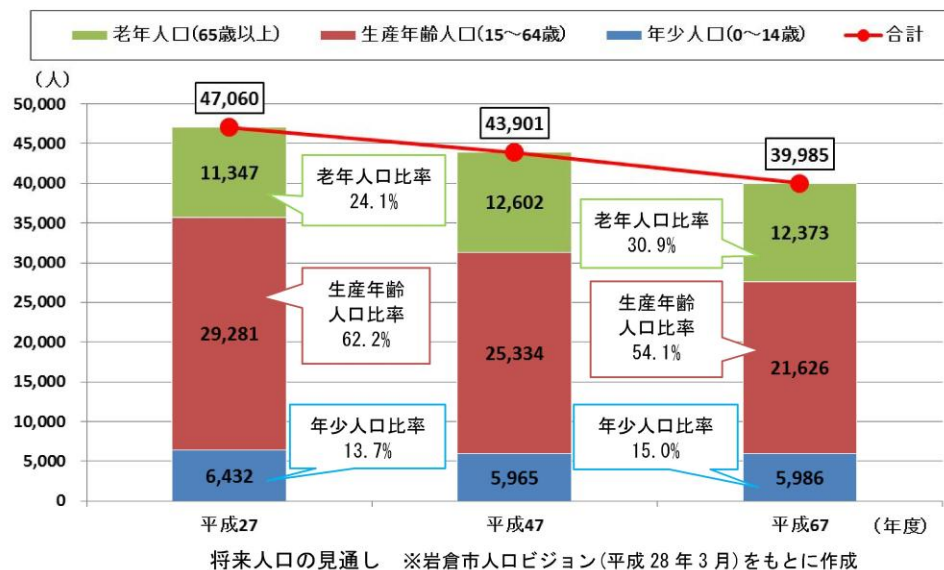
1 公共施設の状況

- ・岩倉市の公共施設の保有量（延床面積 30 ㎡以上）は、全 123 棟（76 施設）、延床面積で約 10 万㎡です。
- ・岩倉市の人口が急激に増加した昭和 40～50 年代にかけて、学校教育系施設を中心に施設の整備を集中的に行ってきました。
- ・その結果、約 6 割の公共施設が建築後 30 年以上を経過し、老朽化が進行しています。

2 人口推移

平成 27 年から 40 年後の平成 67 年までの将来人口の見通しは、次のとおりです。

- ・総人口は、約 15%減少（47,060 人⇒39,985 人）
- ・老年人口（65 歳以上）は、約 9%増加（11,347 人⇒12,373 人）
- ・財政負担の担い手である生産年齢人口（15～64 歳）は、約 26%減少（29,281 人⇒21,626 人）
- ・年少人口（0～14 歳）は、約 7%減少（6,432 人⇒5,986 人）
- ・老年人口比率は、約 7%増加（約 24%⇒約 31%）、生産年齢人口比率は約 8%減少（約 62%⇒約 54%）



3 将来の公共施設に係る更新費の推計

人口減少と少子高齢化の進行に伴う税収減、社会福祉関係費の増加等により厳しい財政状況が予想される中、今後も同じ床面積の公共施設を保有すると仮定し、今後 40 年間における公共施設の更新にかかる費用を試算した結果、表-1 のようになります。

表-1 建替等に係る経費と財源見込み額の比較

施設の建替等に係る 経費の見込み額	充てることのできる 財源見込み額	過不足額
約 403 億円 (約 10.1 億円/年)	約 168 億円 (約 4.2 億円/年)	△約 235 億円 (△約 5.9 億円/年)

今後 40 年間において、現在の公共施設を全て存続させていくためには、**財源が約 235 億円（約 5.9 億円/年）不足**します。
これは公共施設の**延床面積の約 15%の更新費用**に相当します。



財源不足を解消するためには、公共施設を計画的に修繕し、建物の寿命を延ばすことを前提にしつつ、表-2 に示すような手法を用いて公共施設の延床面積を縮減する必要があります。

表-2 延床面積の縮減に向けた取組み例

手法	内容	イメージ図
廃止	利用されていない施設、不要な施設・危険施設は機能を停止し、取り壊しを行う。	
統合	<u>同一機能を持つ複数施設を 1 か所の施設に統合する。</u>	
複合化	<u>異なる機能を持つ複数施設を 1 か所の施設に統合する。</u>	
規模縮小	一部取り壊しや建替え時に規模を縮小する。	

これらの情報をもとに以下の質問にお答えいただきたいと思います。

※ご回答は封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いします。事情によりご本人様がお答えできない場合は、ご面倒でもご家族の方が代わってお答えください。

質問事項	回答欄
ア.お住まいの地区	1 岩倉北小学校区 2 岩倉南小学校区 3 岩倉東小学校区 4 五条川小学校区 5 曽野小学校区 ※どの地区に該当するかご不明の場合は、お住まいの町名をご記入ください。 例：昭和町二丁目 本町畑中など （ ）
イ.性別	1 男 2 女
ウ.年齢	1 16～24 歳 2 25～34 歳 3 35～44 歳 4 45～54 歳 5 55～64 歳 6 65 歳以上
エ.職業	1 農林水産業 2 会社員・公務員・教員 3 自営業・自由業 4 パート・アルバイトなど 5 学生 6 主婦（夫） 7 無職 8 その他（ ）
オ.家族構成	1 単身世帯 2 夫婦世帯 3 2世代家族 4 3世代家族 5 その他
カ.子育ての有無 ※大学に入学するまでの子どもを対象	1 子育てをしている 2 子育てはしていない

図1-4 アンケート用紙 (4/19)

問 2 あなたは、最近1年間に、岩倉市の公共施設をどのくらい利用したことがありますか。
18 ページの「岩倉市公共施設一覧表」を参考にいただき、施設分類ごとに、1～5
の当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
また、「ほとんど利用していない」「利用していない」と答えた方は、その理由を以下
から選び、当てはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

【公共施設を利用しない理由】

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ①利用する必要がない | ②施設の利用を知らない |
| ③施設までのアクセスが不便 | ④利用料金が安い |
| ⑤希望する曜日・時間に利用できない | ⑥サービスが充実していない |
| ⑦ハード面（施設本体・設備等）が充実していない | ⑧民間の同種の施設を利用している |
| ⑨他自治体の同種の公共施設を利用している | ⑩利用の仕方がわからない |
| ⑪その他 | |

施設分類 \ 利用頻度		ほぼ毎日利用している	よく利用している (週に2～3回程度)	時々利用している (月に2～3回程度)	ほとんど利用していない (年に2～3回程度)	利用していない
集会施設 (各地区の公会堂、多目的センター等)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
文化施設 (岩倉市民プラザ)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
図書館 (岩倉市図書館)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
その他 社会教育系施設 (青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
スポーツ施設 (総合体育文化センター、市立体育館)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				

【公共施設を利用しない理由】	
①利用する必要がない	②施設の利用を知らない
③施設までのアクセスが不便	④利用料金が安い
⑤希望する曜日・時間に利用できない	⑥サービスが充実していない
⑦ハード面（施設本体・設備等）が充実していない	⑧民間の同種の施設を利用している
⑨他自治体の同種の公共施設を利用している	⑩利用の仕方がわからない
⑪その他	

施設分類 \ 利用頻度		ほぼ毎日利用している	よく利用している (週に2〜3回程度)	時々利用している (月に2〜3回程度)	ほとんど利用していない (年に2〜3回程度)	利用していない
学校 (小学校、中学校) ※体育館や運動場の一般開放等の利用を対象	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
保育園	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
幼児・児童施設 (児童館、地域交流センター)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
高齢福祉施設 (南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
保健施設 (岩倉市保健センター)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
医療施設 (岩倉市休日急病診療所)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				
庁舎 (市役所)	利用頻度	1	2	3	4	5
	利用しない理由	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪その他 ()				

図1-6 アンケート用紙 (6/19)

本市の公共施設の現状についてご意見をお尋ねします。

問 3① 公共施設の利用時間、人員配置などについては、どのようにお考えですか。施設分類ごとに1～6の当てはまる番号1つに○をつけてください。

施設分類 \ 考え	とても満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない
集会施設 (各地区の公会堂、多目的センター等)	1	2	3	4	5	6
文化施設 (岩倉市民プラザ)	1	2	3	4	5	6
図書館 (岩倉市図書館)	1	2	3	4	5	6
その他社会教育系施設 (青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)	1	2	3	4	5	6
スポーツ施設 (総合体育文化センター、市立体育館)	1	2	3	4	5	6
学校 (小学校、中学校)	1	2	3	4	5	6
保育園 (保育園)	1	2	3	4	5	6
幼児・児童施設 (児童館、地域交流センター)	1	2	3	4	5	6
高齢福祉施設 (南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)	1	2	3	4	5	6
保健施設 (岩倉市保健センター)	1	2	3	4	5	6
医療施設 (岩倉市休日急病診療所)	1	2	3	4	5	6
庁舎 (市役所)	1	2	3	4	5	6

問 3② 公共施設の利用料金、サービス内容などについては、どのようにお考えですか。
施設分類ごとに 1～6 の当てはまる番号 1 つに〇をつけてください。

施設分類 \ 考え	とても満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない
集会施設 (各地区の公会堂、多目的センター等)	1	2	3	4	5	6
文化施設 (岩倉市民プラザ)	1	2	3	4	5	6
図書館 (岩倉市図書館)	1	2	3	4	5	6
その他社会教育系施設 (青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)	1	2	3	4	5	6
スポーツ施設 (総合体育文化センター、市立体育館)	1	2	3	4	5	6
学校 (小学校、中学校)	1	2	3	4	5	6
保育園 (保育園)	1	2	3	4	5	6
幼児・児童施設 (児童館、地域交流センター)	1	2	3	4	5	6
高齢福祉施設 (南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)	1	2	3	4	5	6
保健施設 (岩倉市保健センター)	1	2	3	4	5	6
医療施設 (岩倉市休日急病診療所)	1	2	3	4	5	6
庁舎 (市役所)	1	2	3	4	5	6

問 3③ 公共施設のハード面（建物本体や設備など）の規模や使い勝手、安全性、維持修繕状況などについては、どのようにお考えですか。施設分類ごとに1～6の当てはまる番号1つに○をつけてください。

施設分類 \ 考え	とても満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない
集会施設 (各地区の公会堂、多目的センター等)	1	2	3	4	5	6
文化施設 (岩倉市民プラザ)	1	2	3	4	5	6
図書館 (岩倉市図書館)	1	2	3	4	5	6
その他社会教育系施設 (青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)	1	2	3	4	5	6
スポーツ施設 (総合体育文化センター、市立体育館)	1	2	3	4	5	6
学校 (小学校、中学校)	1	2	3	4	5	6
保育園 (保育園)	1	2	3	4	5	6
幼児・児童施設 (児童館、地域交流センター)	1	2	3	4	5	6
高齢福祉施設 (南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)	1	2	3	4	5	6
保健施設 (岩倉市保健センター)	1	2	3	4	5	6
医療施設 (岩倉市休日急病診療所)	1	2	3	4	5	6
庁舎 (市役所)	1	2	3	4	5	6

問 3④ 公共施設の施設数については、どのようにお考えですか。施設分類ごとに1～6の当てはまる番号1つに○をつけてください。

施設分類 \ 考え	とても満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない
集会施設 (各地区の公会堂、多目的センター等)	1	2	3	4	5	6
文化施設 (岩倉市民プラザ)	1	2	3	4	5	6
図書館 (岩倉市図書館)	1	2	3	4	5	6
その他社会教育系施設 (青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)	1	2	3	4	5	6
スポーツ施設 (総合体育文化センター、市立体育館)	1	2	3	4	5	6
学校 (小学校、中学校)	1	2	3	4	5	6
保育園 (保育園)	1	2	3	4	5	6
幼児・児童施設 (児童館、地域交流センター)	1	2	3	4	5	6
高齢福祉施設 (南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)	1	2	3	4	5	6
保健施設 (岩倉市保健センター)	1	2	3	4	5	6
医療施設 (岩倉市休日急病診療所)	1	2	3	4	5	6
庁舎 (市役所)	1	2	3	4	5	6

問 3⑤ 公共施設のアクセスについては、どのようにお考えですか。施設分類ごとに 1～6 の当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

考え 施設分類	とても満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない
集会施設 (各地区の公会堂、多目的センター等)	1	2	3	4	5	6
文化施設 (岩倉市民プラザ)	1	2	3	4	5	6
図書館 (岩倉市図書館)	1	2	3	4	5	6
その他社会教育系施設 (青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)	1	2	3	4	5	6
スポーツ施設 (総合体育文化センター、市立体育館)	1	2	3	4	5	6
学校 (小学校、中学校)	1	2	3	4	5	6
保育園 (保育園)	1	2	3	4	5	6
幼児・児童施設 (児童館、地域交流センター)	1	2	3	4	5	6
高齢福祉施設 (南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)	1	2	3	4	5	6
保健施設 (岩倉市保健センター)	1	2	3	4	5	6
医療施設 (岩倉市休日急病診療所)	1	2	3	4	5	6
庁舎 (市役所)	1	2	3	4	5	6

問 4 今ある公共施設を全て維持していくには巨額の財政負担が必要となります。また、岩倉市においては、人口減少、少子高齢化による社会保障費の増加などの実情により今後も厳しい財政運営が懸念されます。

次世代への財政負担を少しでも軽減するためには、これからの公共施設のあり方を見直す必要があります。

あなたは、今後の公共施設のあり方についてどのようにお考えですか。（①～⑨の考え方ごとに、1～5 の当てはまる番号 1 つに○をつけてください。またその他の意見があれば「⑩その他」の欄にご記入ください。）

考え 方策	実施すべき	実施すべき どちらかといえば	実施すべきではない どちらかといえば	実施すべきではない	わからない
① 現在ある公共施設の統廃合によって施設数を減らす	1	2	3	4	5
② 公共施設の更新(建替え)や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	1	2	3	4	5
③ 地域に密着した公共施設は、地域住民などへ譲渡する	1	2	3	4	5
④ 現在の公共施設を改修するなどして、できるだけ長い間使用する	1	2	3	4	5
⑤ 公共施設を減らす代わりに民間施設(会議室、スポーツ施設など)の使用料を助成する	1	2	3	4	5
⑥ 利用していない土地や施設を売却、賃貸して収入を得る	1	2	3	4	5
⑦ 運営費や運営時間など、サービスの水準を引き下げ、コストを削減する	1	2	3	4	5
⑧ 公共施設の使用料などを引き上げる	1	2	3	4	5
⑨ 他市の住民も利用している施設は、他市と共同して施設を建てたり運営したりすることにより、双方の施設数を減らす	1	2	3	4	5
⑩ その他					

問5 施設の見直しにおいて、同じ種類の施設の「統合」や異なる種類の施設を「複合」することにより、維持管理や建て替えにかかる費用を少なくしていくことも想定されます。

あなたは、どのような公共施設について「統合・複合」を考えるべきだと思いますか。

次の選択肢の中で、当てはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 同様の施設が市内に複数ある施設
2. 民間施設で公共と同様のサービスが提供されている施設
(例：民間のスポーツクラブを使用することにより、公営プール等を「統合・複合」する)
3. 利用者が少ない施設
4. 耐震性が低い、老朽化が著しいなど建物としての性能が低い施設
5. 人件費や、光熱費などの管理運営費が高い施設
6. その他 ()

◎公共施設の統合・複合化の例

小学校の統合・複合化の事例（札幌市立資生館小学校（都心部子ども関連複合施設））

都心部人口の空洞化により児童数の少なくなった4つの小学校（創成小、大通小、豊水小、曙小）を統合し、平成16年度に資生館小学校として整備されました。

また、都心部という立地条件を活かし、保育所や子育て支援総合センター、ミニ児童会館を一体化した複合施設となっています。



市役所の複合化の事例（新潟県長岡市シティホールプラザアオーレ長岡）

アオーレ長岡は、市役所機能の中心市街地集約化と、老朽化した旧厚生会館の後継施設整備の2つを柱に、市民交流の拠点施設として整備を進め、平成24年度にオープンしました。

施設は、屋根付き広場「ナカドマ」を中心に、市役所本庁舎、議会、アリーナ、市民交流ホール、シアターなどを一体化した複合施設となっています。



財政負担の増加により、すべての公共施設を岩倉市が将来にわたって維持（保有）し続けることは非常に困難になると考えられます。

問 6① このような状況の中で、あなたが今後も維持（保有）すべきだと思う公共施設を教えてください。

次の選択肢の中で、当てはまる番号に○をつけてください。（○は最大 4 つまで）

1	集会施設	(各地区の公会堂、多目的センター等)
2	文化施設	(岩倉市民プラザ)
3	図書館	(岩倉市図書館)
4	その他社会教育系施設	(青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)
5	スポーツ施設	(総合体育文化センター、市立体育館)
6	学校	(小学校、中学校)
7	保育園	(保育園)
8	幼児・児童施設	(児童館、地域交流センター)
9	高齢福祉施設	(南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)
10	保健施設	(岩倉市保健センター)
11	医療施設	(岩倉市休日急病診療所)
12	庁舎	(市役所)

問 6② 公共施設の施設数を減らさなければならなくなった場合、あなたはどの公共施設から統合・削減してすべきだと思いますか。
次の選択肢の中で、当てはまる番号に○をつけてください。（○は最大 4 つまで）

1	集会施設	(各地区の公会堂、多目的センター等)
2	文化施設	(岩倉市民プラザ)
3	図書館	(岩倉市図書館)
4	その他社会教育系施設	(青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)
5	スポーツ施設	(総合体育文化センター、市立体育館)
6	学校	(小学校、中学校)
7	保育園	(保育園)
8	幼児・児童施設	(児童館、地域交流センター)
9	高齢福祉施設	(南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)
10	保健施設	(岩倉市保健センター)
11	医療施設	(岩倉市休日急病診療所)
12	庁舎	(市役所)

問 7 これまで、岩倉市が公共施設で行ってきた公共サービスについて、今後は、民間施設を利用したり、民間が管理運営を行うことにより総コストの縮減ができる場合があります。
あなたが、今後、民間への転換、または管理運営を行ってもよいと思う施設を教えてください。
次の選択肢の中で、当てはまる番号に○をつけてください。（○は最大4つまで）

1	集会施設	(各地区の公会堂、多目的センター等)
2	文化施設	(岩倉市民プラザ)
3	図書館	(岩倉市図書館)
4	その他社会教育系施設	(青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)
5	スポーツ施設	(総合体育文化センター、市立体育館)
6	学校	(小学校、中学校)
7	保育園	(保育園)
8	幼児・児童施設	(児童館、地域交流センター)
9	高齢福祉施設	(南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)
10	保健施設	(岩倉市保健センター)
11	医療施設	(岩倉市休日急病診療所)
12	庁舎	(市役所)

問 8 公共施設について、他市の住民も利用している施設は、他市と共同して施設を建てたり運営したりすることにより、双方の施設数を減らすことができる場合があります。
 あなたが、近隣自治体の施設を使用してもよいと思うものについて教えてください。
 次の選択肢の中で、当てはまる番号に○をつけてください。（○は最大4つまで）

1	集会施設	(各地区の公会堂、多目的センター等)
2	文化施設	(岩倉市民プラザ)
3	図書館	(岩倉市図書館)
4	その他社会教育系施設	(青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター)
5	スポーツ施設	(総合体育文化センター、市立体育館)
6	学校	(小学校、中学校)
7	保育園	(保育園)
8	幼児・児童施設	(児童館、地域交流センター)
9	高齢福祉施設	(南部老人憩の家、ふれあいセンター、多世代交流センターさくらの家)
10	保健施設	(岩倉市保健センター)
11	医療施設	(岩倉市休日急病診療所)
12	庁舎	(市役所)

その他、「公共施設のあり方（公共施設の適正配置）」に関して、ご意見がありましたら、下記にご記入ください。

■ 記入欄 ■

以上でアンケートは終了です。

お忙しいところ最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。

皆さまの貴重なご意見を、これからの「公共施設のあり方（公共施設の適正配置）」の検討に活かしていきたいと考えています。

今後とも岩倉市の行財政運営にご理解とご協力をお願いいたします。

◎参考「岩倉市公共施設一覧表」

施設分類	施設の名称
集会施設	●大市場町公会堂 ●曽野町公会堂 ●東新町公会堂 ●北島町多目的センター ●野寄町公会堂 ●川井町文化会館 ●八剱会館 ●東町会館 ●大上市場会館 ●神野会館 ●泉会館 ●中野会館 ●石仏会館 ●井上会館
文化施設	●岩倉市民プラザ
図書課	●岩倉市図書館
その他 社会教育系施設	●青少年宿泊研修施設希望の家 ●生涯学習センター
スポーツ施設	●総合体育文化センター ●石仏スポーツ広場 ●野寄テニスコート ●市立体育館
学校	●岩倉北小学校 ●岩倉南小学校 ●岩倉東小学校 ●五条川小学校 ●曽野小学校 ●岩倉中学校 ●南部中学校
保育園	●中部保育園 ●北部保育園 ●南部保育園 ●東部保育園 ●西部保育園 ●仙奈保育園 ●下寺保育園
幼児・児童施設	●第二児童館 ●第三児童館 ●第四児童館 ●第五児童館 ●第六児童館 ●第七児童館 ●地域交流センター（みどりの家） ●地域交流センター（くすのきの家）
高齢福祉施設	●南部老人憩の家 ●ふれあいセンター ●多世代交流センターさくらの家
保健施設	●岩倉市保健センター
医療施設	●岩倉市休日急病診療所
庁舎	●岩倉市役所

<参考>標本誤差と信頼度について

(1) 標本誤差と信頼度の概要

アンケート調査では、母集団^{※1}から無作為に抽出した標本データ^{※2}を元に、調査対象の全体を推計するため、得られた回答に誤差が生じる可能性があります。

その誤差は、標本誤差と呼ばれており、標本誤差の推定が 100 回のうち 95 回当たる、すなわちその度合いで正確さが保障できるという場合、信頼度 95%と呼びます。

通常のアンケート調査の場合は、信頼度 95%を用いるのが一般的であり、許容できる標本誤差の範囲は、5%未満が望ましいとされています。

※1…今回の調査では、16 歳以上の岩倉市民である 41,073 人（平成 28 年 4 月 1 日時点）

※2…今回の調査では、アンケート回収数である 914 人

(2) 標本誤差の計算式

母集団が N 人、標本データが n 人、ある選択肢の回答値が P%とすると、信頼度 95%における、標本誤差 E%の計算式（母集団が 10,000 人以上の場合）は、以下の通りとなります。

$$E=1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

(3) 本アンケートでの標本誤差

本アンケート調査では、914 人からの回答が得られており、例えば、ある選択肢の回答値が 50%であった場合、標本誤差は約 3.2%^{※3}となるため、母集団すなわち全市民の賛成率は、95%の確率で 46.7%（50%-3.2%）から 53.2%（50%+3.2%）の間にあると言えます。なお、標本誤差は、回答値が 50%の時に最も高く、回答率が 0%もしくは 100%に近づくほど減少します。

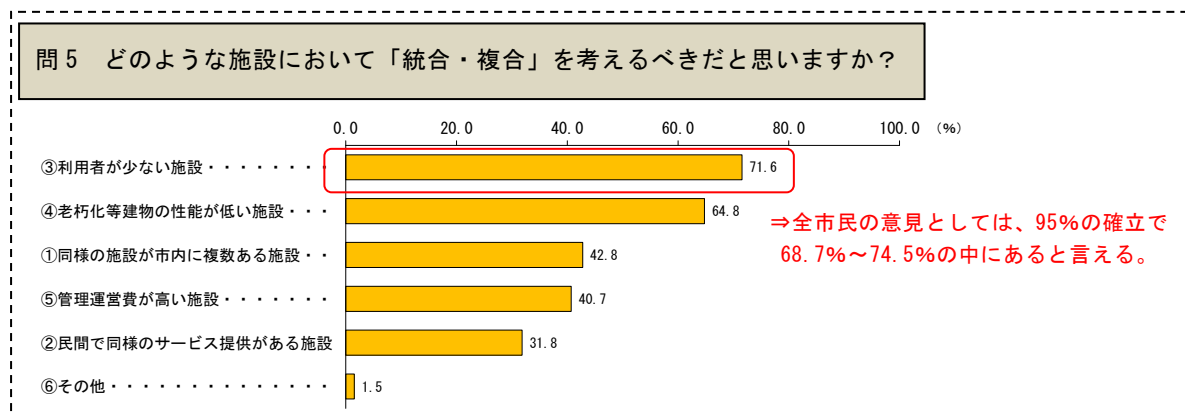
※3…標本誤差 $E=1.96 \times \sqrt{\{50 \times (100-50) / 914\}} = 3.242$

以上より、本アンケート調査では、標本誤差が最大でも約 3.2%となり、許容できる標本誤差の範囲である 5%未満に収まるため、母集団に対し妥当な標本データ数を得ることができたとと言えます。

【本アンケートにおける標本誤差の事例】

問5の質問について、「③利用者が少ない施設は、統合・複合を考えるべき」と回答した人は全体の71.6%でしたが、この場合の標本誤差※4は約2.9%となるため、母集団すなわち全市民の意見としては、95%の確率で68.7%(71.6%-2.9%)から74.5%(71.6%+2.9%)の間にあると言えます。

※4…標本誤差 $E = 1.96 \times \sqrt{\{71.6 \times (100 - 71.6) / 914\}} = 2.923$



(4) 本アンケートの発送数

本アンケートの実施にあたっては、信頼度を95%、許容できる標本誤差を±3%として、以下の計算式より、約1,000人の標本データを得ることを目標として実施した。

アンケートの発送数については、これまでの市の同種アンケートの回収率が概ね40%であることを考慮し、約1,000人の標本データを得るために、2,500人(=1,000÷0.4)として設定した。

●アンケートのサンプル数の算出方

$$\frac{N}{\left(\frac{E}{K}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(100-P)} + 1} = \frac{41,073(\text{人})}{\left(\frac{3\%}{1.96}\right)^2 \times \frac{41,073-1}{50\%(100-50\%)} + 1} = 1040.1$$

N: 16歳以上の人口数 (41,073[人])

E: 許容できる標本誤差の範囲 (3[%])

P: 想定する調査結果=50[%] (最大値)

k: 信頼度係数=1.96 (信頼度 95%)

第2章 調査結果のまとめ

アンケート調査結果のまとめを以下に示します。

1 回答者の属性

問1 ア お住まいの地区

回答者（914 人）の住んでいる小学校区については、岩倉北小学校区が約 3 割と一番多く占めており、次いで曽野小学校区、岩倉南小学校区となっています。

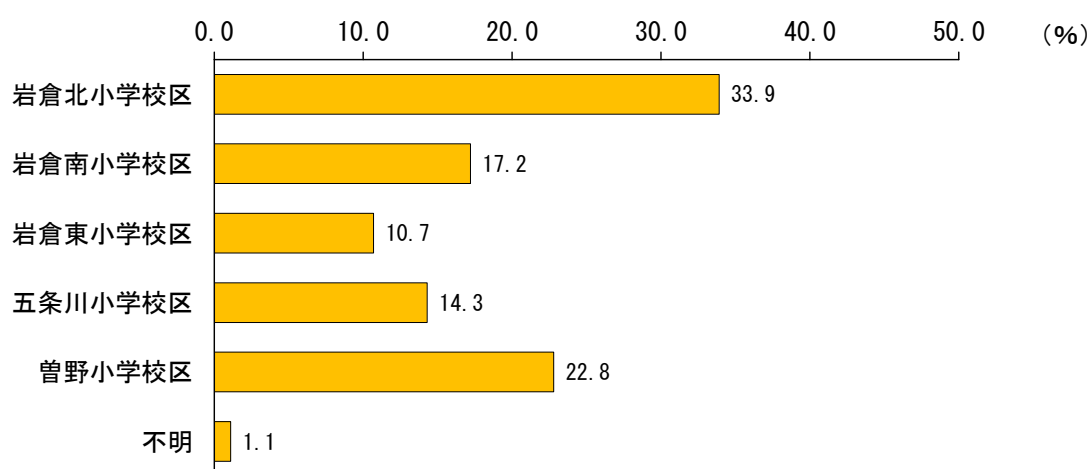


図2-1 回答者の居住地区 (n=914)

問1 イ 性別

回答者の性別は、女性が過半数を占めています。

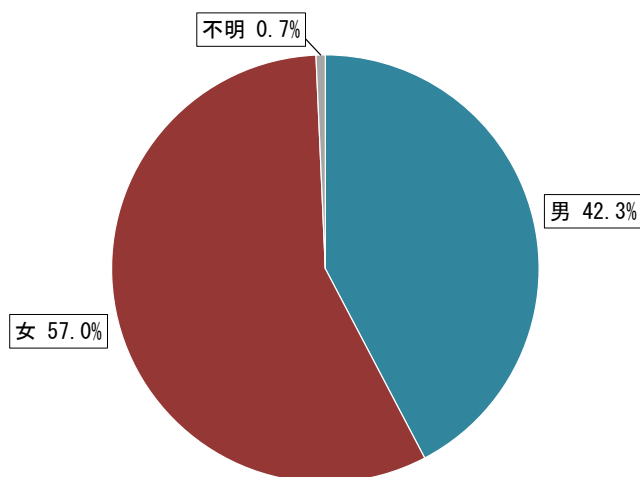


図2-2 回答者の性別 (n=914)

問 1 ウ 年齢

回答者の年齢について、65 歳以上が全体の約 4 割となっていますが、16～24 歳と 25～34 歳は全体の約 2 割と少なくなっています。

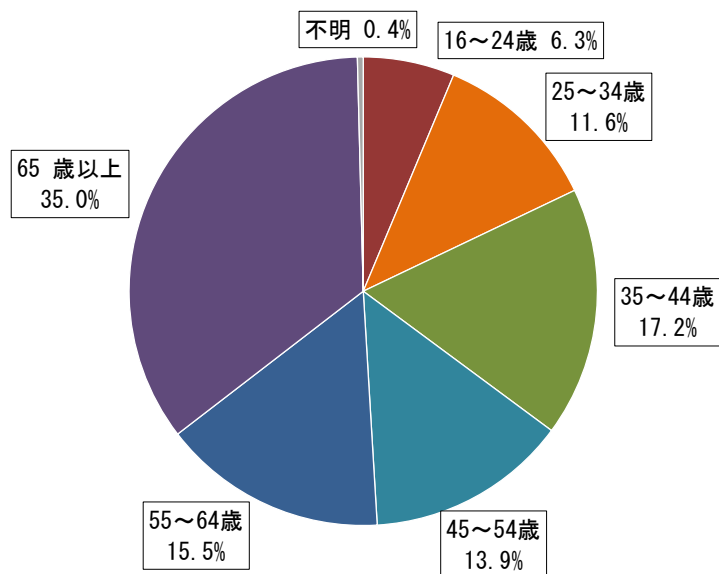


図2-3 回答者の年齢 (n=914)

問 1 エ 職業

回答者の職業については、会社員・公務員・教員が一番多く、約 3 割を占めており、次いで無職、主婦（夫）が多くなっています。

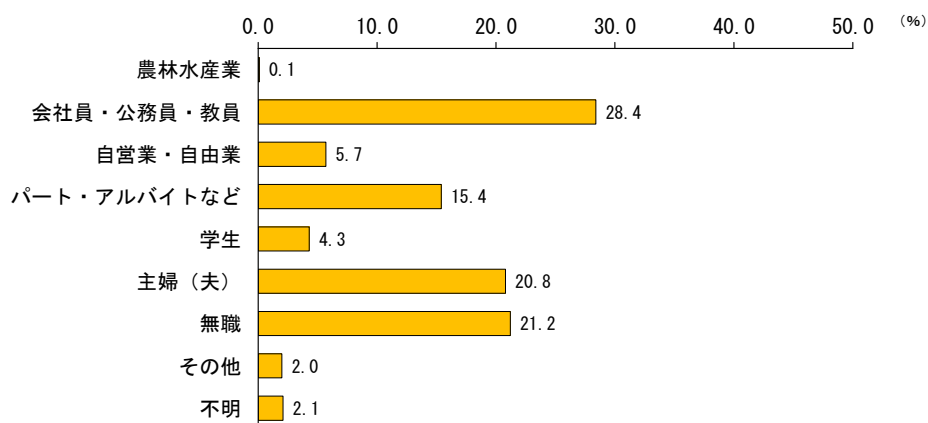


図2-4 回答者の職業等 (n=914)

問 1 オ 家族構成

回答者の家族構成については、夫婦世帯（41.9%）、2世代世帯（36.2%）が高く全体の約8割となっています。

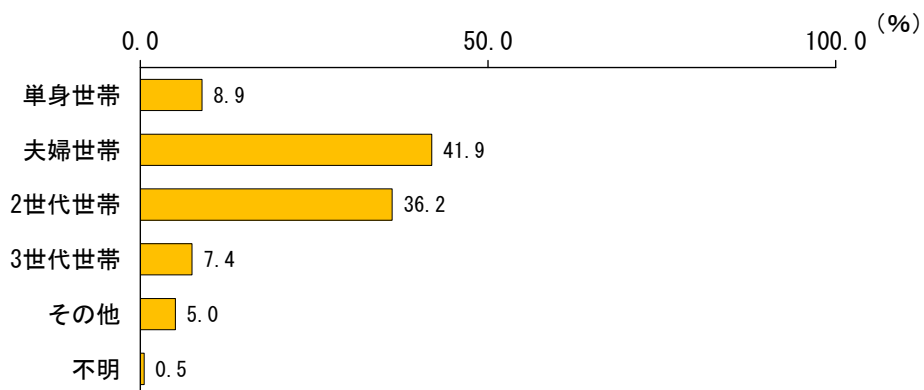


図2-5 回答者の家族構成 (n=914)

問 1 カ 子育ての有無 ※大学に入学するまでの子どもを対象

回答者の子育ての有無については、子育てをしていない方が多く、約7割を占めています。

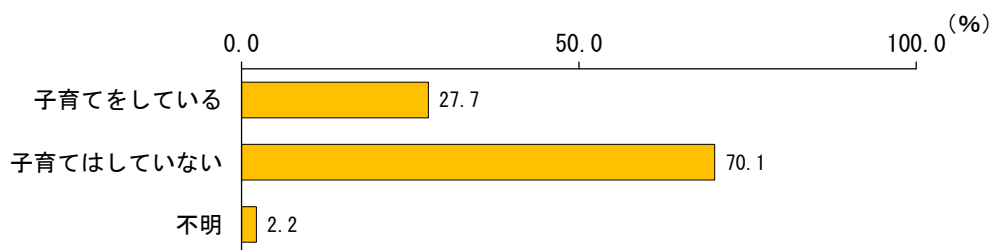


図2-6 回答者の子育ての有無 (n=914)

2 公共施設の利用状況

問2 最近1年間に、岩倉市の公共施設をどのくらい利用したことがありますか。

公共施設の利用頻度は全般に低く、過去1年間に1回も利用したことがないとの回答が、多くの施設分類で高い割合を示しています。また、市民の利用は、庁舎が一番多く、続いて図書館、保健施設の順に利用されており、利用者が特定される保育園や学校の利用が少なくなっています。

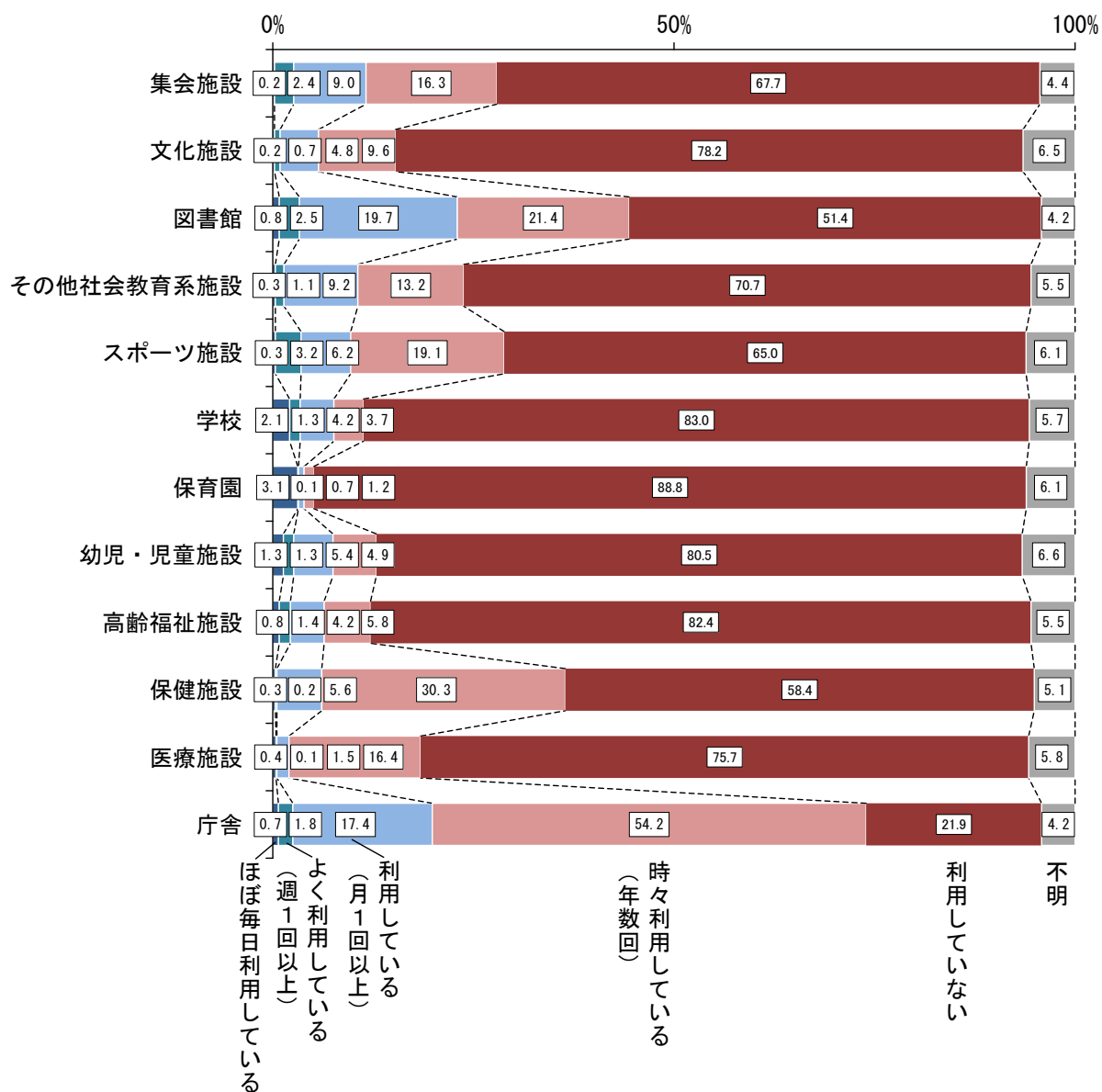
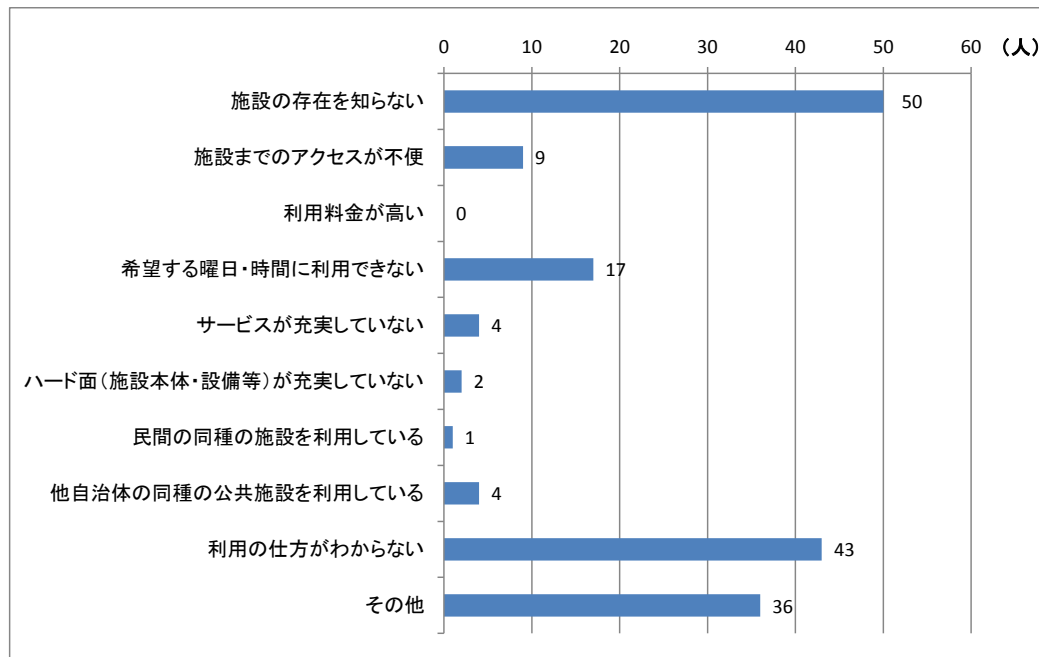


図2-7 過去1年間の市内公共施設の利用状況 (n=914)

〔利用しない理由〕

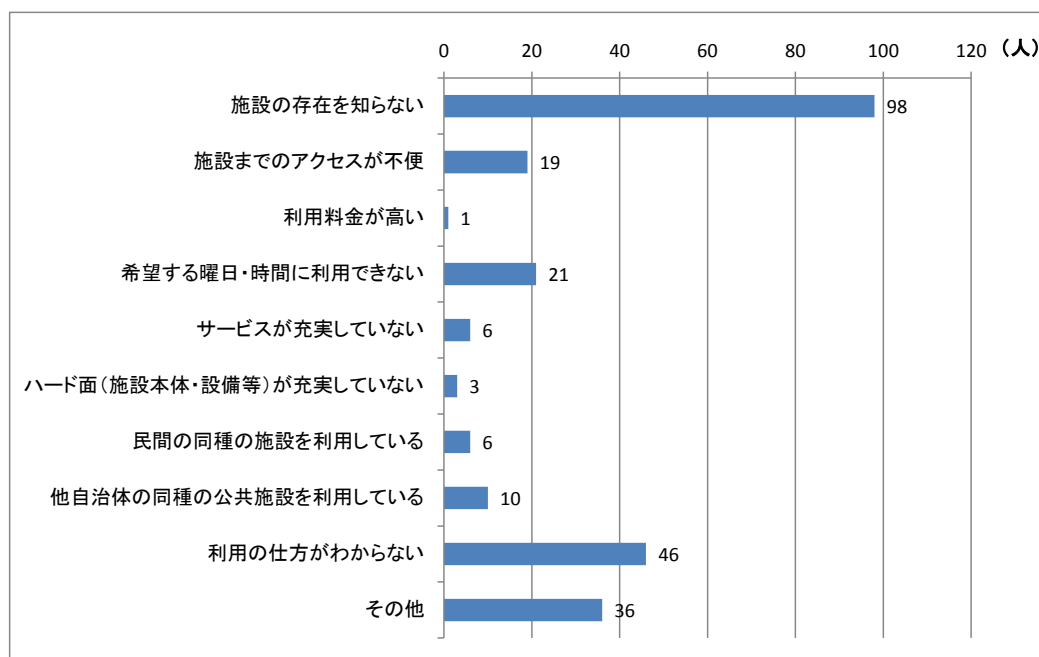
①集会施設

集会施設を利用しない理由について、「利用する必要がある」（569人）と「不明（無回答）」（101人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で、「施設の存在を知らない」、「利用の仕方がわからない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「利用する目的がない」や「年齢的に興味のある行事がない」等の理由がありました。



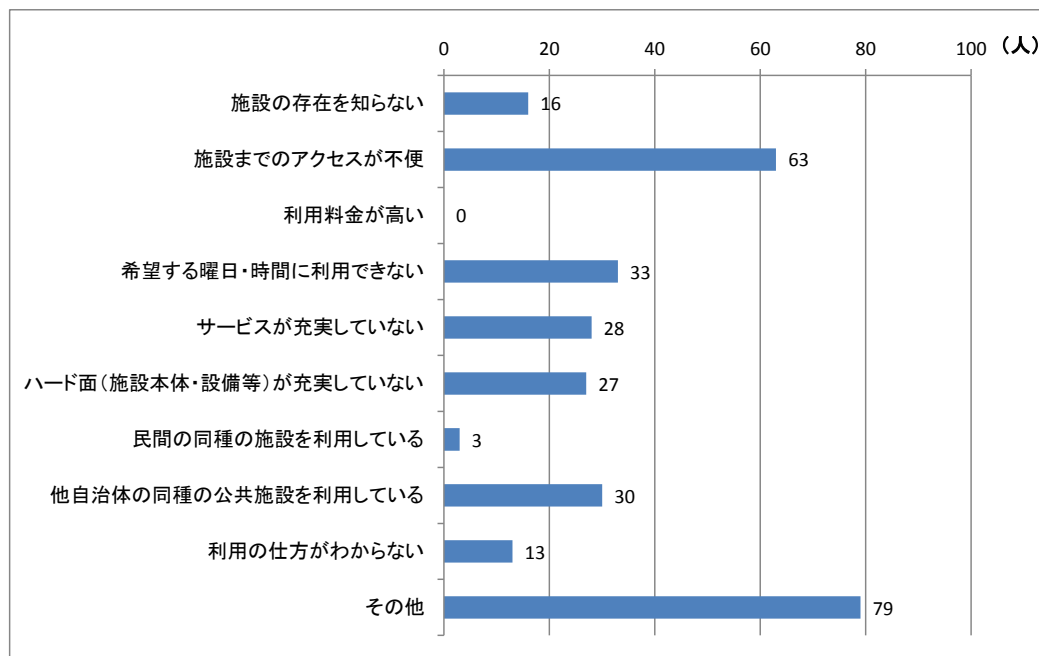
②文化施設

文化施設を利用しない理由について、「利用する必要がある」（545人）と「不明（無回答）」（105人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「施設の存在を知らない」という理由が圧倒的に多いことがわかります。



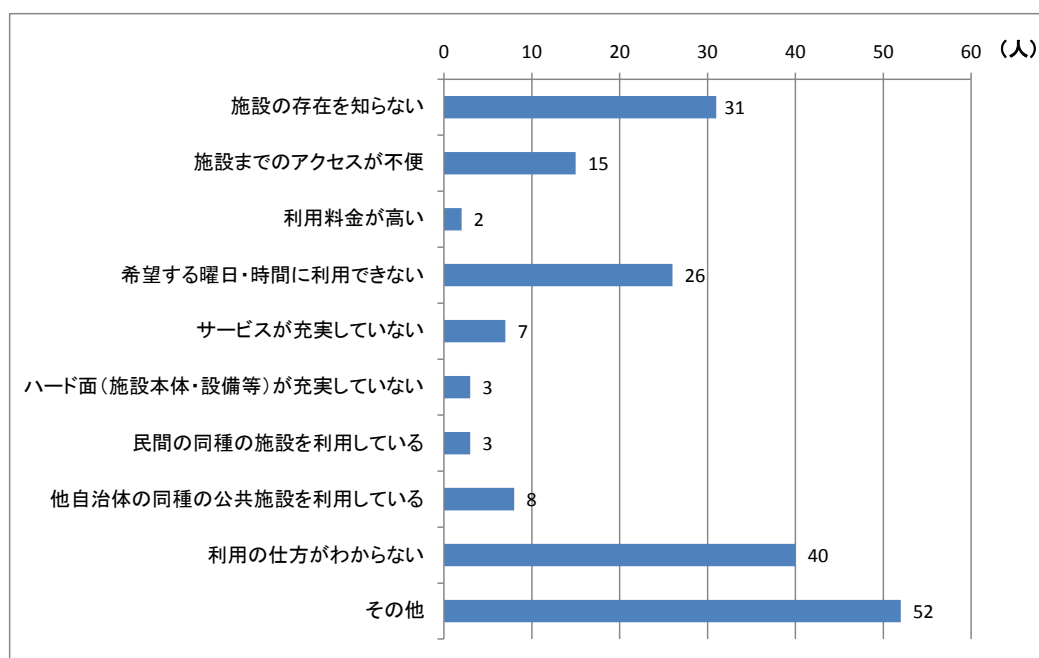
③図書館

図書館を利用しない理由について、「利用する必要がある」（333 人）と「不明（無回答）」（120 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「施設までのアクセスが不便」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「駐車スペースが少ない」や「読みたい本は購入する」等の理由がありました。



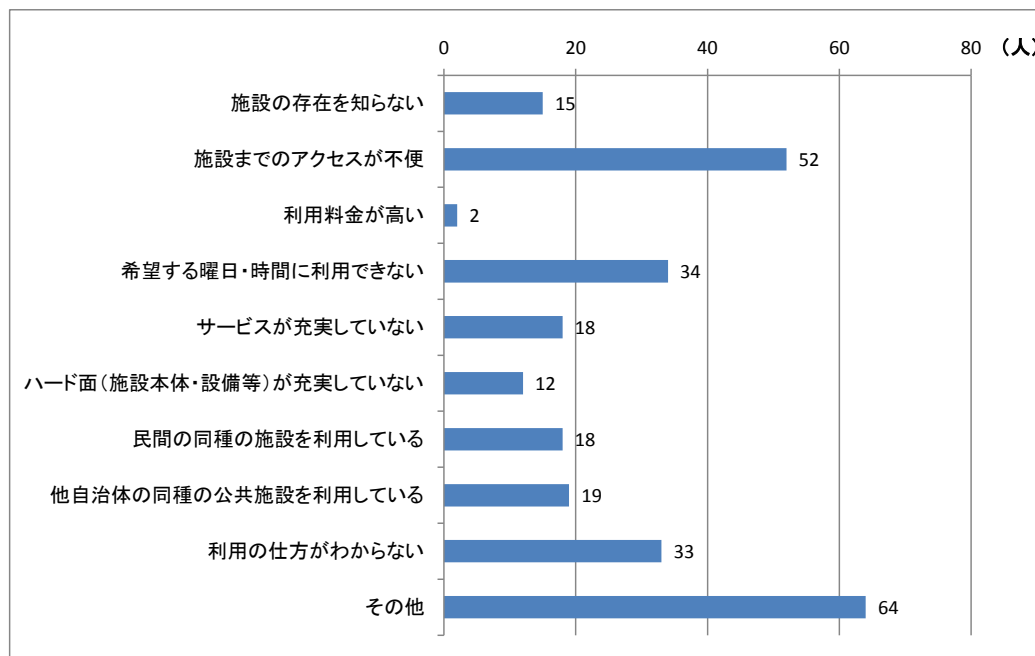
④その他社会教育系施設

その他社会教育系施設を利用しない理由について、「利用する必要がある」（532 人）と「不明（無回答）」（116 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で特に「利用の仕方がわからない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容の多くが「利用する機会がない」というものでした。



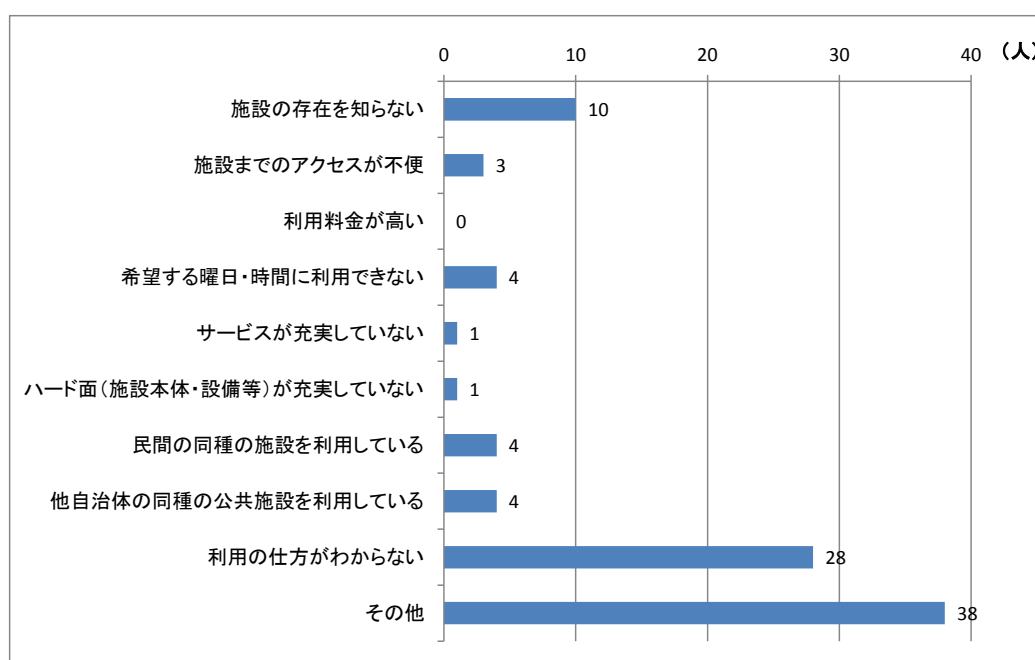
⑤スポーツ施設

スポーツ施設を利用しない理由について、「利用する必要がある」（470 人）と「不明（無回答）」（119 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で特に「施設までのアクセスが不便」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「利用する時間がない」や「運動をしていない」等の理由がありました。



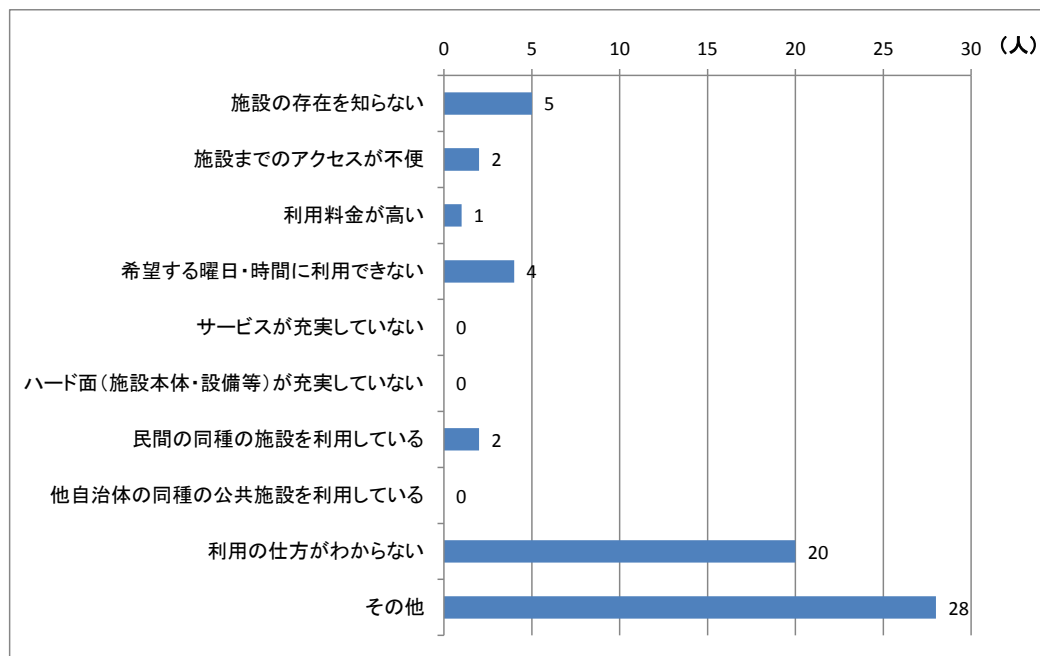
⑥学校

学校を利用しない理由について、「利用する必要がある」（644 人）と「不明（無回答）」（98 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「利用の仕方がわからない」という理由が圧倒的に多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「小・中学生の子供がいない」や「一般開放しているのかわからない」等の理由がありました。



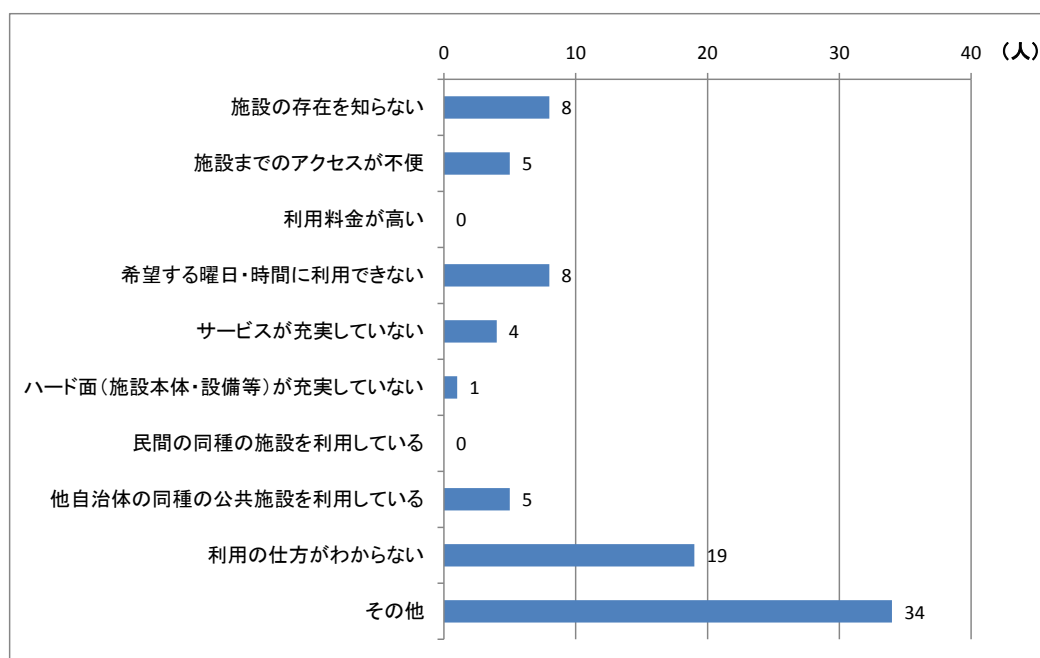
⑦ 保育園

保育園を利用しない理由について、「利用する必要がある」（695 人）と「不明（無回答）」（99 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で特に「利用の仕方がわからない」という理由が圧倒的に多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「保育園に通う子供がいない」という理由がありました。



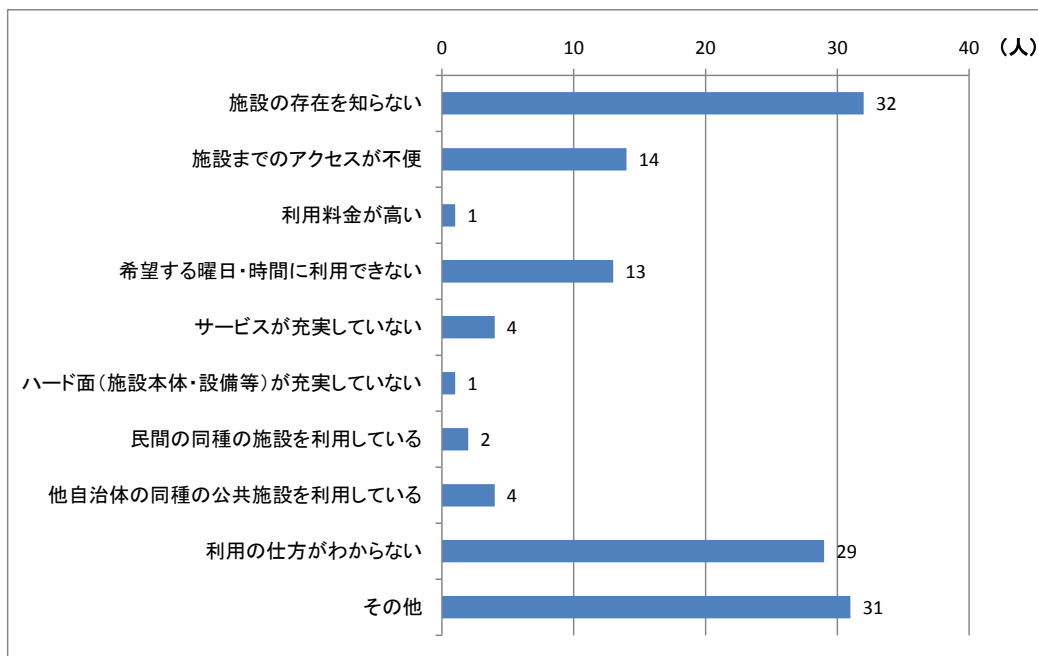
⑧ 幼児・児童施設

幼児・児童施設を利用しない理由について、「利用する必要がある」（633 人）と「不明（無回答）」（106 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「利用の仕方がわからない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「幼児・児童施設に通う子供がいない」という理由がありました。



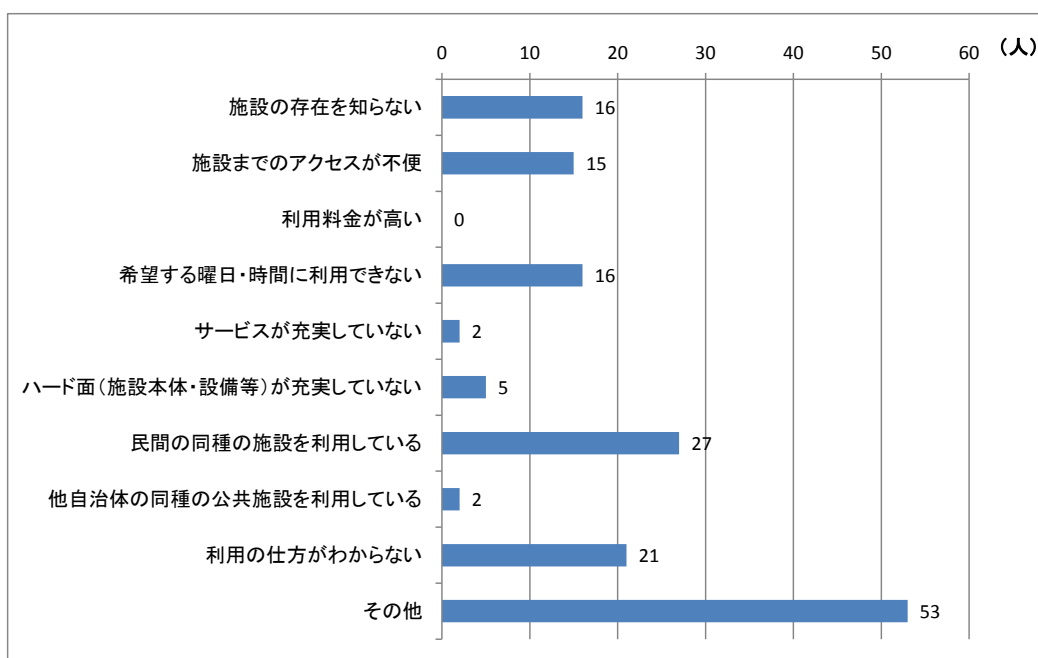
⑨高齢福祉施設

高齢福祉施設を利用しない理由について、「利用する必要がある」（628 人）と「不明（無回答）」（105 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「利用の仕方がわからない」、「施設の存在を知らない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「自身が高齢者ではない」という理由がありました。



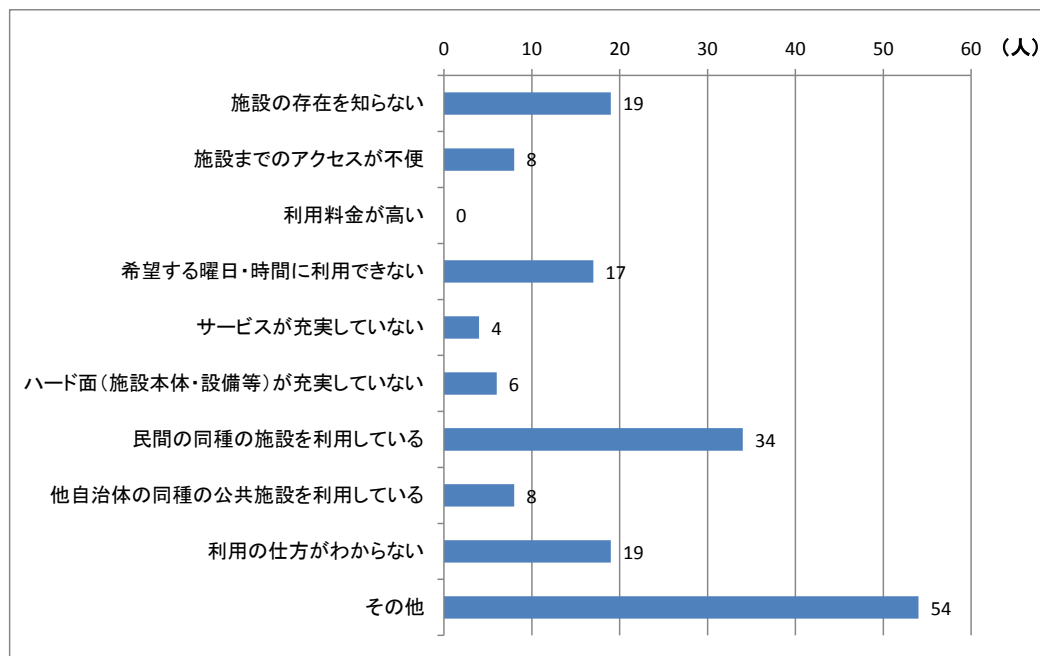
⑩保健施設

保健施設を利用しない理由について、「利用する必要がある」（515 人）と「不明（無回答）」（188 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「民間の同種の施設を利用している」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「かかりつけの病院や会社で検診を行う」という理由がありました。



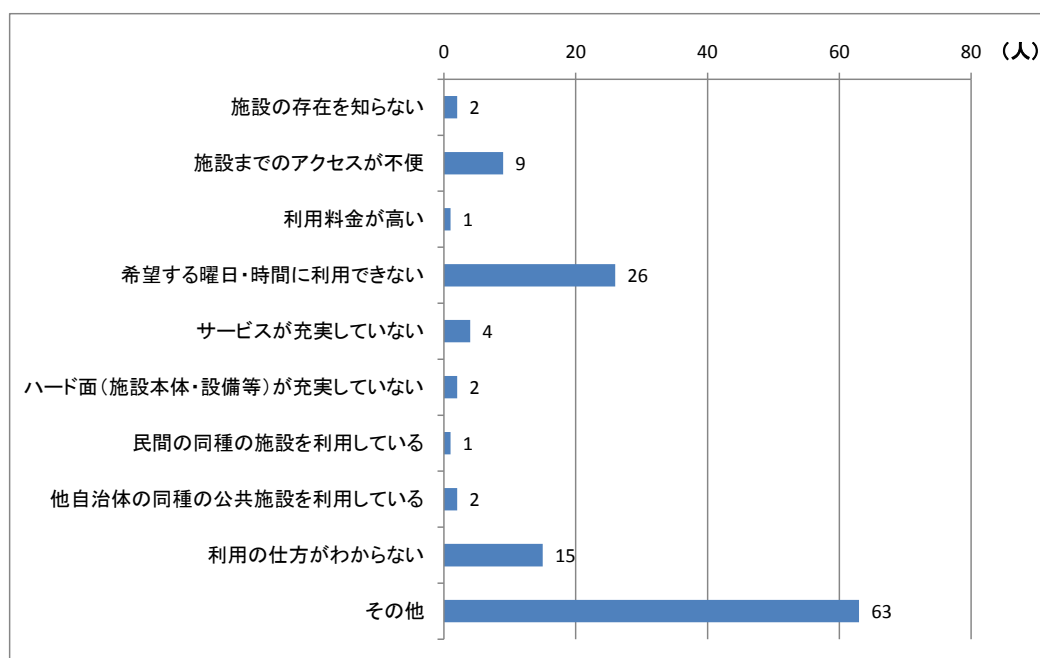
⑪医療施設

医療施設を利用しない理由について、「利用する必要がある」（574 人）と「不明（無回答）」（147 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「民間の同種の施設を利用している」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「休日に受診することが少ない」という理由がありました。



⑫庁舎

庁舎を利用しない理由について、「利用する必要がある」（398 人）と「不明（無回答）」（224 人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「希望する曜日・時間に利用できない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「書類提出時しか利用しない」という理由がありました。



3 公共施設の評価

問 3① 公共施設の利用時間、人員配置などについてどのようにお考えですか？

庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 6 割を占めており、次いで図書館が多くなっています。また、スポーツ施設・保育園・医療施設は「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見が多く、全体の約 2 割と他の施設分類よりも多いことがわかります。

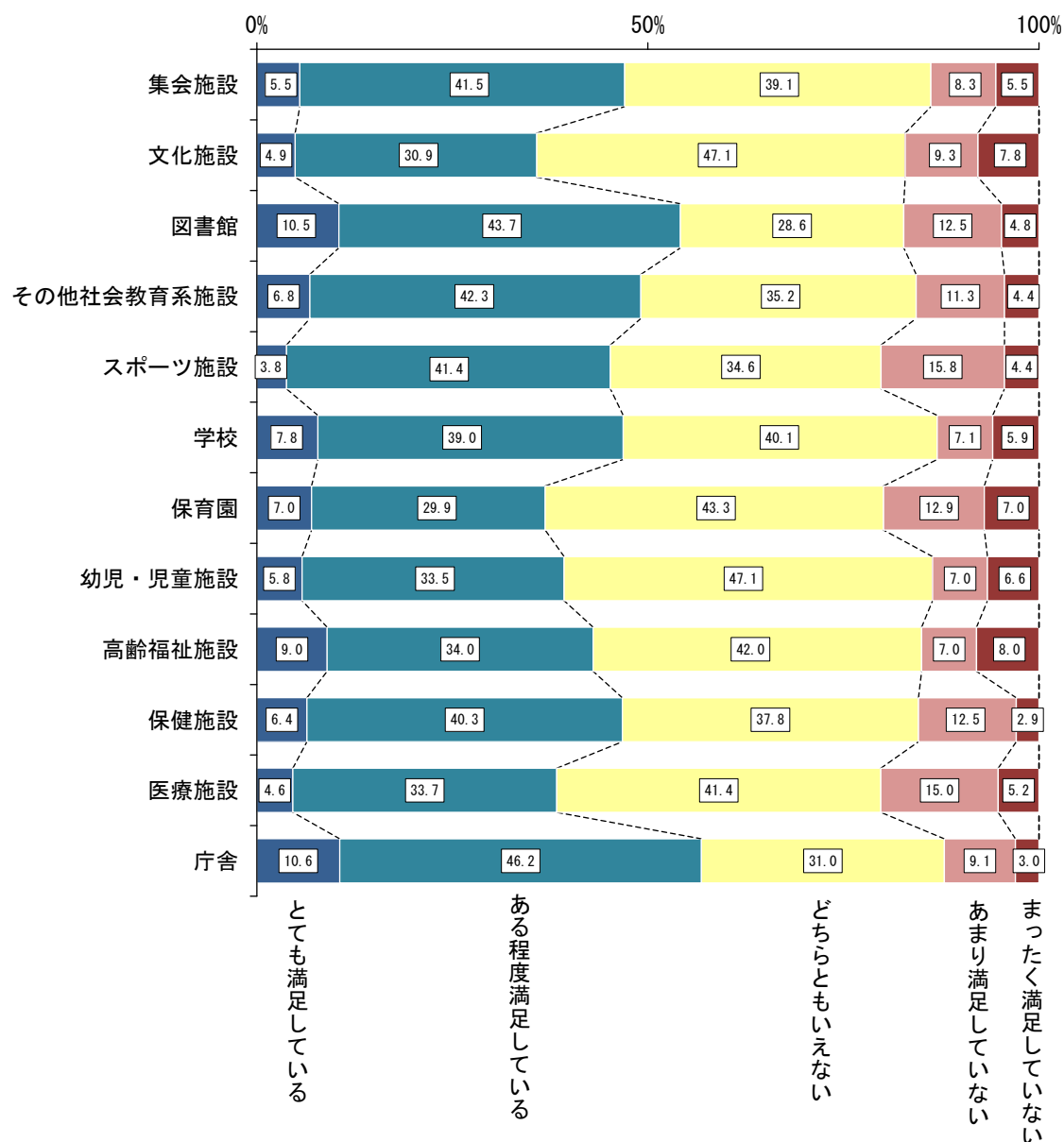


図2-8 公共施設の利用時間・人員配置に関する意見 (n=914)

問 3② 公共施設の利用料金、サービス内容などについてどのようにお考えですか？

図書館と庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約6割を占めています。また、その他社会教育系施設・スポーツ施設・医療施設では、「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見が全体の約2割と他の施設分類よりも少し多いことがわかります。

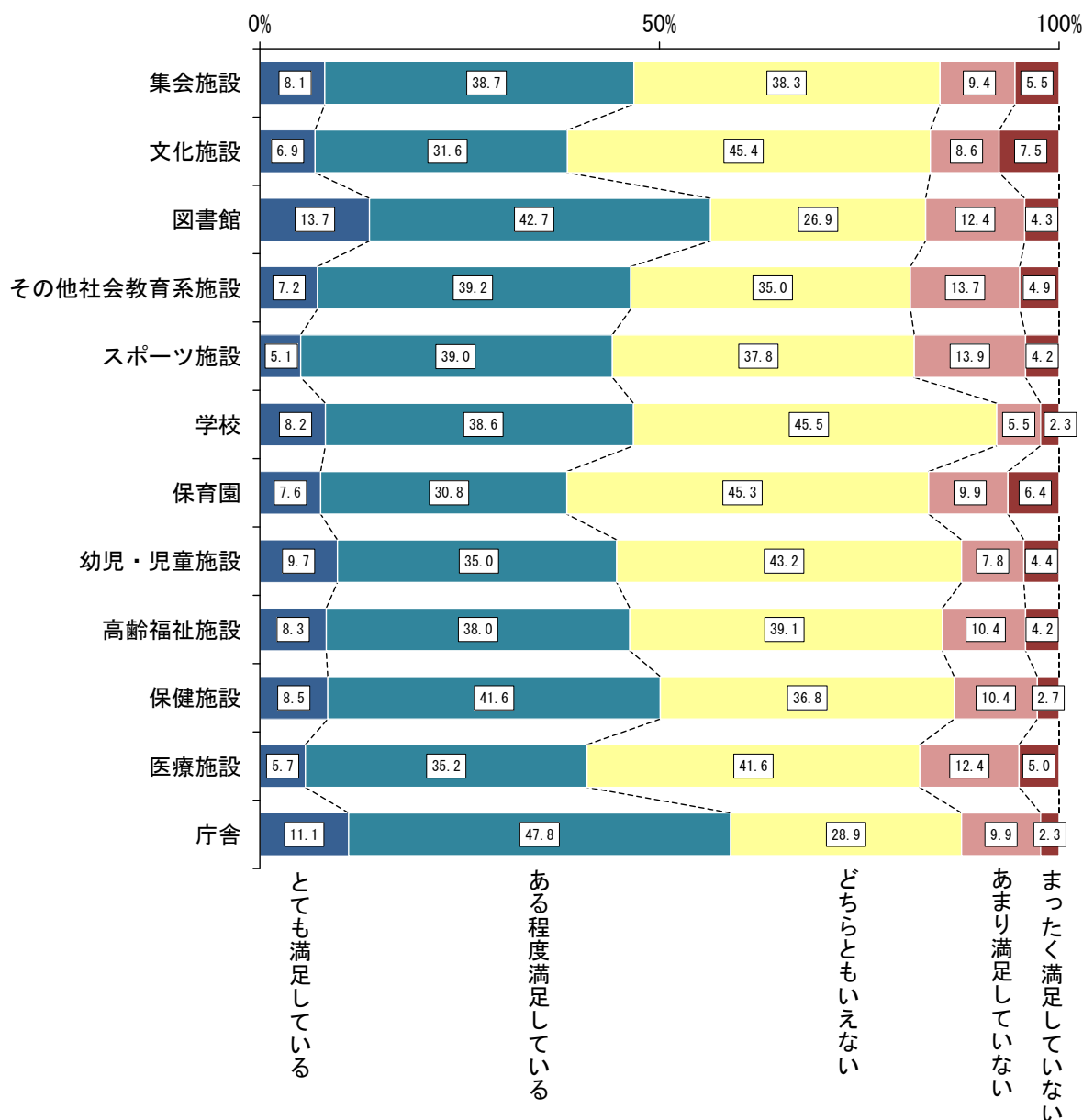


図2-9 公共施設の利用料金・サービス内容に関する意見 (n=914)

問 3③ 公共施設のハード面（建物本体や設備など）の規模や使い勝手、安全性、維持修繕状況などなどについてどのようにお考えですか？

庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 7 割を占めており、次いでその他社会教育系施設が多くなっています。また、図書館・学校・保育園・医療施設は「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見の合計が、「とても満足している」「ある程度満足している」という意見の合計を上回っていることがわかります。

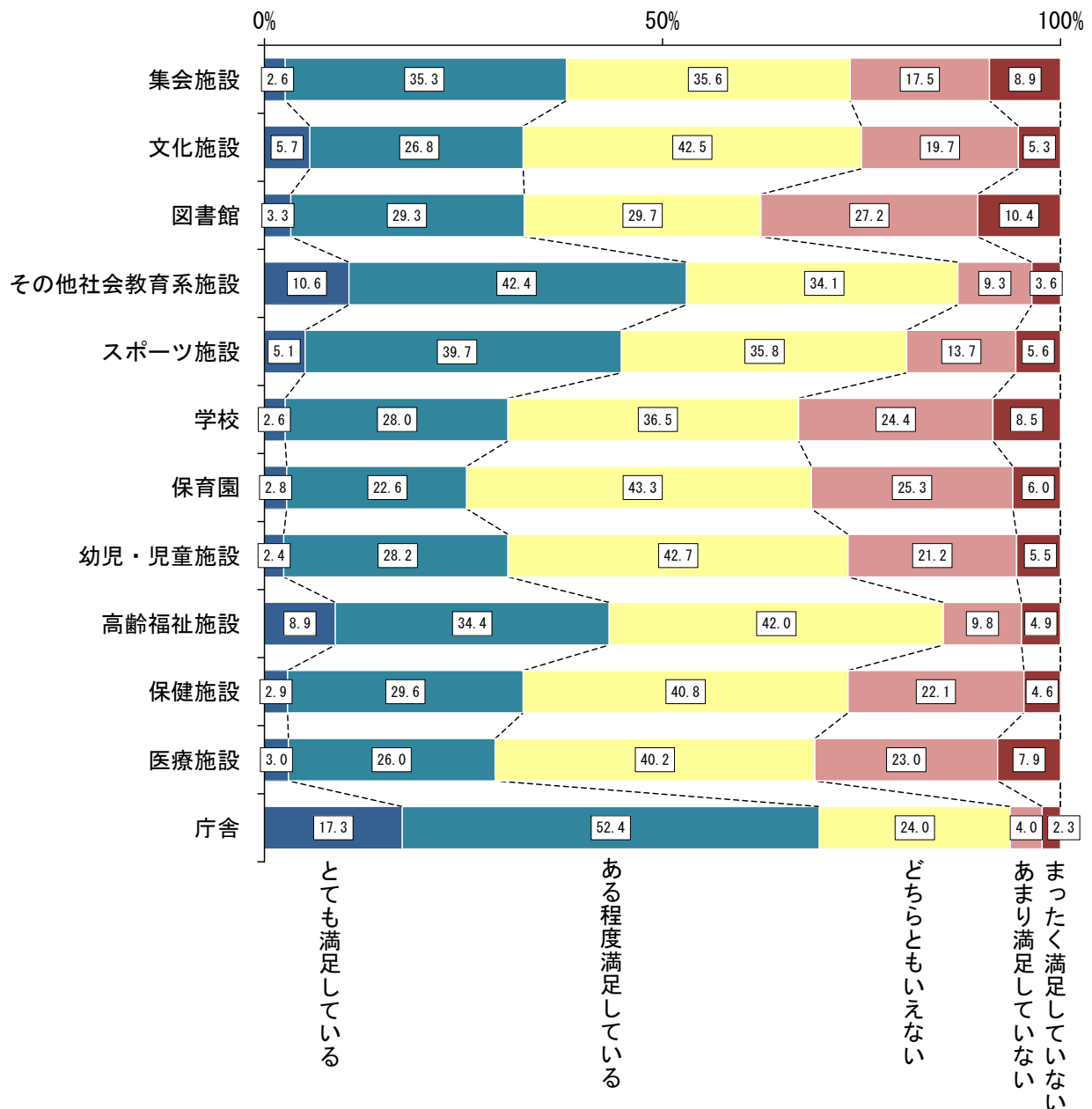


図2-10 公共施設のハード面の規模や使い勝手などに関する意見 (n=914)

問 3④ 公共施設の施設数についてどのようにお考えですか？

庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 8 割を占めており、次いで学校が多くなっています。また、高齢福祉施設・医療施設では、「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見が全体の約 2 割と他の施設分類よりも少し多いことがわかります。

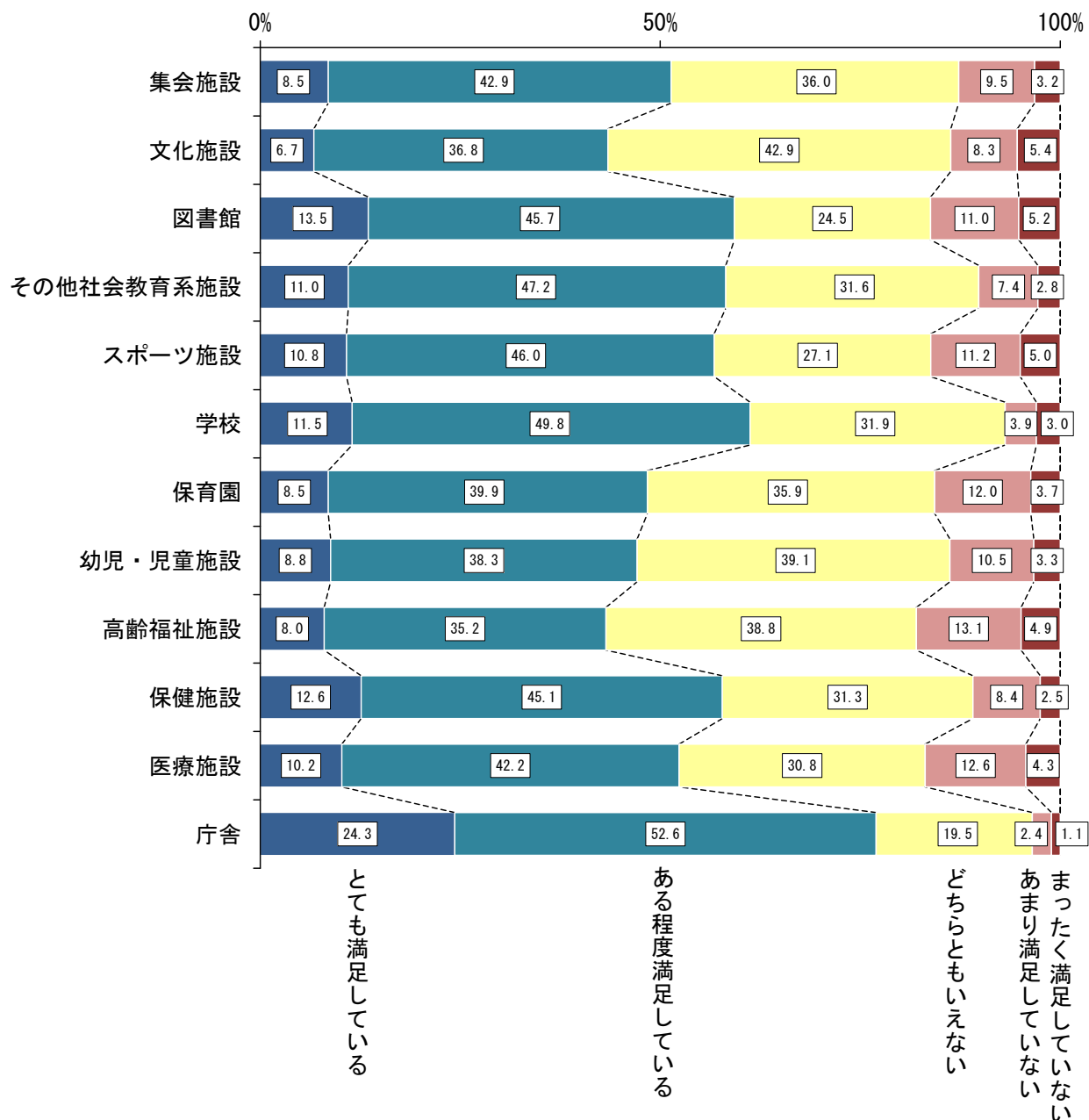


図2-11 公共施設の施設数に関する意見 (n=914)

問 3⑤ 公共施設のアクセスについてどのようにお考えですか？

庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 7 割を占めており、次いで学校が多くなっています。また、図書館は「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見が多く、全体の約 3 割と他の施設分類よりも多い結果となっています。

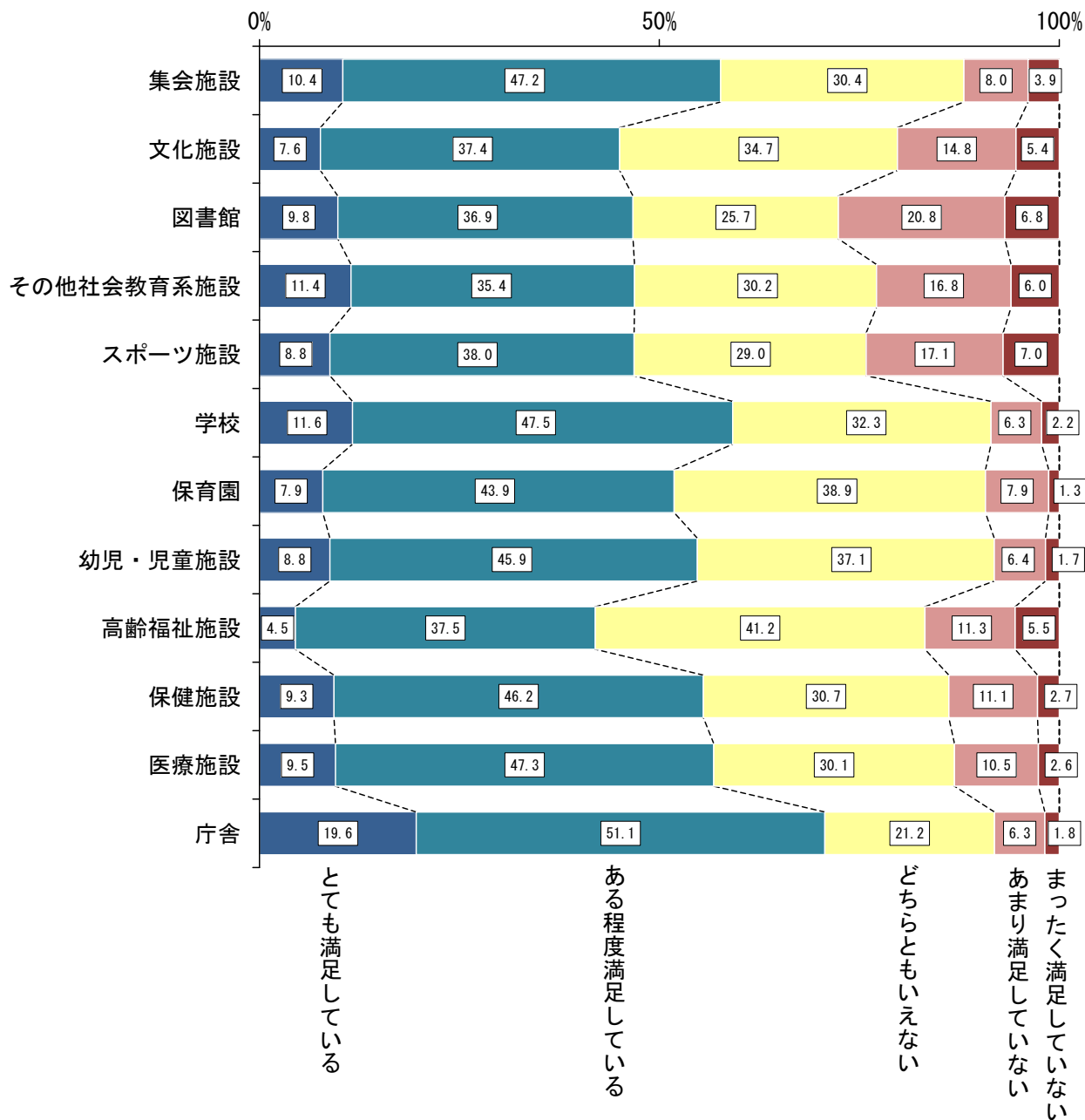


図2-12 公共施設のアクセスに関する意見 (n=914)

4 今後の公共施設のあり方

問4 今後の公共施設のあり方についてどのようにお考えですか？

未利用不動産の売却等や民間活力の導入や施設の統廃合、長寿命化といった、公共施設の最適化に向けた方策について、多くの方が賛成と考えています。しかし、地域への施設譲渡やサービス水準引き下げによる管理運営費の削減等、経済的な負担やサービスの質の低下が生じる方策については、過半数以上の方が反対と考えていることが分かります。

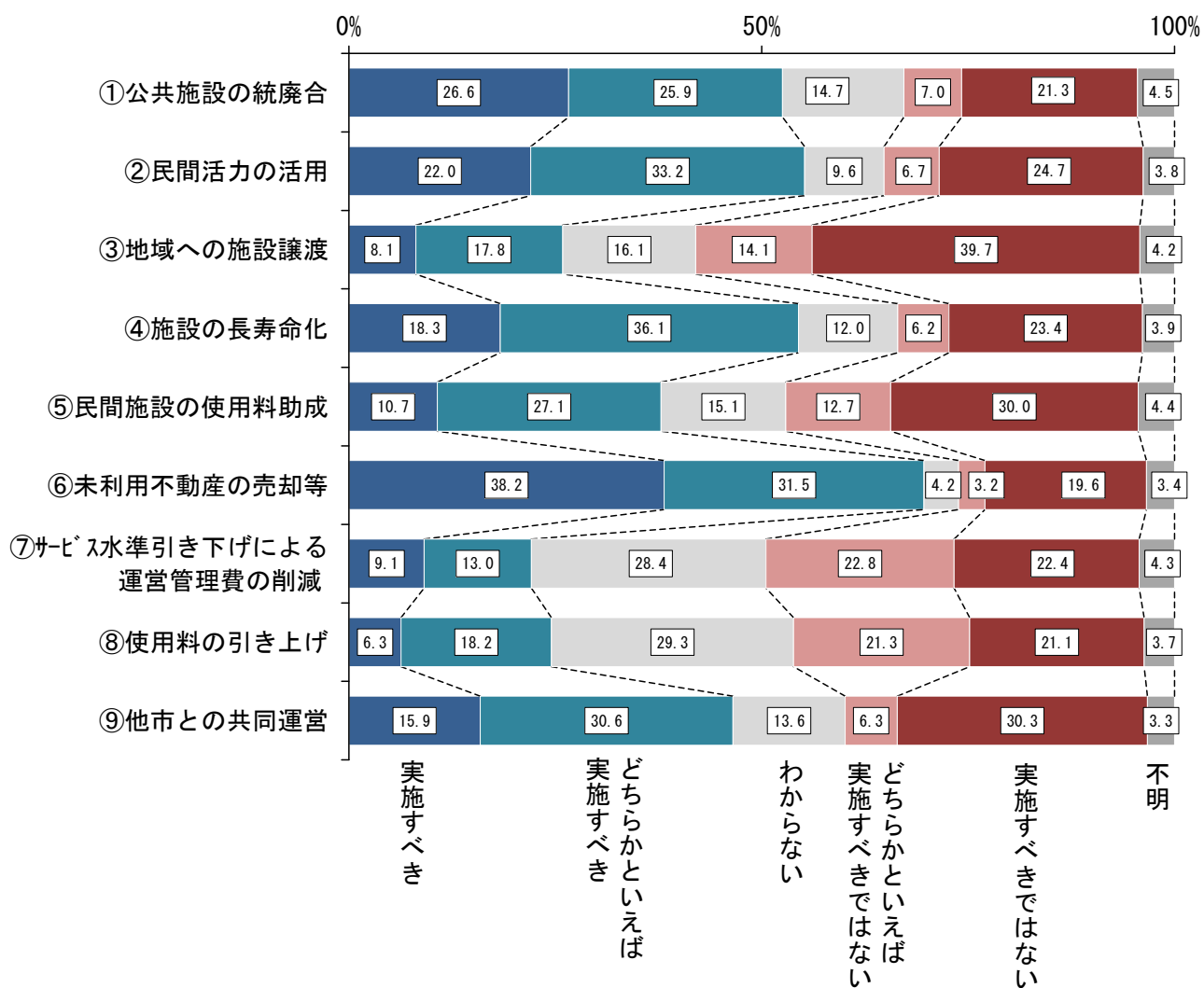


図2-13 今後の公共施設のあり方に関する意見 (n=914)

問5 どのような施設において「統合・複合」を考えるべきだと思いますか？

過半数以上の方が、低利用率な施設、耐震性能が低い施設について、複合・統合を検討するべきと評価しています。

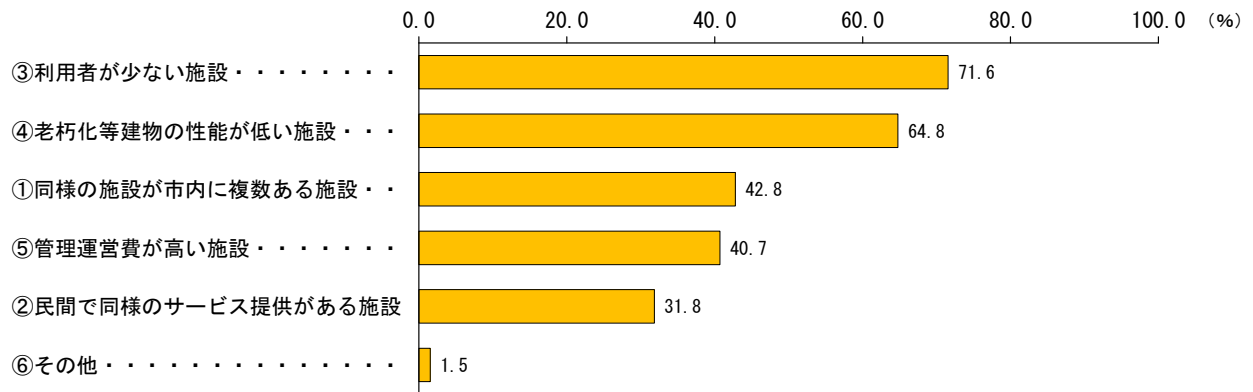


図2-14 統合・複合に関する意見 (n=914)

表2-1 統合・複合に関するその他の意見

No.	性別	年齢	職業	その他
40	男性	65歳以上	無職	現状視点のみで判断せず将来的展望を見据えて、進歩的に考察の必要あり
41	女性	55～64歳	会社員・公務員・教員	高齢者、子どもたちがお互い関われるように統合複合できるもの
67	男性	45～54歳	会社員・公務員・教員	他市に充実した施設がある場合
123	女性	55～64歳	主婦（夫）	図書館と市民プラザは同じ敷地にある古い建物ですね。図書館は市民プラザ（旧公民館）の駐車場をつぶして建てましたね。どちらの施設を利用する人も駐車場に困っています。複合して地下に大きな（2～3階分）駐車場にして大きな建物にして欲しいです。
157	男性	65歳以上	無職	無駄の排除
176	女性	45～54歳	主婦（夫）	統合して集会所やふれあいの場が遠くなると高齢者が行きづらい。高齢者が触れるからこそ、集会所、憩いの場、催し物が必要となる
184	男性	25～34歳	会社員・公務員・教員	休日診療所の一部を民間にテナントして設備を共同利用するなど
186	男性	16～24歳	学生	やるにしてもお金かかるよね。やらない方がいい。
201	男性	65歳以上	無職	各施設の利用は数回のため、何も判らない
258	女性	25～34歳	パート・アルバイトなど	同地区に集中している施設
338	男性	65歳以上	無職	小学校・児童館・南部老人憩の家・保育園
344	女性	55～64歳	会社員・公務員・教員	5. 人件費や光熱費などの管理運営費が高い施設→低くするように努力する
358	男性	35～44歳	会社員・公務員・教員	機能・目的が重複していて、かつ、その施設の利用頻度が少ない施設
364	男性	65歳以上	自営業・自由業	公共施設についてはムダな面が多いのがつねではないか？
425	女性	65歳以上	主婦（夫）	小学校で使われてない教室をもっと利用し、保育園・児童館・ふれあいセンター等地域がふれあえる場所にすると良いと思う。市中心でなければとくに！
518	女性	55～64歳	主婦（夫）	市民プラザの様に団体登録されていない一般市民が使えないような設備（PC, 印刷機等）があるがそれを公共と言えるのか？と思う。
523	女性	25～34歳	会社員・公務員・教員	取り壊しを行い、他の運用をすればいいのでは？
566	男性	16～24歳	会社員・公務員・教員	地域にまとめると遠くなるので足腰の弱い私は大変

No.	性別	年齢	職業	その他
595	女性	65 歳以上	無職	市役所におまかせ致します
609	女性	65 歳以上	主婦（夫）	利用してないのでわからない
650	女性	45～54 歳	会社員・公務員・教員	複合化はやめたほうがよい、それぞれの機能を保つことが難しくなる場合がある
658	男性	65 歳以上	無職	どの施設も利用する年齢ではありません 91 才
705	男性	35～44 歳	会社員・公務員・教員	各公共施設の利用頻度、利用人数を把握し、ほとんど使われていないのであれば、閉鎖しても良いと思われる。
712	女性	45～54 歳	主婦（夫）	統廃合により施設数を減らすことには大賛成です。小さい市なのに施設の数が多いと思います。施設運営にはボランティアの活用も、コスト削減につながるのではないのでしょうか。
732	女性	16～24 歳	会社員・公務員・教員	施設のものによって異なるため、一概に答えることはできないと思います。
745	男性	65 歳以上	無職	・財政負担の軽減のために、公共施設の数や内容の低減を図るのは、必ずしも得策とは考えません。　・利用家庭の調査分析を含め、ソフト面からの最善策の費用削減、適正運用を図るべきと考えます。
788	女性	35～44 歳	会社員・公務員・教員	しなくてよい
793	男性	45～54 歳	会社員・公務員・教員	選択させることが間違い
828	男性	65 歳以上	無職	下の写真のような施設が望ましいと思う

問 6①あなたが今後も維持（保有）すべきだと思う公共施設を教えてください。

学校や保育園、庁舎など、不特定多数の市民が利用できる施設や教育に関わる施設について、維持（保有）を図るべきだという意見が多いことがわかります。

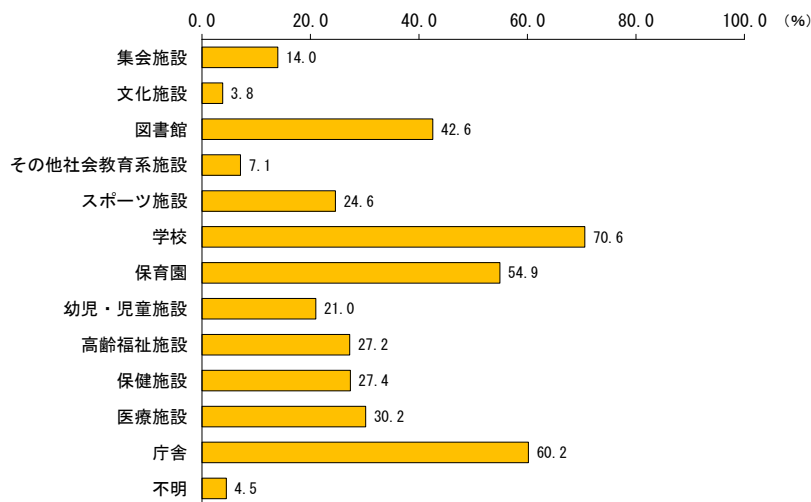


図2-15 施設の維持に関する意見 (n=914)

問 6②あなたが今後、統合・削減していくべきだと思う施設を教えてください。

集会施設や文化施設、その他社会教育系施設など、不特定多数の市民が利用できる施設について、今後統合・削減していくべきだという意見が多いことがわかります。

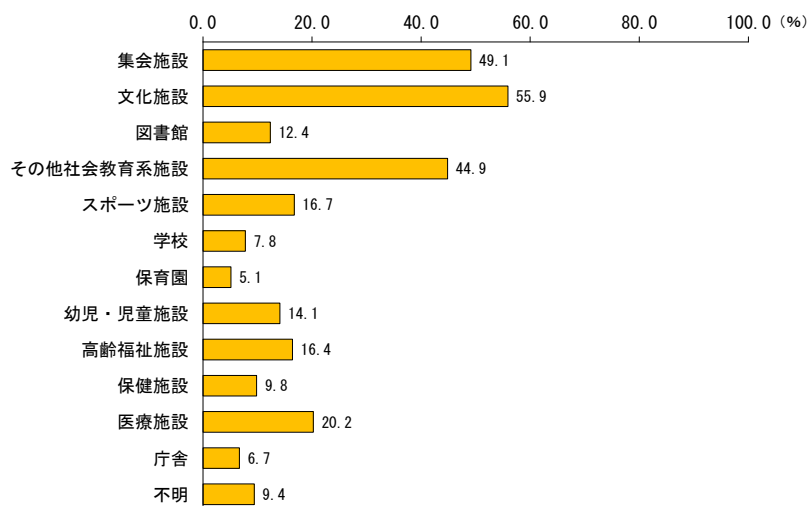


図2-16 施設の統合・削減に関する意見 (n=914)

問 7 今後、民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設を教えてください。

文化施設やスポーツ施設など、定期的に利用し、かつ利用料金の発生する施設についての民間転用に対して賛成という意見が多いことがわかります。

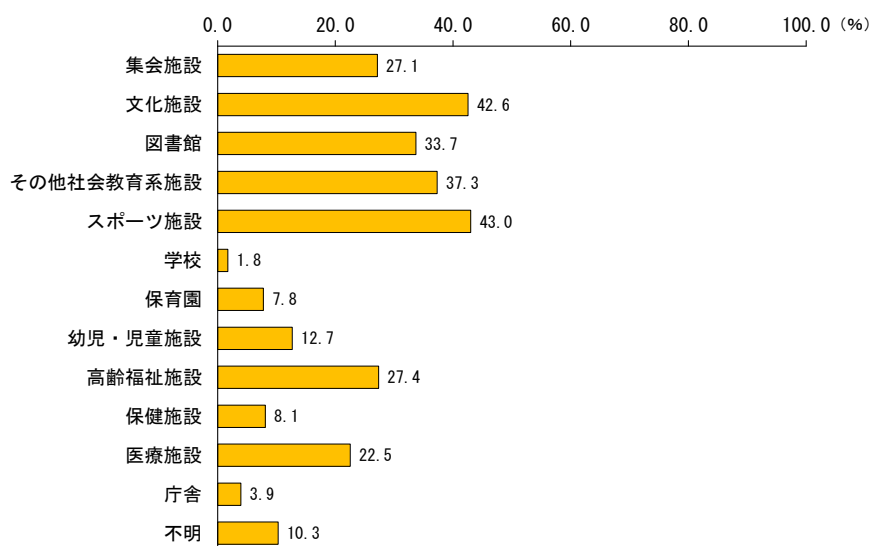


図2-17 民間への転換に関する意見 (n=914)

問 8 近隣自治体の施設を使用してもよいと思うものについて教えてください。

図書館やスポーツ施設など、不特定多数の市民が利用できる施設の広域利用に対して賛成という意見が多いことがわかります。

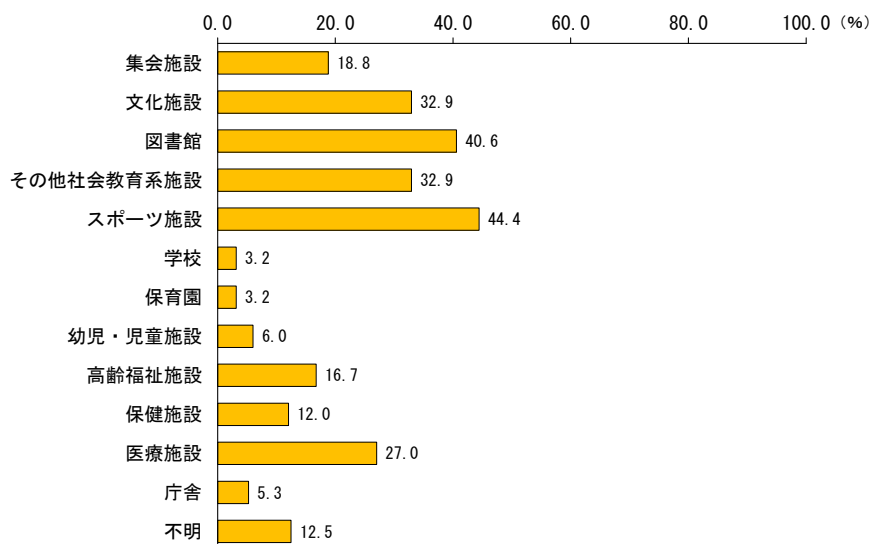


図2-18 近隣自治体施設の利用に関する意見 (n=914)

5 自由意見

市民アンケートの自由意見を、記載内容ごとに大きく以下の7項目に分類し、集計しました。そのうち、公共施設のあり方、公共施設の現状、職員のあり方、交通機関、その他の意見においては、さらに「主な意見項目」に分類・集計し、代表的な意見やその他の意見を抜粋し記載しています。なお、公共施設のあり方、公共施設の現状においては、施設分類ごとに意見をまとめています。

＜自由意見の記載内容＞

内容	人数
アンケートに対する意見	19
公共施設のあり方に関する意見	132
公共施設の現状に関する意見	53
職員のあり方に関する意見	8
交通機関に関する意見	16
その他	20
特になし、分からない	8

＜公共施設のあり方に関する主な意見項目＞

- ・維持すべき
- ・施設を無くす、減らすべき
- ・増やすべき
- ・集約化(複合化)すべき
- ・余裕スペースの活用・多機能化すべき
- ・民間活力を活用すべき
- ・民間に移行すべきではない
- ・近隣自治体の施設を使うなど広域化すべき
- ・有料化・利用料の増加を行うべき
- ・利用料を減らすべき
- ・建替えるべき
- ・避難所機能を確保すべき
- ・若年層の施設を充実させるべき
- ・利用者を増やす取組をすべき
- ・サービスの提供方法を見直し効率化させるべき
- ・施設までの公共交通機関を充実させるべき
- ・その他

< 公共施設の現状に関する主な意見項目 >

- ・利用していない
- ・老朽化が進んでいる
- ・施設が多すぎる
- ・避難所として不安である
- ・駐車場が不足している
- ・知らない・使い方が分からない
- ・遠い
- ・充実している
- ・施設配置や施設の充実度に偏りがある
- ・利用料が高い
- ・その他

< 職員のあり方に関する主な意見項目 >

- ・職員が多いなど職員数に関する意見
- ・その他

< 交通機関に関する主な意見項目 >

- ・車・自転車が利用できないと施設への移動手段がない
- ・統廃合と併せて、交通手段の確保も検討してほしい
- ・施設を減らさず交通手段を充実させてほしい
- ・施設を集約化することで効率よく移動できる
- ・その他

(1) アンケートに対する意見

アンケートに対する意見としては、「アンケート結果及びアンケートを踏まえた今後の動向を知りたい」、「インターネットを利用したアンケートにすることで若い世代の意見を集めやすくなる」など、アンケートを今後の公共施設のあり方に活かすための意見が見られる一方、アンケートはコストの無駄であるなど批判的な意見もありました。

◆意見抜粋

- ・何らかの形でアンケート結果が出るにしても、これに対して議会等で話し合いがされと思うが、これに対しての結果等、何も知りえない。私たち市民は、アンケートに答えるからには、この先の（アンケート調査による）動向も知りたい。
- ・紙での集計は大変なので、ネットを使ってアンケートを取るのも良いと思う。より多くの若い人たちの意見が集めやすいと思う。
- ・アンケートを取ってまで考える必要のある内容ではないし、アンケートのコストも無駄であると思う。
- ・それぞれの施設が実際にどの程度利用されているのかを知らないなので、基準にするものがなく、記入に困りました。

(2) 公共施設のあり方、公共施設の現状についての意見

① 集会施設

アンケートの間 6②「今後、統合・削除していくべき施設」に対する回答では、集会施設は、文化施設に次いで2番目に回答数が多く、自由意見においても、施設の統合や複合化をすべきという意見が多くみられました。また、施設機能の面から、他施設への集約化が可能ではないかという意見も多くみられました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
施設を無くす、減らすべき	6
集約化(複合化)すべき	7
利用者を増やす取組をすべき	1

◆意見抜粋

- ・保健施設、集会施設、図書館は市役所庁舎内に収容すればよいと思います。
- ・集会を開く時に児童館や生涯学習センター等の会議室でできるのではないかな。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
利用していない	1
老朽化が進んでいる	1
施設が多すぎる	1
避難所として不安である	2

◆意見抜粋

- ・集会施設もそんなに数はいらなと思います。1件ずつ見ていて、どこも古い、耐久性に不安があります。災害・地震等の避難が必要の時に、避難先に不安がある施設が多いと思っています。

② 文化施設

アンケートの間 6②「今後、統合・削除していくべき施設」に対する回答では、文化施設は最も回答数が多く、自由意見においても「維持する必要がない」「(施設の存在自体) 知らなかった」という意見が見られました。また、近隣自治体と施設を共用すべきとの意見もありました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
施設を無くす、減らすべき	1
集約化(複合化)すべき	1
近隣自治体の施設を使うなど広域化すべき	2

◆意見抜粋

- ・不定期に必要なになる施設（文化施設など）は、他の学校等の施設を活用するのもよいのでは。
- ・スポーツ施設、文化施設、社会教育系施設は近隣市町村と共用すれば良い。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
知らない・使い方が分からない	3
その他	1

※その他意見

- ・施設の管理が非効率・・・1

◆意見抜粋

- ・岩倉市民プラザとか希望の家等、どこにあり、何をする所か知らなすぎました。
- ・市民プラザのエレベータを利用して駐車場へ行った時、夜7時台で夏でした。館内はバンバンにクーラーがきいていて、職員が2人座っていました。職員が残業して電気代を使い、大きなロスです。

③ 図書館

アンケートの問8「近隣自治体の施設を使用してもよい」施設に対する回答では、図書館はスポーツ施設に次いで回答数が多く、自由意見でも近隣自治体との共同利用を検討すべきとの意見が見られました。また、サービスの向上を求める意見や駐車場が不足しているとの意見も見られました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
維持すべき	1
施設を無くす、減らすべき	1
集約化(複合化)すべき	3
民間活力を活用すべき	1
近隣自治体の施設を使うなど広域化すべき	2
サービスの提供方法を見直し効率化させるべき	2
その他	3

※その他意見

- ・図書館は重要だが、実用的な本以外は不要・・・1
- ・駐車場の整備、蔵書数の拡大など利用環境の向上・・・1 など

◆意見抜粋

- ・図書館の充実を求める。近隣自治体と助け合って運営するのもありだと思う。
- ・書館は電子書籍を活用して、児童書などの一部を除いて実物を減らし、知への窓口としての機能を強化、資源を集中する。近隣の図書館の宅配サービスは、レンタルサービスと連携して安価に提供する。
- ・図書館は駐車場が不足しているので、増設するか、他施設を統合して、広い場所へ移転。
- ・図書館を充実させてほしいと思います。広い駐車場の整備、蔵書数の拡大、貸し出しカートを用意する等、一宮の中央図書館、小牧市の図書館のような施設になることを切に望みます。より充実するのであれば、場合によっては民間委託でもいいと思います。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
駐車場が不足している	2
その他	1

※その他意見

- ・利用環境が悪い・・・1

◆意見抜粋

- ・図書館、駐車場が少ないのが欠点だと思います。
- ・図書館についてですが、電気の節約によって冷房があまり効いておらず、ジメジメしてカビ臭く、不快な空間になっています。

④ その他社会教育系施設

その他社会教育系施設においては、青少年宿泊研修施設希望の家、生涯学習センター、それぞれに対する個別意見が多いため、個別で意見を集計しています。青少年宿泊研修施設希望の家に対する自由意見は、生涯学習センターに比べ少なく、利用者也限定されることから、先のアンケートの設問においても、その他社会教育系施設に対する回答は生涯学習センターを対象にしている回答者が多いと推測されます。

青少年宿泊研修施設希望の家に対する自由意見としては、施設を無くすべき、近隣自治体との共同運営を検討すべきとの意見が見られました。

生涯学習センターに対しては、多機能化すべき、利用料の増加を図るべきなど、立地条件が良いことに着目している意見が多く見られました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

i) その他社会教育系施設のあり方に関する意見

意見	人数
近隣自治体の施設を使うなど広域化すべき	1

ii) 青少年宿泊研修施設希望の家の在り方に関する意見

意見	人数
施設を無くす、減らすべき	2
近隣自治体の施設を使うなど広域化すべき	1

◆意見抜粋

- ・希望の家は一宮市との共同でもよいのではないかな？
- ・希望の家については、以前利用した事がありますが、料金も高く、不便で不必要と考えています。

iii) 生涯学習センターの在り方に関する意見

意見	人数
余裕スペースの活用・多機能化すべき	2
有料化・利用料の増加を行うべき	1
利用料を減らすべき	1
その他	2

※その他意見

- ・スポーツを行う部屋を増やすべき・・・1
- ・Web を使いやすくすることで、集客を増やすべき・・・1

◆意見抜粋

- ・市役所、生涯学習センターは地の利を活かし、多機能化すべし（一宮の i ビルのように）。
- ・岩倉生涯学習センターのホームページは使いづらさがこの上ない。これではホームページで予約をとるのに時間を取られてしまう。Web をもっと使いやすくして、市外の人たりも借りやすいようにするべき。

b) 公共施設の現状に関する意見

i) 希望の家の現状に関する意見

意見	人数
利用料が高い	1

ii) 生涯学習センターの在り方に関する意見

意見	人数
その他	2

※その他意見

- ・一等地に設置する必要はない・・・1
- ・駐車場の利用時間、料金を見直してほしい・・・1

⑤ スポーツ施設

アンケートの問 7「民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設」、問 8「近隣自治体の施設を使用してもよい」施設に対する回答では、ともにスポーツ施設が最も多く、自由意見においても、同様の意見が多く見られました。また、スポーツ施設を 1 ヶ所に集約すべきとの意見や、岩倉北小学校に併設されている市立体育館を建替えるべきとの意見も見られました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
維持すべき	2
増やすべき	2
集約化(複合化)すべき	3
民間活力を活用すべき	1
近隣自治体の施設を使うなど広域化すべき	5
建替えるべき	1
その他	1

※その他意見

- ・もっと力を入れるべき・・・1

◆意見抜粋

- ・スポーツは市民の健康維持に役立ち、医療費削減にもつながるので、関連施設は重視すべき
- ・文化、スポーツ施設など大規模な設備や建物については、近隣の市町村と共同で所有・運営しても良いのではないかと思います。
- ・文化、スポーツ施設はどんどん民間運営へ移行していくべきだと思います。文化、スポーツ施設利用者は、少し料金が上がっても利用は続けるだろうし、民間運営のほうがより合理的なシステムで運営していくと思います。
- ・本来ならスポーツ施設はスポーツ施設で一ヶ所に集合して設置していただくと良いと思います。
- ・北小体育館、保健センターの建替えが必要と考えます。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
施設が多すぎる	1
知らない・使い方が分からない	1
遠い	1
その他	4

※その他意見

- ・プールが廃止され残念である・・・2
- ・市立体育館の設備面が他の自治体より見劣りする・・・1
- ・スポーツ施設は民間を利用している・・・1

◆意見抜粋

- ・確かに小さな町に施設が多いようです。体育館も岩倉は多いと言われているから
- ・市民プールが無くなってしまったのはとても残念です。

⑥ 学校

学校においては、多世代間交流の観点、放課後児童クラブへの移動時の安全性の観点から、児童館や集会施設、高齢福祉施設などとの複合化をすべきとの意見が多くみられました。また、児童数に偏りがある、多国籍の児童に対する教育が充実しているとの意見もありました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
維持すべき	5
施設を無くす、減らすべき	1
集約化(複合化)すべき	10
余裕スペースの活用・多機能化すべき	4
民間に移行すべきではない	1
避難所機能を確保すべき	1
その他	4

※その他意見

- ・学校の統合は、生徒たちの通学が大変になる・・・1
- ・洋式トイレを増設すべき・・・1 など

◆意見抜粋

- ・中学校が2校、小学校が5校、見直すべき。
- ・東小学区に住んでいるが、東小が全学年1クラスと少ないし、他の小学校も2クラスや3クラスなど少ないので、統合すべきと思います。
- ・学校と児童館を統合して、そのまま残れるようにすれば、安全面でもよい。学校と集会施設、高齢施設も統合できれば、子どもとお年寄りの交流もでき、見守りやイベントも盛り上がるのでは。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
老朽化が進んでいる	1
施設配置や施設の充実度に偏りがある	1
その他	3

※その他意見

- ・他国籍の子供達にも対応した教育である・・・1
- ・設備面を整えるべき・・・1 など

◆意見抜粋

- ・小学校も中学校も学校の生徒数に差がある
- ・岩倉市は外国籍の子どもが多く、日本語の先生も充実した教育だと思います。他市のブラジルの生徒は学校に馴染めなくて、目標も見つからず、進路も困った状況があります。

⑦ 保育園

アンケートの問 6①「今後も維持すべき」施設を挙げる設問において、保育園は学校、庁舎に次いで回答数が多く、アンケート問 7「民間への転換、または管理運営してもよい」施設に対する回答では、庁舎、学校に次いで回答数が少なくなっていました。自由意見においても、市で保有すべき、民間に移行すべきではないとの意見が多く見られました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
維持すべき	9
集約化(複合化)すべき	4
民間に移行すべきではない	3
その他	3

※その他意見

- ・保育園は余裕があるくらいでもよい・・・1
- ・岩倉市単独で公共施設を有する必要はないが充実させるべき・・・1
- ・保育園の園庭を解放すべき・・・1

◆意見抜粋

- ・保育園や学校、児童館などは、今後も女性が社会で働くにあたり、とても重要であり、必要なものであると考えます。そのため、より預けやすく、いつでも受け入れていただけるような環境にしていきたいです。市での運営を望みます。
- ・保育園は一部子ども園にするのは構わないが、公立園の維持、補修は絶対に必要。
- ・こどもの人口は減っているかもしれませんが、核家族や共働きの家族も多く、そこを最優先でカバーする意味で、保育園はいつそ余裕があるくらいでも良いように感じます。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
その他	1

※その他意見

- ・事故が多いと聞く・・・1
- ・岩倉市の保育園は事故が多いと聞きます。保育園に預けたいけどちょっと心配という話をちらほら聞きます。安全面、大事です。

⑧ 幼児・児童施設

幼児・児童施設においては、子供のための施設という観点から、学校、保育園と併せて維持すべきという自由意見が多く見られますが、アンケート問 6①「今後も維持すべき」施設に対しての回答数は、文化施設、その他社会教育系施設、集会施設に次いで少なくなっており、幼児・児童施設単独では、維持すべきとの意見は少ないと考えられます。また、小学校内への児童館の設置など、複合化すべきとの意見が多く見られました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
維持すべき	8
増やすべき	1
集約化(複合化)すべき	11
民間に移行すべきではない	3
その他	2

※その他意見

- ・児童デイサービスや療育施設の運営を増やすべき・・・1

◆意見抜粋

- ・学校、保育園、児童館等、子どもの成長に関する施設は、これからも市で運営・充実してってください。
- ・保育、幼児、児童館等の子育てに関する施設は、少子化を食い止めるためにも絶対必要であり、状況に応じて増加することも必要。
- ・保育園や児童館と老人施設など一緒にする事で、様々な人との交流ができると思います。また、一緒にすることで児童館を利用できていない子どもも減るのでは？
- ・発達障害や発達に遅れがある子どもたちが利用できる施設をなぜ岩倉市は作らないのか？児童デイサービスや療育施設の運営を増やすべき。困っているのは乳児の母ではなく、障害児の母です。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
遠い	1
充実している	1
施設配置や施設の充実度に偏りがある	1

◆意見抜粋

- ・児童館を利用して感じているのは、地区により施設に差があることは、不公平感が大きい。

⑨ 高齢福祉施設

高齢福祉施設においては、他施設との複合化の検討をすべきとの意見が多く見られましたが、複合化により、施設へのアクセスが悪くなることへの不安の声もありました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
維持すべき	2
増やすべき	1
集約化(複合化)すべき	8
余裕スペースの活用・多機能化すべき	1
民間活力を活用すべき	1
有料化・利用料の増加を行うべき	1
その他	7

※その他意見

- ・統合によりアクセスが悪くなるのが不安・・・2
- ・岩倉市単独で公共施設を有する必要はないが充実させるべき・・・1
- ・さくらの家のお風呂は不要・・・1
- ・さくらの家に保育士を配置してほしい・・・1 など

◆意見抜粋

- ・今後の老年人口の増加と年少人口の減少を鑑み、学校・保育所の統合、高齢者施設の統合、また、将来的な転用を視野に入れた配置が必要。
- ・老人施設はまとめてしまうと、行くのが大変になるので、バラバラにあったほうがいいと思う。
- ・さくらの家、南部憩いの家の浴場利用者に、少しでも料金徴収が望ましい（回数券発行等・・・）

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
利用していない	1
施設が多すぎる	1
駐車場が不足している	1
遠い	1
その他	3

※その他意見

- ・さくらの家は他市住民の利用により地元住民の利用が不便・・・1
- ・高齢者に対する接し方が親切・・・1 など

◆意見抜粋

- ・老人施設が多く、またたくさんのお金を費やしており、不平等感を強く感じている。将来ある若年層にもっとお金をかけるべきである。

- ・さくらの家
- ・風呂は不要
- ・他市住民が利用しているため、地元住民の利用が不便（開放しているときに有料で貸し出していないため）

⑩ 保健施設

保健施設に関しては、休日診療所との複合化、市役所との複合化など、複合化すべきとの意見が多く見られました。また、老朽化していることから、建替えるべきとの意見もありました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
維持すべき	2
集約化(複合化)すべき	9
建替えるべき	1

◆意見抜粋

- ・学校、保育園、医療保健、その他各地域に密着した小規模な施設はなるべく維持していただきたい。
- ・保健センターと休日診療の統合
- ・保健施設：健康診断しか利用したことがない。体育館でも良いのでは。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
利用していない	1
駐車場が不足している	2
遠い	1
その他	1

※その他意見

- ・保健センターのトイレに洋式がなく不便・・・1

◆意見抜粋

- ・保健センターと休日診療所は、建物内が暗く、古いので、あまり気軽に利用したいと思えない。駐車場も狭くて少ししか停められなくて不便。複合化して明るく清潔感のある感じにして、駐車スペースももう少しあればいいなと思います。

⑪ 医療施設

アンケート問 2 において、医療施設は、最近 1 年間に利用している人（月 1 回以上利用）がもっとも少なく、自由意見においても施設を無くしてもよい、民間に委託した方がよいとの意見が見られました。

意見	人数
施設を無くす、減らすべき	3
集約化(複合化)すべき	1
民間活力を活用すべき	2

◆意見抜粋

- ・休日診療所の設備やできる処置に限界があるなら、輪番制を廃止して、現開業医の施設での休日診療を行ったほうがよっぽど良い医療ができる。
- ・市の検診も民間（市外も含めて）に委託し、休日診療所も無くして良いと思います。民間に委託したほうがサービス向上になるのではないかと思います

a) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
利用していない	1
駐車場が不足している	1
その他	1

※その他意見

- ・大きな病院がなくて不便・・・1

⑫ 庁舎施設

アンケートの問 6①「今後も維持すべき」施設に対する回答では、庁舎と回答した人は 6 割を超えており、自由意見では、維持や削減に対する意見はあまり見られませんでした。また、駐車場の不足、駐車場利用方法についての意見が見られました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
維持すべき	2
増やすべき	1
集約化(複合化)すべき	1
余裕スペースの活用・多機能化すべき	1
有料化・利用料の増加を行うべき	1

◆意見抜粋

- ・出張所のような施設があると、子どもを連れていても出かけやすく、ありがたいなあと思います。
- ・市役所、生涯学習センターは地の利を活かし、多機能化すべし

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
駐車場が不足している	1
その他	5

※その他意見

- ・利用環境（空調設備）が悪い・・・1
- ・駐車場の利用は庁舎利用者に限定してほしい・・・1 など

◆意見抜粋

- ・市庁舎の駐車場に利用者最優先を徹底。休日に停められない時があります。
- ・市役所を勉強する際に利用するのですが、クーラーが全く効いておらず、灼熱地獄であります。

⑬ 施設全体

自由意見全体を見ると、公共施設全体に対する今後のあり方への意見が多く、市民の岩倉市の今後の在り方への関心や期待の高さがうかがえます。公共施設を通じた人口を増やすためへの取組み、今後を担う子どもたちに対する施設の充実、高齢者が住みやすい街づくりの推進などの意見が見られました。

a) 公共施設のあり方に関する意見

意見	人数
施設を無くす、減らすべき	8
集約化(複合化)すべき	15
余裕スペースの活用・多機能化すべき	1
民間活力を活用すべき	9
民間に移行すべきではない	2
近隣自治体の施設を使うなど広域化すべき	2
有料化・利用料の増加を行うべき	4
利用料を減らすべき	1
避難所機能を確保すべき	7
若年層の施設を充実させるべき	7
人口を増やし利用者を増やす取組をすべき	6
サービスの提供方法を見直し効率化させるべき	4
その他	25

◆意見抜粋

- ・公共施設の運営管理も、もっと合理化を進めていかないといけない。必要、不必要を判断することや、統合等を考えるプロセスに、もっと民間で会社経営をしている人の意見を聞いたり、人材として組み入れることももっと進めるべき。
- ・災害に強い町づくりは必要
- ・老人が増えるのなら、開き直って、「老後に住みたい町 No. 1」を目指し、老人に特化して町づくりしてみてはどうか。「老人の、老人による、老人のための」運営をしたら、逆に若い人は安心して働ける環境になりそう

- ・人口増、活気ある市にすることを真剣に考えてほしい。
- ・ユニバーサルデザインで長く使える公共ならではの『公共の施設』を維持することを考えてほしい。住みたいまち岩倉！繁栄していけるよう頑張りましょう。
- ・設問に出てくる公共施設は統合するも縮減するも必要不可欠なもの。ここは創意工夫して知恵を出してほしい。魅力のある街づくりをして、市外からも人が集まる総合的な都市計画を期待しています。
- ・働く世代が働けるようにして頂けたら幸いです。それが高齢者の方を支えていく事にもつながる
- ・少子社会のため、子どもの施設を統廃合することだけはやめてほしい。お金がないからこそ、子どもたちには十分な教育や環境を与えてほしいと思います。その子どもたちに今の大人は必ず支えてもらわなければならないから。
- ・これからの時代は貸会議室で市も収入を得る必要があると思う。
- ・もっと仕事をしている人に優しい施設があるといいと思います
- ・岩倉は本当に子どもを育てやすい地域だと思うので、子育て世代が他の自治体に流出しないようなサービスをぜひ検討いただきたいです。
- ・管理しやすい施設ではなく、市民が利用しやすい施設であるためにはどうすれば良かを常に考える必要があると思う
- ・今後は重点方式で、例えば、子育て、老後にやさしい、「どこに負けない岩倉」をアピールできるような対策を講じてほしい。
- ・施設の新設にあたっては、「見た目」に金をかけるのではなく、使い勝手、メンテナンス性、ランニングコスト等の「質」を重視し、できるだけシンプルなものにすべき
- ・マイナンバーと自治体間ネットワークの活用で、住民票発行や福祉サービスの申込受付をコンビニ等のみに絞り、相談窓口を集約することや、健常者の利用する施設は、シャトルバスのみを提供するなどして、他市や民間に依頼する。

b) 公共施設の現状に関する意見

意見	人数
利用していない	2
施設が多すぎる	3
避難所として不安である	1
駐車場が不足している	3
知らない・使い方が分からない	4
充実している	2
施設配置や施設の充実度に偏りがある	1
その他	5

◆意見抜粋

- ・施設の配置に隔たりがあり、南部にとっては恩恵が少なく思います。
- ・公共施設の利用度が低い理由として、市民等の理解不足があります。ゆえに、各施設のPRをもっとしていただき、利用頻度を高め、存続していただきたく思います。
- ・利用される方々にもっと受益者負担をお願いできないでしょうか？公共施設を維持したければ、それ相応の負担が必要
- ・私は足が不自由です。10年間ペーパードライバーなので、主人がいないと移動できません。公共施設は1人で行ける人だけのものだと思います。

(3) 職員のあり方に関する意見

自由意見の中では、職員の在り方に対する意見も多く見られ、人件費の削減をまず行うべき、職員が多いなどの意見がありました。

意見	人数
職員が多いなど職員数に関する意見	6
その他	2

◆意見抜粋

- ・公共施設のあり方・・・というよりも、各公共施設で働いていらっしゃる方々、一人一人の意識のあり方ではないでしょうか？赤ちゃんからご老人まで、そこに行ってみたい！行きたいと思ってもらえるような魅力ある公共施設にしていだきたいと思います。
- ・市役所の職員が多いと思う。コストを考えるなら。

(4) 交通機関に関する意見

交通機関に関する意見としては、子育て世代、高齢者を中心に移動手段がないとの意見がありました。また、統廃合の検討と併せて、交通手段の確保も検討すべきとの意見も多くみられました。

意見	人数
車・自転車が利用できないと施設への移動手段がない	4
統廃合と併せて、交通手段の確保も検討してほしい	6
施設を減らさず交通手段を充実させてほしい	1
施設を集約化することで効率よく移動できる	1
その他	4

◆意見抜粋

- ・車を持っていない家庭も多く、雨の日など公共施設に行く手段が無い
- ・公共施設を統合されたとしたら、高齢者のためのアクセス等をしっかり充実させてほしいと思います。

- ・公共施設は1箇所（近くに）まとまっていたほうが良いと思います。高齢人口が増加すると、自分での移動能力が低下することが考えられるので、（中略）効率よい動きができるように思います。
- ・岩倉市は南北に長いので、交通不便であるし、駐車場も少ない（さくらの家、南部老人憩いの家、図書館、市民プラザ、など、オンデマンドより他市のような巡回バスのほうが良い
- ・高齢化が進み、施設へのアクセスが問題になると思うので、い〜わ号の利用がもっと便利になるよう、配慮をお願いします。
- ・車での移動（駐車場など）の利便性も考えてほしい。

（５）その他の意見

その他の意見としては、住みやすい、子育てがしやすいという意見がある一方、市民税が高い、財政が圧迫していることへの批判的な意見もありました。他市との統合を視野に入れた意見など、岩倉市自体の今後の在り方への意見もありました。

意見	人数
とても住みやすい	4
子育てがしやすい	1
財政について(市民税が高い等)	6
その他	10

◆意見抜粋

- ・岩倉市は「子育て支援に力を入れている」という理由で、私たちはここに住むようになりました。住んで3年になりますが、本当に住みやすいところだと思います。
- ・岩倉市はとても住み良い町だと思っております。子ども、孫の代もこのまま魅力的な町であってほしいと思います。
- ・岩倉の市民税は概して高いと思うが、どこにどういうふうに使われているのかを詳細に明確にして、市民に問うべきだと思う。
- ・岩倉市は周辺市に比べて、公共施設が質・量ともに劣っているにも関わらず、このように財政が圧迫しているということは、税収不足もさることながら、根本的に市政運営能力に欠けていると言わざるを得ません。市民としては、必ずしも「岩倉市」という枠組みの中で、市民サービスを受けたいとは考えていません。岩倉市の公共施設を廃止し、周辺市の施設のサービスを受けられるようになるのであれば、積極的にそのような政策を進めていただきたい。
- ・人口は将来的に減少する数字を示しているが、逆説的に岩倉市として人口増を考える対策を練るべきである。それが本来なければ、他市との統合を考えたほうが良い（人口増に関しては、岩倉市として一大プロジェクトとして策を練ってほしい）。

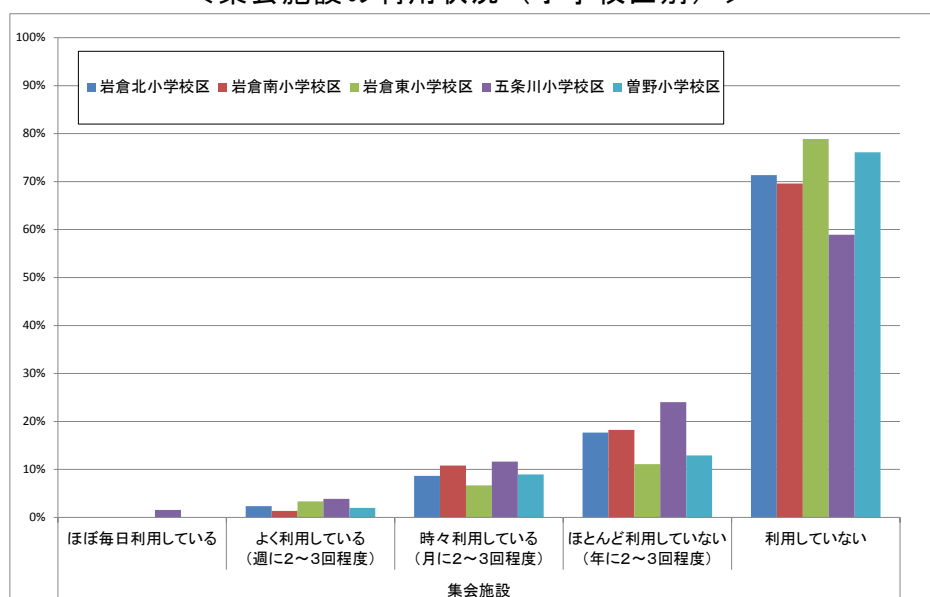
＜資料＞クロス集計

市民アンケートの各設問の回答を居住地区（小学校区）別、年齢別に集計しました。利用状況の集計を中心に、施設類型ごとに集計結果をまとめました。

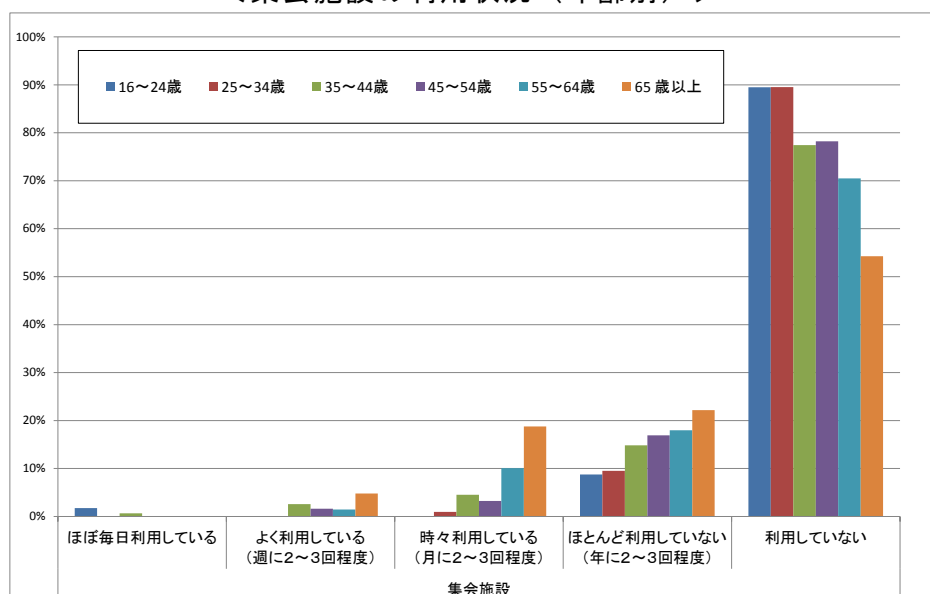
① 集会施設

- ・集会施設の利用状況に対する回答では、人口に対し施設数が多く配置されている五条川小学校区において、過去１年間に施設を利用した人数の割合が最も多くなっています。また、施設数、保有面積共に少ない、岩倉東小学校区では、過去１年間に利用した人数は最も少なくなっています。
- ・利用状況に対する回答を年齢別に見ると、過去１年間に利用した人数の割合は、65歳以上が最も多くなっており、年齢が若くなるに伴い少なくなっています。

＜集会施設の利用状況（小学校区別）＞

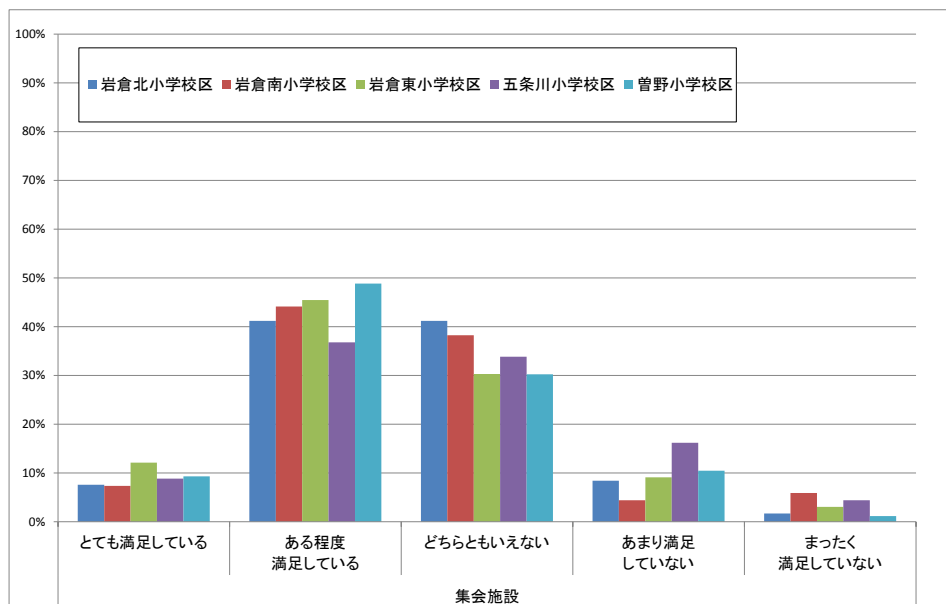


＜集会施設の利用状況（年齢別）＞



- ・集会施設の施設数に対しての意見では、人口に対し施設数が最も多い五条川小学校区において、満足していないとの回答が多くなりました。

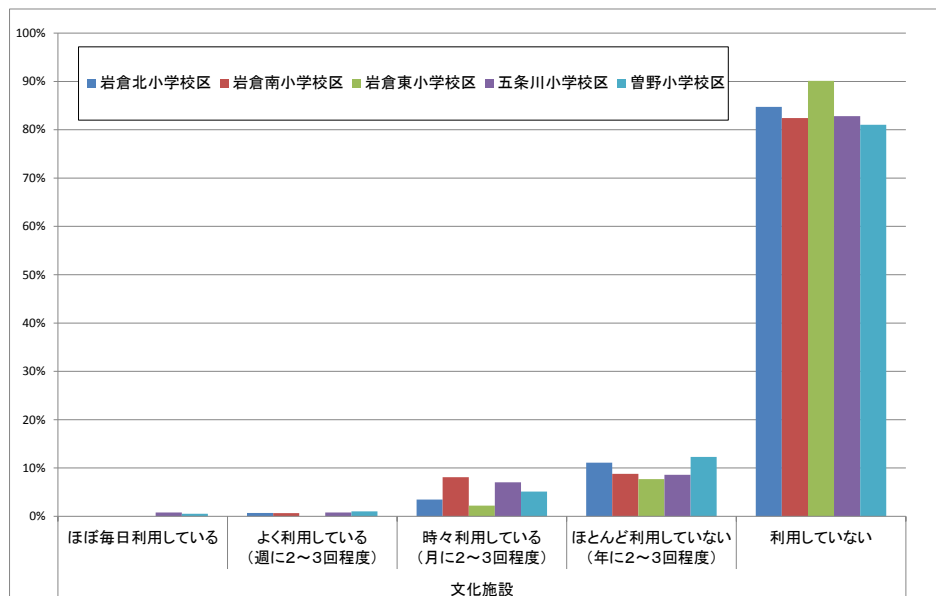
＜集会施設の施設数に関する意見＞



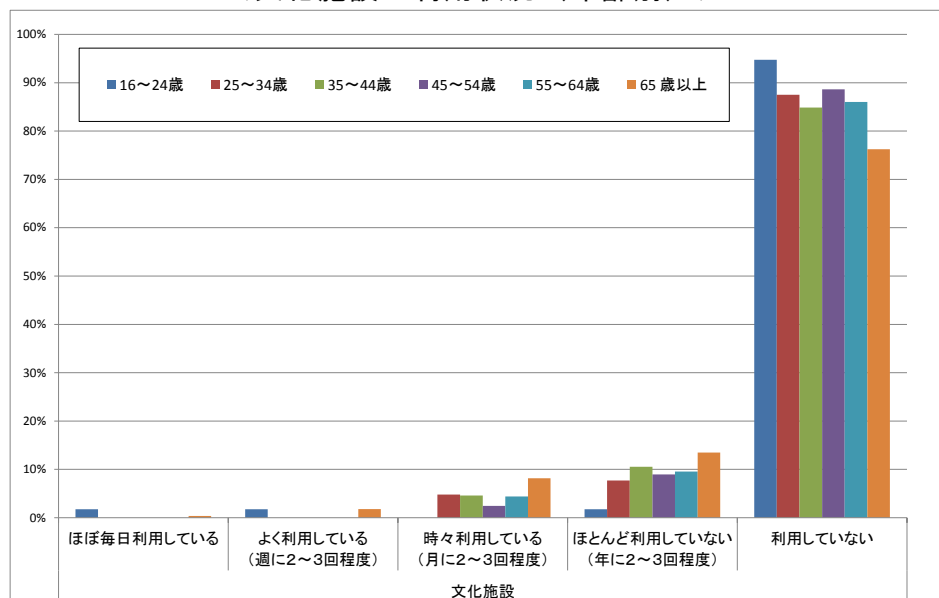
② 文化施設

- ・文化施設の利用状況に対する回答を地区別に見ると、過去1年間に利用した人数の割合は、曾野小学校区が最も多くなっており、年齢別に見ると、65歳以上が最も多くなっています。市民プラザが配置されている岩倉南小学校区は、曾野小学校区に次いで多くなっていますが、設置地区と居住地区の関係性は利用状況に対するアンケート結果からは読み取れないと言えます。

＜文化施設の利用状況（小学校区別）＞

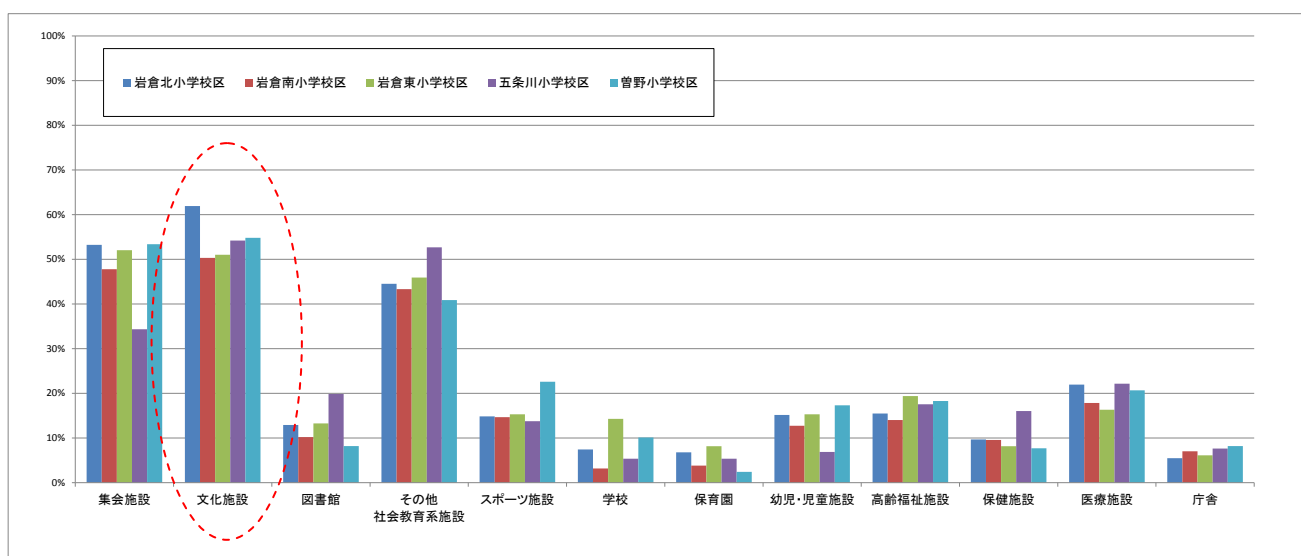


<文化施設の利用状況（年齢別）>

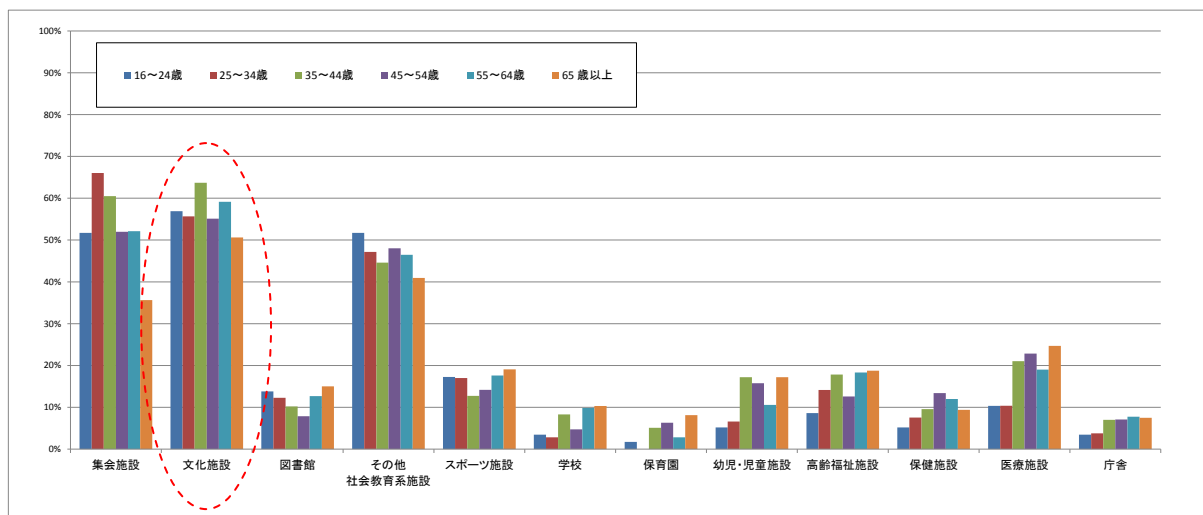


- 文化施設は、「今後、統合・削除していくべきだ」と思う施設に対する回答数が全ての施設類型の中で最も多くなっており、地区別の内訳を見ると、岩倉北小学校区が最も多く、市民プラザが配置されている岩倉南小学校区で最も少なくなっています。また、年齢別に見ると、利用している人数の割合が少なかった35～44歳の回答数が最も多く、利用している人数の割合が多かった65歳以上の回答数が最も少なくなっています。

<今後、統合・削除していくべきだと思う施設（小学校区別）>



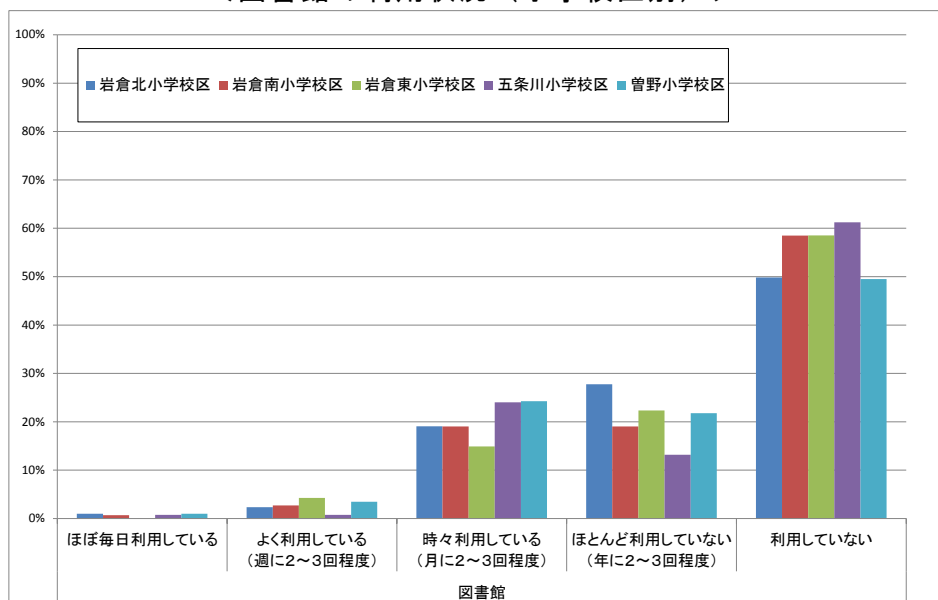
<今後、統合・削除していくべきだと思う施設（年齢別）>



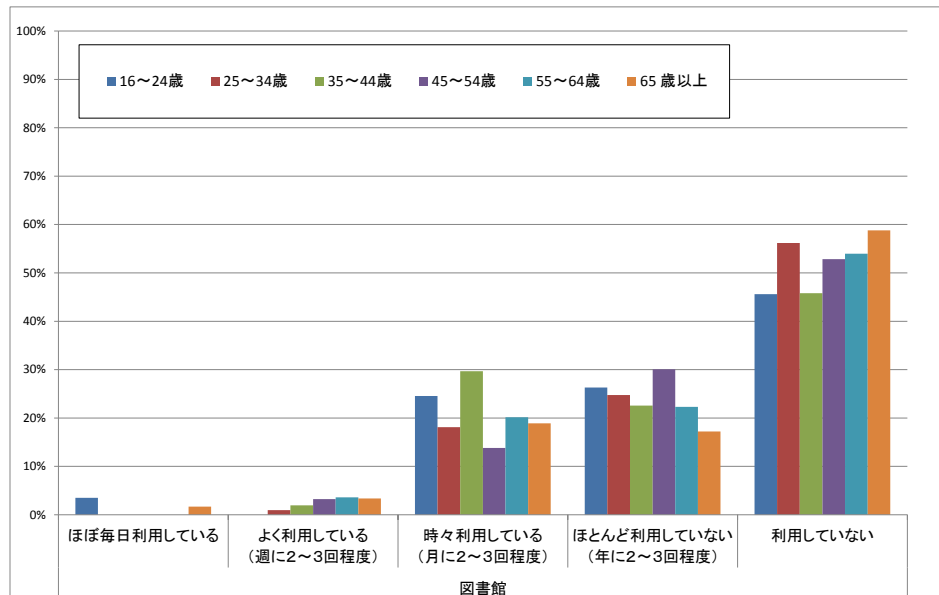
③ 図書館

- ・図書館の利用状況に対する回答を地区別に見ると、過去1年間に利用した人数の割合は、曾野小学校区が最も多くなっており、図書館から最も遠い五条川小学校区が最も少なくなっています。
- ・年齢別に見ると、過去1年間に利用した人数の割合は、学生を含む16～24歳が最も多くなっており、次いで子育て世代を含む35～44歳が多くなっています。利用していないと回答した割合は、65歳以上が最も多くなっています。

<図書館の利用状況（小学校区別）>

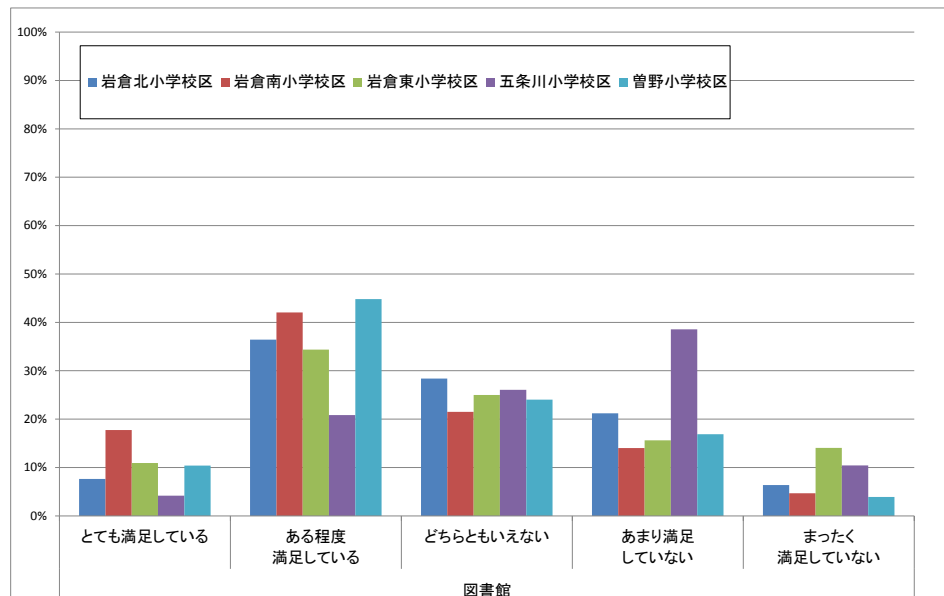


<図書館の利用状況（年齢別）>

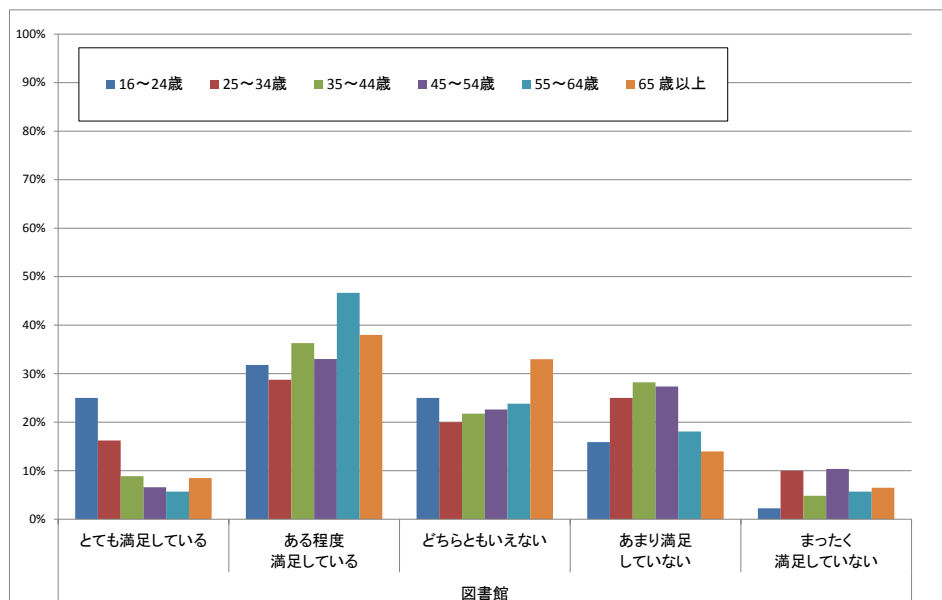


- 施設のハード面（建物本体や設備）の満足度に対する問いでは、満足していないという回答が、全施設類型の中で最も多くなっており、小学校区別に回答を見ると、利用人数が少ない五条川小学校区で満足していないという回答が多くなりました。また、年齢別に回答を見ると、利用人数が多い16～24歳においては、満足しているとの回答が多くなりました。

<図書館のハード面に対する意見（小学校区別）>

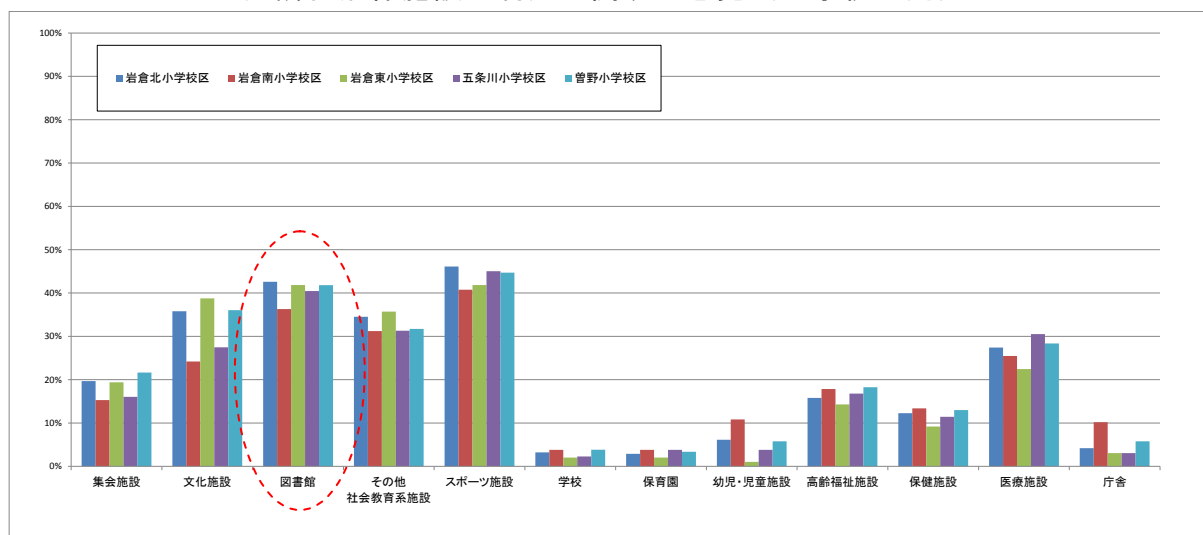


＜図書館のハード面に対する意見（年齢別）＞

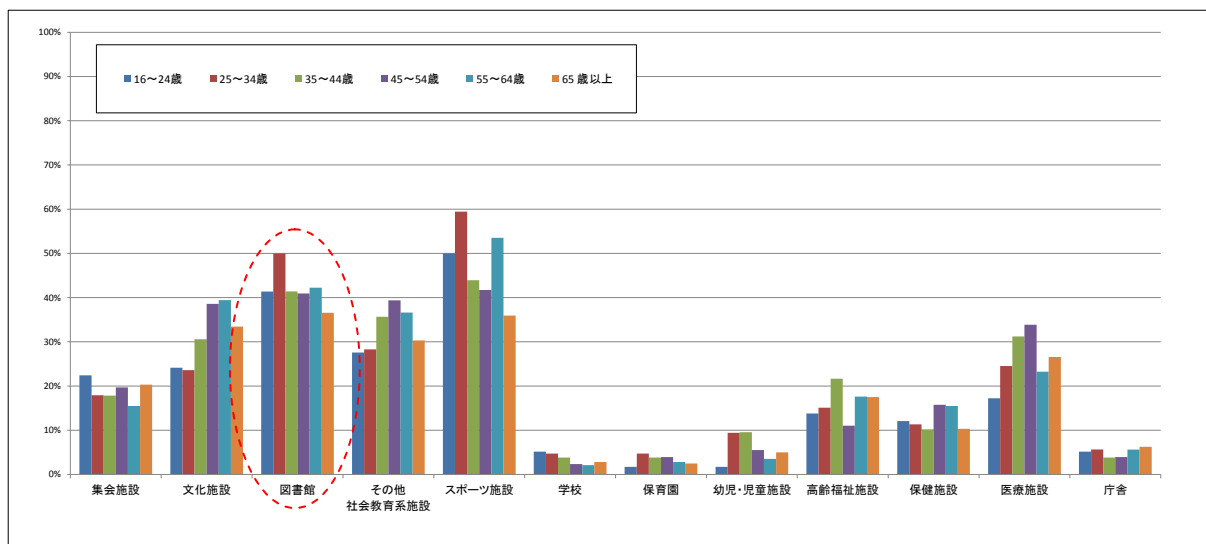


- ・図書館は、「近隣自治体の施設を使用してもよい」に対する回答数がスポーツ施設に次いで多くなっており、図書館の配置されている岩倉南小学校区では回答数が最も少なくなっています。また、年齢別に見ると、利用していないと回答した人数の割合が65歳以上に次いで多い25～34歳の回答数が最も多くなっています。

＜近隣自治体施設の利用に関する意見（小学校区別）＞



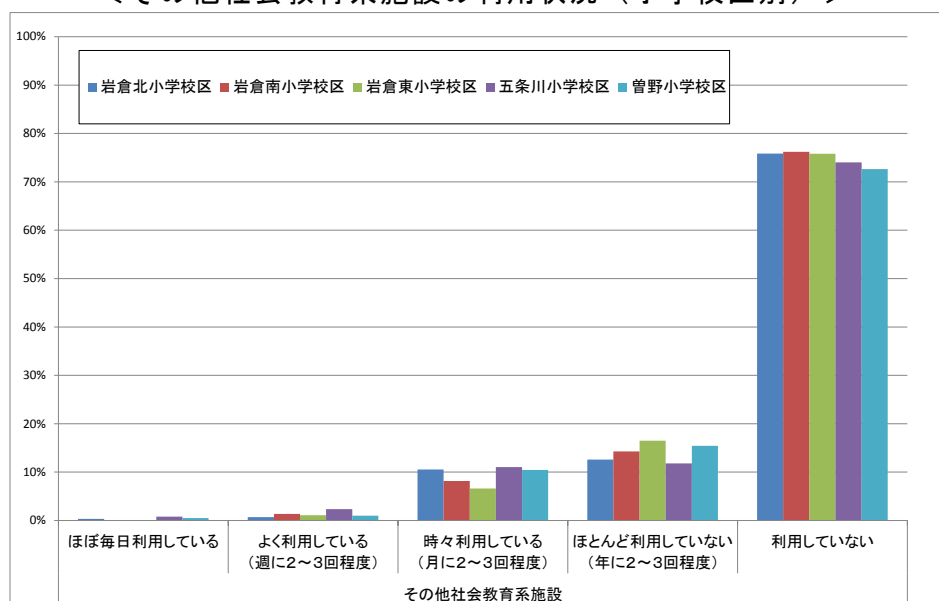
< 近隣自治体施設の利用に関する意見（年齢別） >



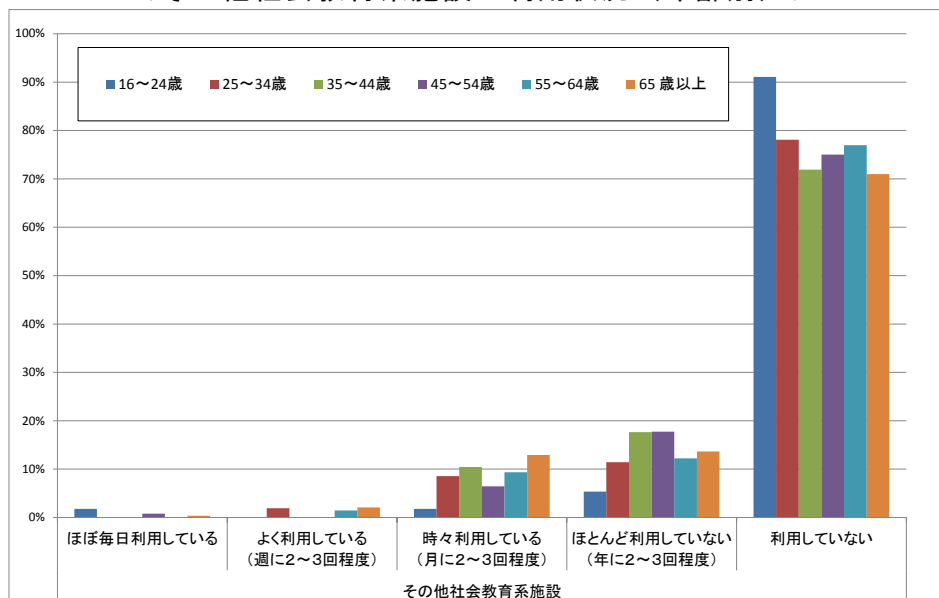
④ その他社会教育系施設

- ・その他社会教育系施設の利用状況に対する回答を地区別に見ると、過去1年間に利用した人数の割合は、曾野小学校区が最も多くなっていますが、居住地区により大きな偏りは見られません。
- ・利用状況を年代別に見ると、過去1年間に利用した人数の割合は、65歳以上が最も多く、16~24歳が最も少なくなっており、生涯学習センターの利用状況が反映されていると思われます。

< その他社会教育系施設の利用状況（小学校区別） >

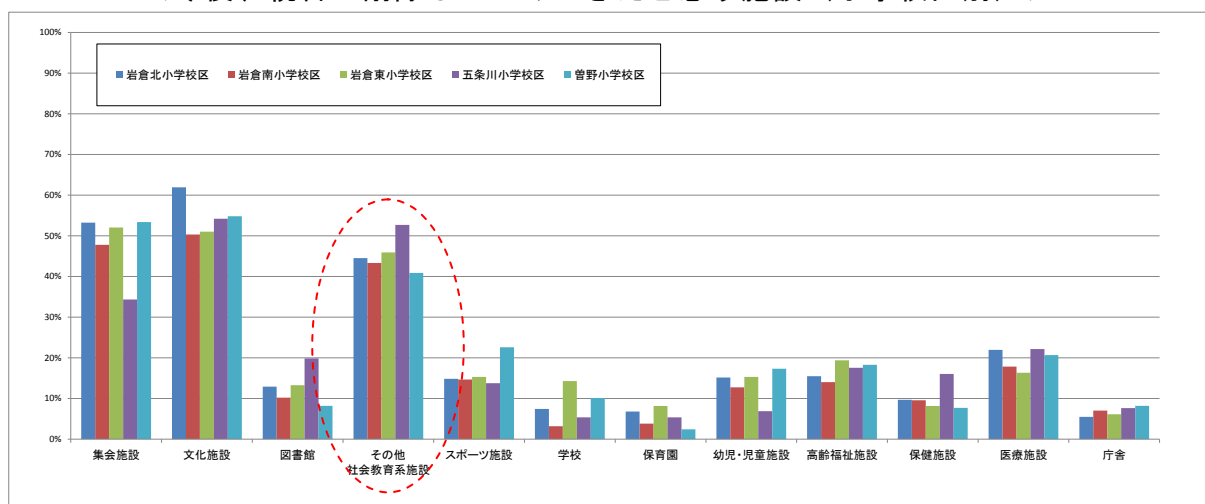


＜その他社会教育系施設の利用状況（年齢別）＞

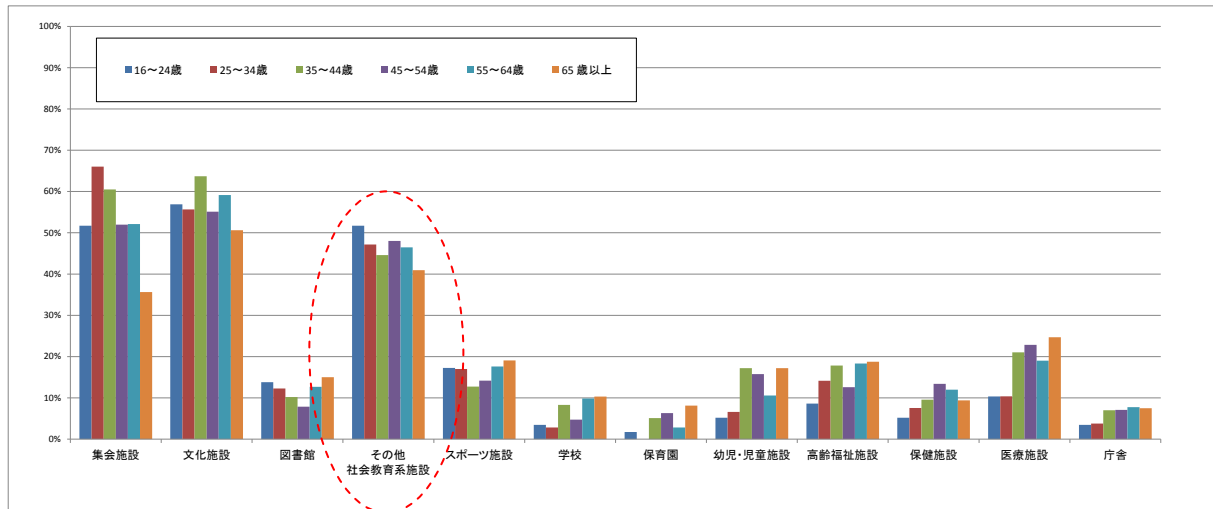


- ・その他社会教育系施設は、「今後も維持すべき施設」に対する回答数が文化施設に次いで低くなっており、「統合・削除していくべきだと思う施設」に対する回答では、文化施設、集会施設に次いで高くなっています。生涯学習センターは、岩倉駅に隣接しており、岩倉北小学校区、岩倉南小学校区、曾野小学校区の3つの小学校区が接している位置近くに配置されており、「統合・削除していくべきだと思う施設」に回答した地区別の内訳を見ると、生涯学習センターから最も離れている五条川小学校区の回答数が最も少なく、次いで岩倉東小学校区が少なくなっています。また、「統合・削除していくべきだと思う施設」に回答した年齢別の内訳をみると、利用していないと回答した人数の割合が最も多い16～24歳が最も多く、過去1年間で利用した人数の割合が最も多い65歳以上の回答は最も少なくなっています。

＜今後、統合・削除していくべきだと思う施設（小学校区別）＞



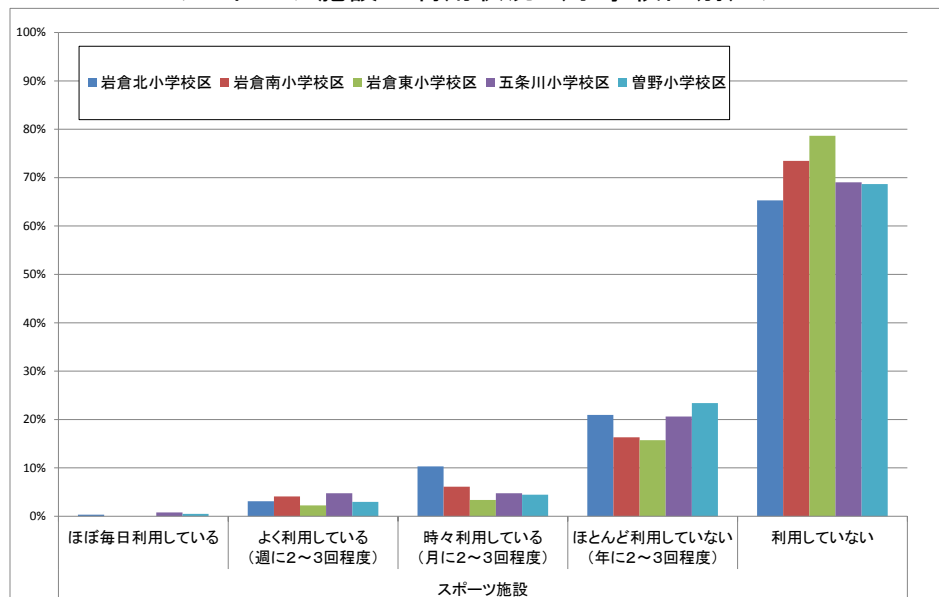
<今後、統合・削除していくべきだと思う施設（年齢別）>



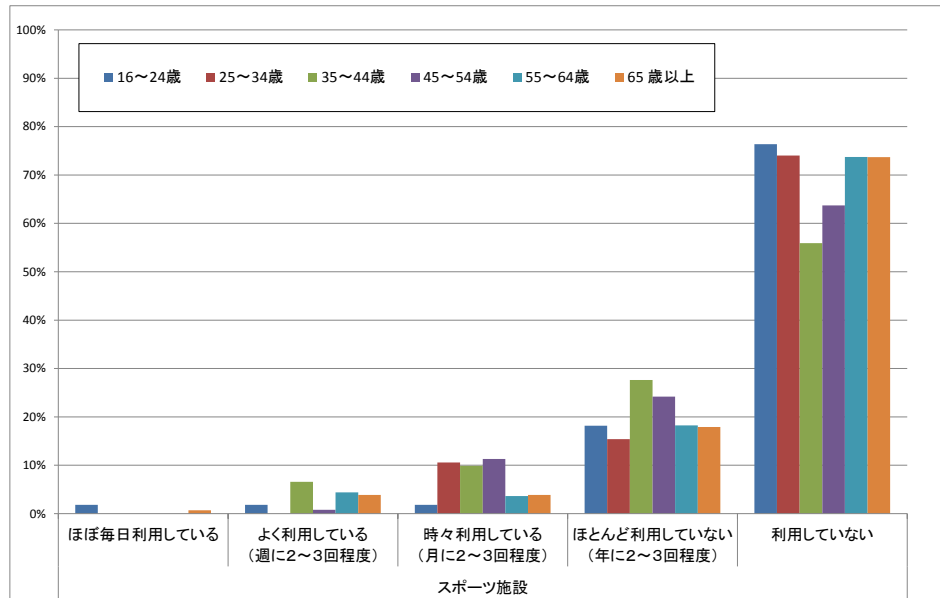
⑤ スポーツ施設

- ・スポーツ施設の利用状況に対する回答を地区別に見ると、過去1年間に施設を利用した人数の割合は、スポーツ施設4施設のうち2施設が配置されている岩倉北小学校区が最も多くなっています。
- ・年齢別の利用状況を見ると、過去1年間に施設を利用した人数の割合は、35～44歳が最も多くなっています。

<スポーツ施設の利用状況（小学校区別）>

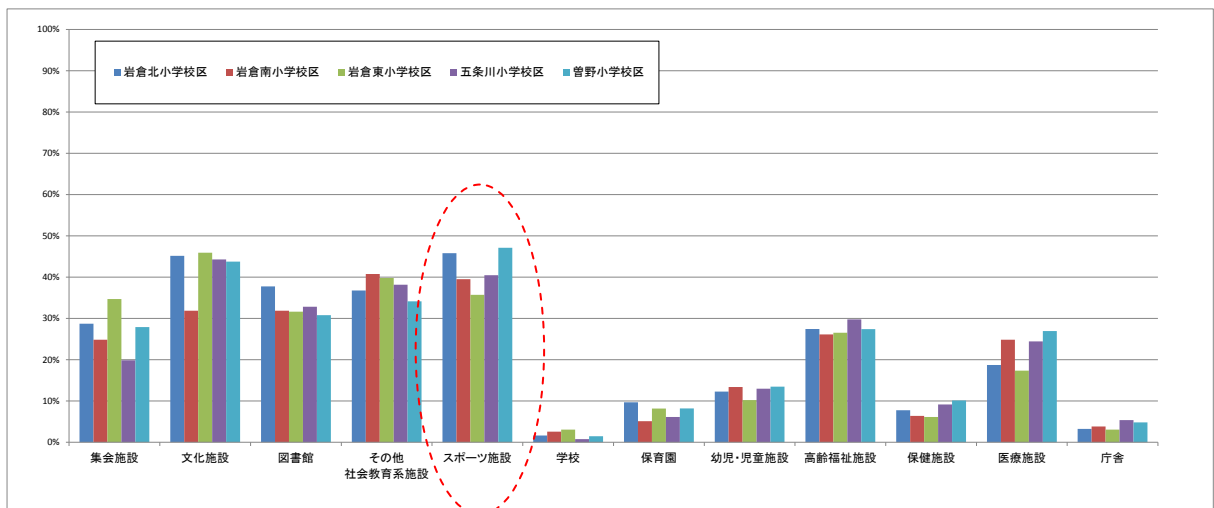


<スポーツ施設の利用状況（年齢別）>

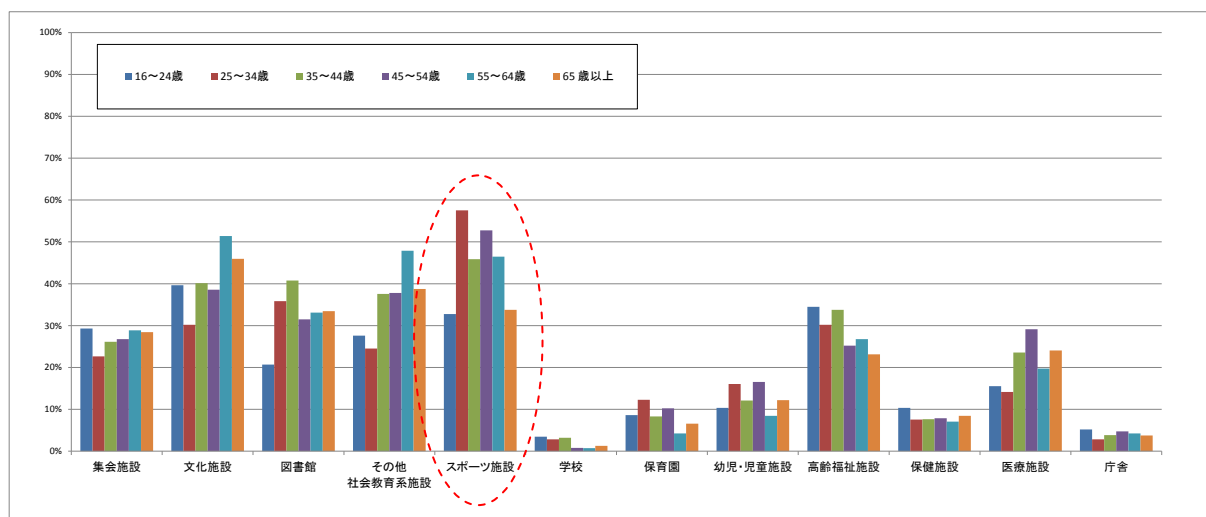


- ・スポーツ施設は、「民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設」及び「民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設」に対する回答が、全ての施設類型の中で最も多くなっています。「民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設」に対する回答の地区別の内訳を見ると、利用状況が最も低い岩倉東小学校区では回答数が少なく、利用状況が高い岩倉北小学校区及び曾野小学校区の回答数が多くなっています。また、年齢別の内訳を見ると、利用している人数の割合が高い35～44歳、45～54歳の回答も約5割と多いが、利用していない人数の割合が高い25～34歳、55～64歳でも回答が多くなっています。特に、25～34歳は6割近い回答者が民間へ転換、または管理運営してもよいと考えています。

<民間への転換に関する意見（小学校区別）>



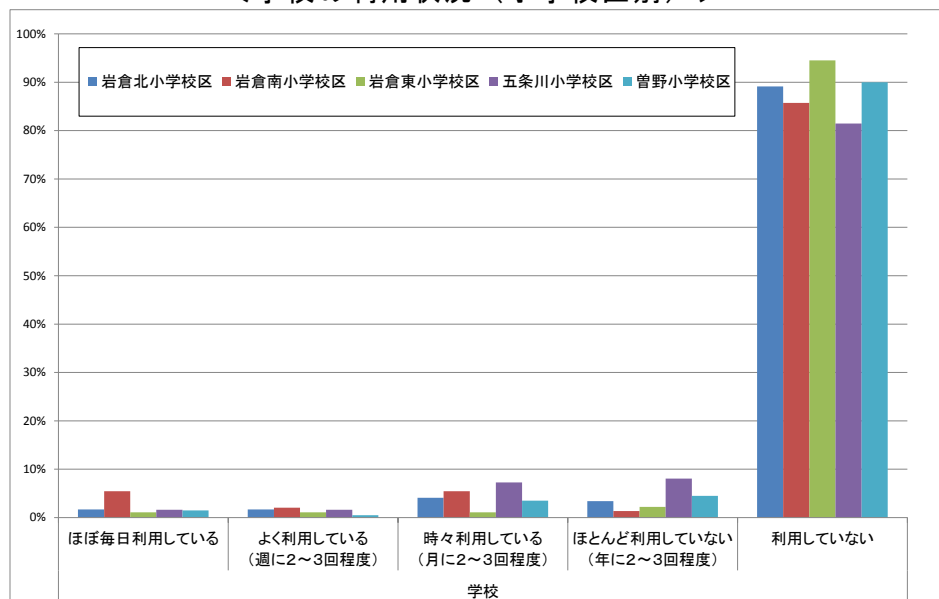
<民間への転換に関する意見（年齢別）>



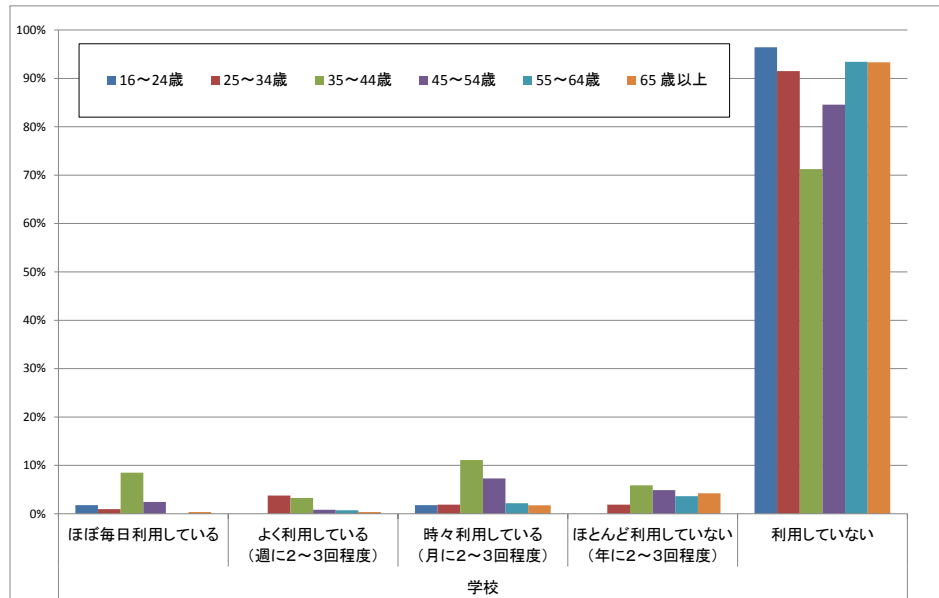
⑥ 学校

- 学校の利用状況に対する回答を地区別に見ると、過去1年間に利用した人数は、五条川小学校区が最も多くなっていますが、全ての地区において利用していないと回答した人数は、8割を超えています。
- 利用状況を年齢別に見ると、過去1年間に利用した人数は35~44歳が最も多く、スポーツ施設を利用していると回答した人数が最も多い年齢と一致しています。

<学校の利用状況（小学校区別）>



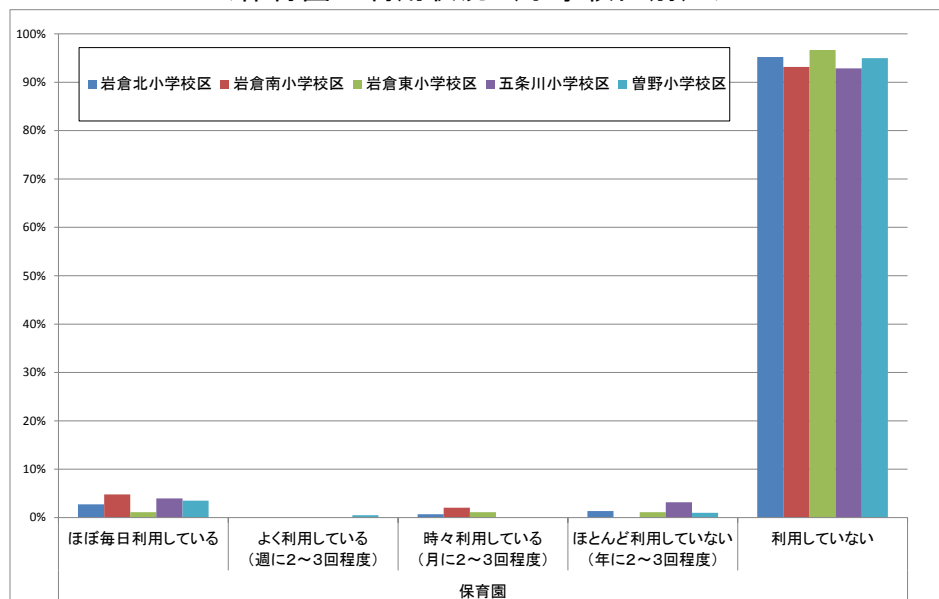
< 学校施設の利用状況（年齢別） >



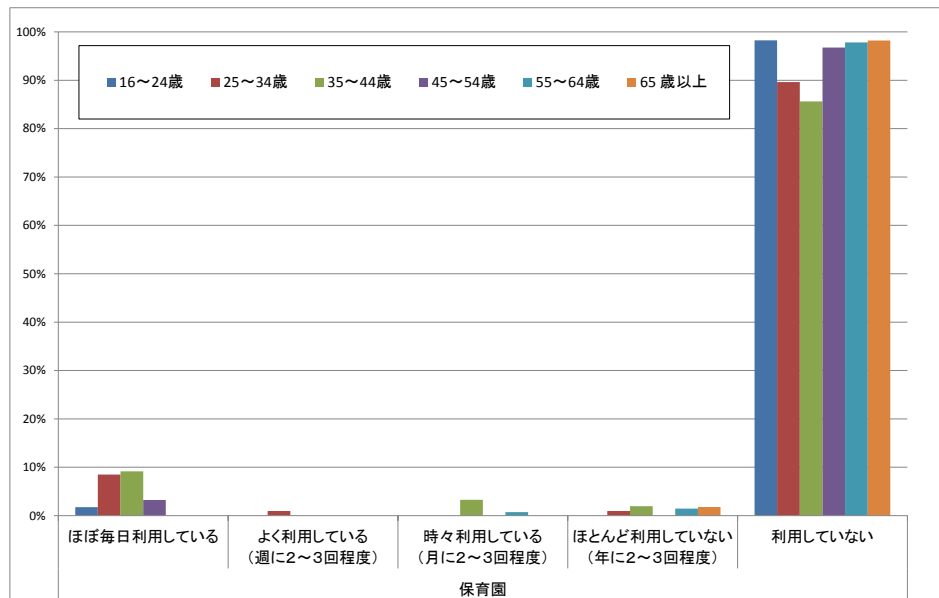
⑦ 保育園

- ・ 保育園の利用状況に対する回答を地区別に見ると、全ての地区において、利用していないと回答した人数が9割を超えています。
- ・ 年齢別に利用状況を見ると、25～34歳、35～44歳において、ほぼ毎日利用していると回答した人数が多く、25～44歳において、保育園児を持つ保護者が多いと推測されます。

< 保育園の利用状況（小学校区別） >

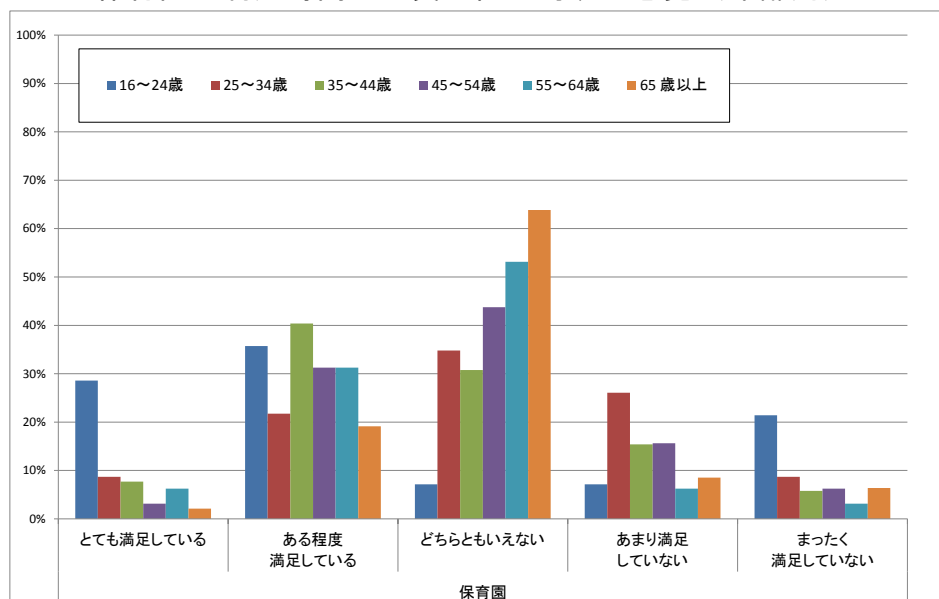


< 保育園の利用状況（年齢別） >



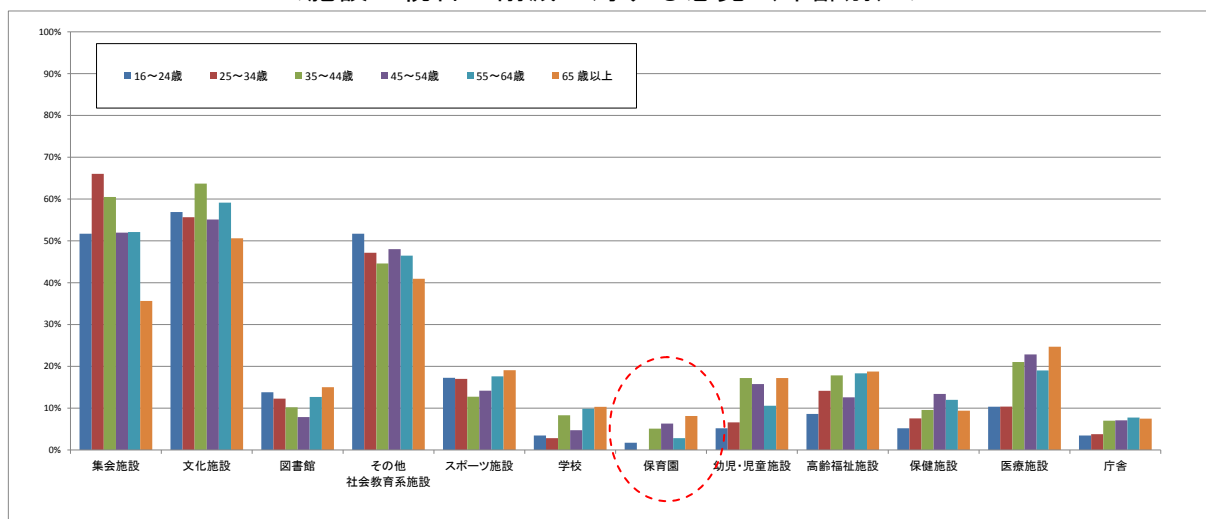
- 施設の利用時間・人員配置の評価に対する回答では、満足していないという回答が19.9%となっており、スポーツ施設、医療施設に次いで多くなりました。ほぼ毎日利用していると回答した25～34歳、35～44歳のうち、35～44歳では「ある程度満足している」という回答が多かったのに対し、25～34歳では「あまり満足していない」との回答が多くなりました。

< 保育園の利用時間・人員配置に対する意見（年齢別） >

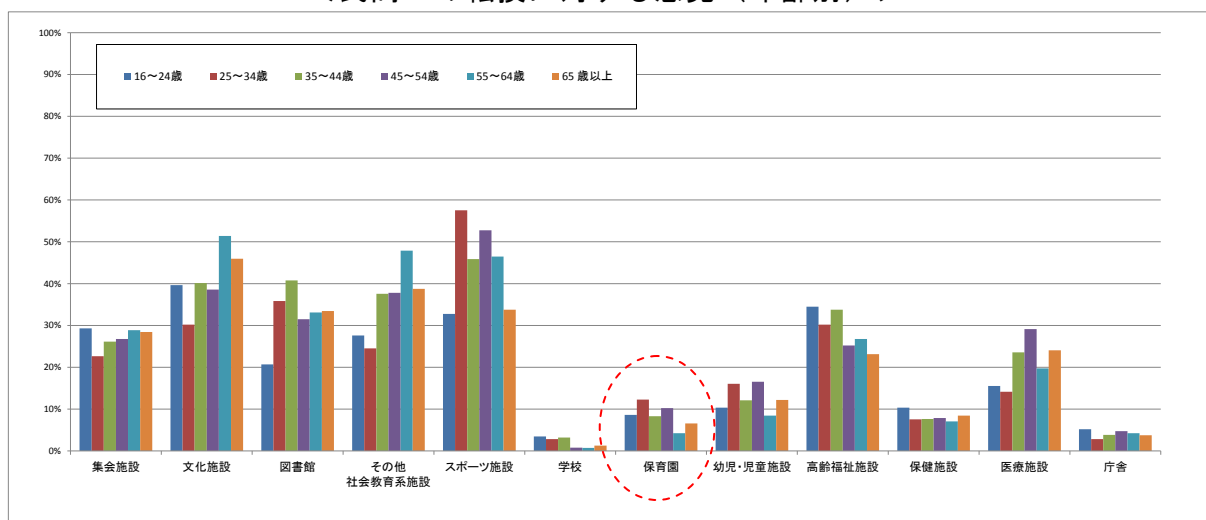


- ・保育園は、「統合・削除していくべき」施設に対する回答数が、全ての施設類型の中で最も少なくなっており、「民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設」に対する回答は、学校、庁舎に次いで少なくなっています。「統合・削除していくべき」施設に対する回答の年齢別の内訳を見ると、ほぼ毎日利用していると回答した割合の多い25～34歳の回答数は0となっています。また、「民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設」に対する回答の内訳を見ると、全ての年齢において回答数は少ないものの、ほぼ毎日利用していると回答した割合の多い25～34歳の回答数が最も多くなっています。

<施設の統合・削減に対する意見（年齢別）>



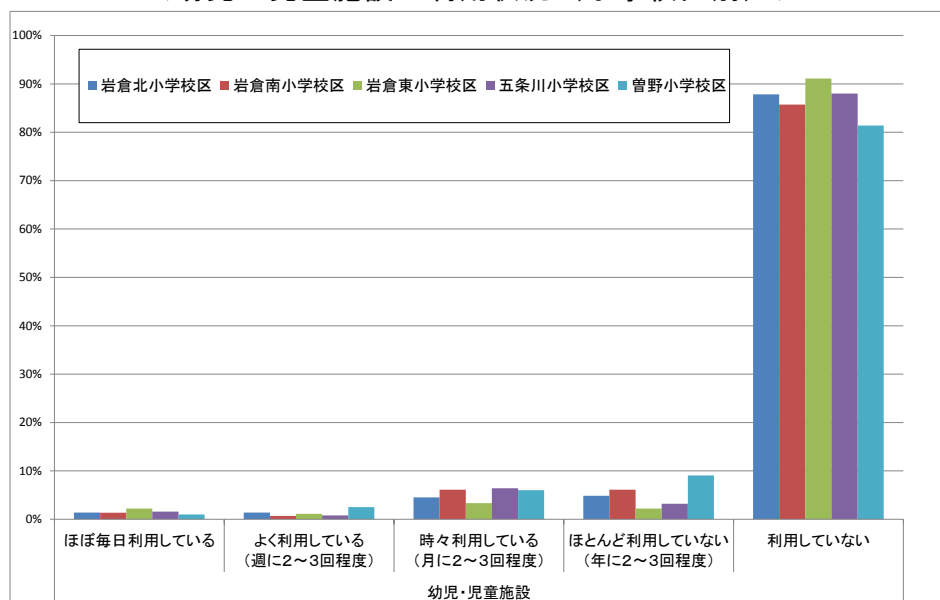
<民間への転換に対する意見（年齢別）>



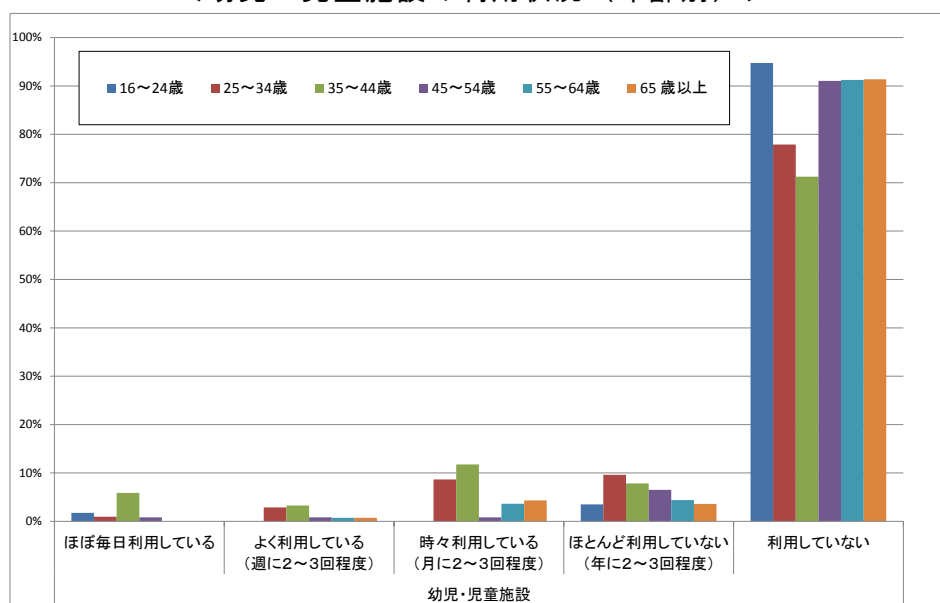
⑧ 幼児・児童施設

- ・ 幼児・児童施設の利用状況に対する回答を地区別に見ると、過去 1 年間に利用した人数の割合は、児童館が 3 施設配置されている曾野小学校区が最も多くなりました。
- ・ 年齢別に利用状況を見ると、過去 1 年間に利用した人数は、25～34 歳及び 35～44 歳が最も多くなっています。また、ほぼ毎日利用していると回答した人数は 35～44 歳が最も多くなっており、放課後児童クラブを利用している児童の保護者による利用と推測されます。

＜幼児・児童施設の利用状況（小学校区別）＞

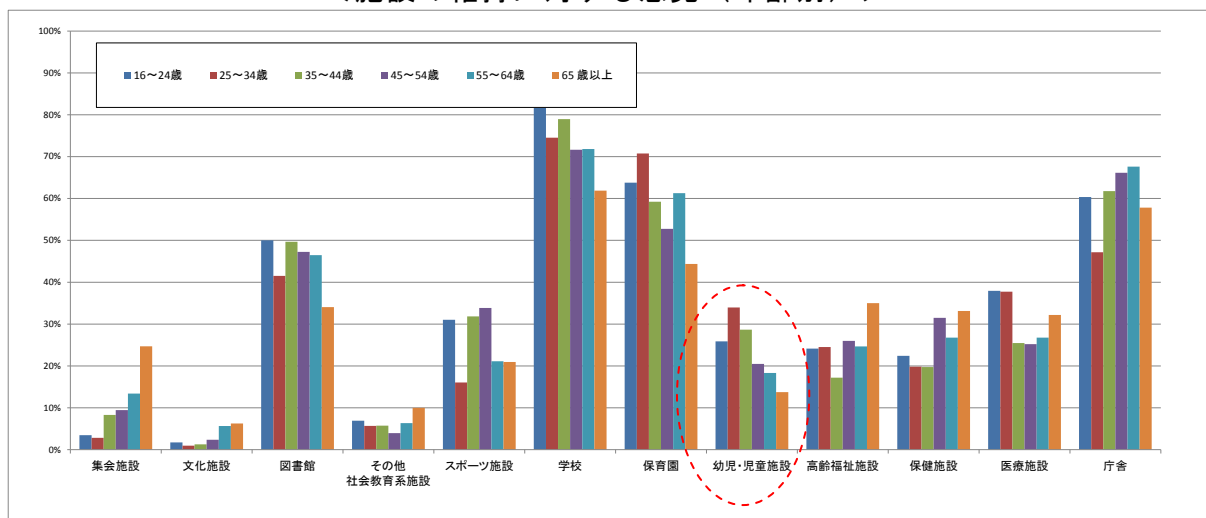


＜幼児・児童施設の利用状況（年齢別）＞



- ・幼児・児童施設は、「今後も維持すべきだと思う施設」に対する回答数が、文化施設、その他社会教育系施設、集会施設について4番目に少なくなっているが、年齢別の内訳を見ると、過去1年間に利用している割合が高い25～34歳及び35～44歳の回答は、保健施設や高齢福祉施設よりも多くなっています。

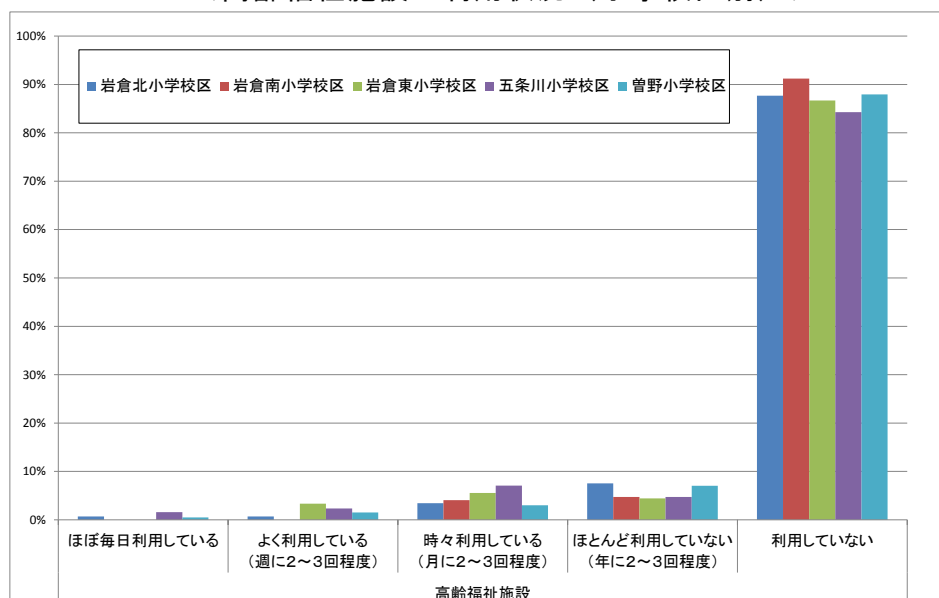
＜施設の維持に対する意見（年齢別）＞



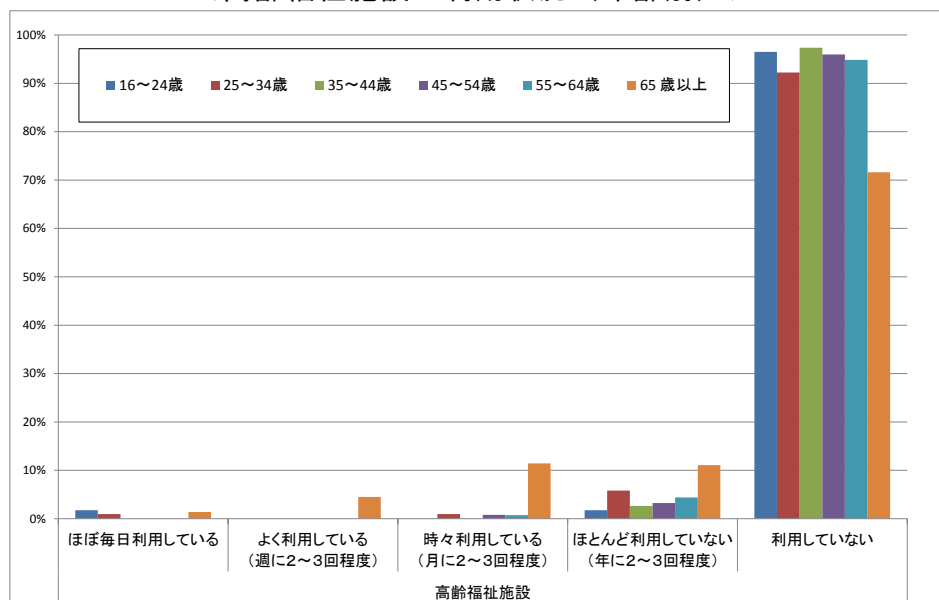
⑨ 高齢福祉施設

- ・高齢福祉施設の利用状況に対する回答を地区別に見ると、過去1年間に利用した人数の割合は、多世代センターさくらの家が配置されている五条川小学校区が最も多くなっています。
- ・利用状況に対する回答を年齢別に見ると、過去1年間に利用した人数の割合は、65歳以上が最も多くなっています。

＜高齢福祉施設の利用状況（小学校区別）＞

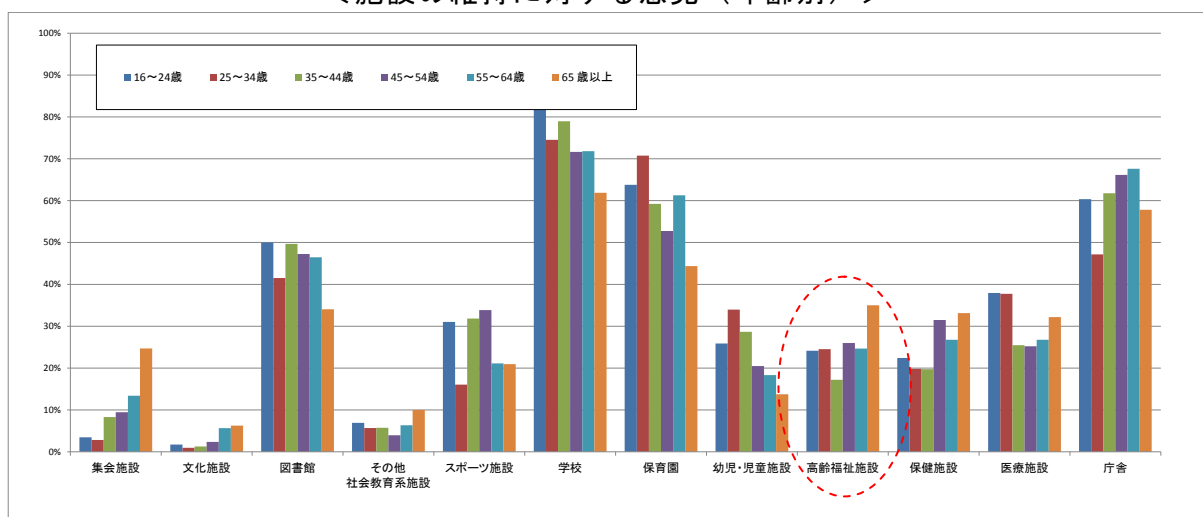


< 高齢福祉施設の利用状況（年齢別） >

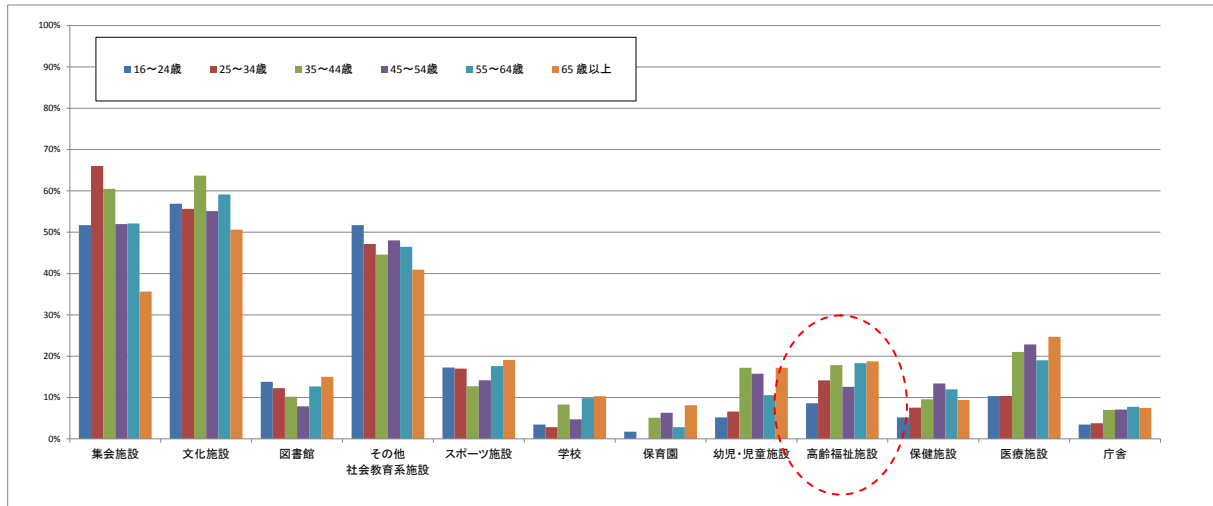


- ・高齢福祉施設は、「今後も維持すべきだと思う施設」に対する回答数が、スポーツ施設、保健施設、医療施設等と並び多くはないが、年齢別の内訳を見ると、過去1年間に利用している割合が高い65歳以上の回答は、学校、庁舎、保育園に次いで多くなっています。また、「今後、統合・削除していくべき」施設に対する回答では、回答数は多くないものの、回答に対する年齢別の内訳を見ると、過去1年間に利用している割合が高い65歳以上の回答が最も多くなっています。

< 施設の維持に対する意見（年齢別） >



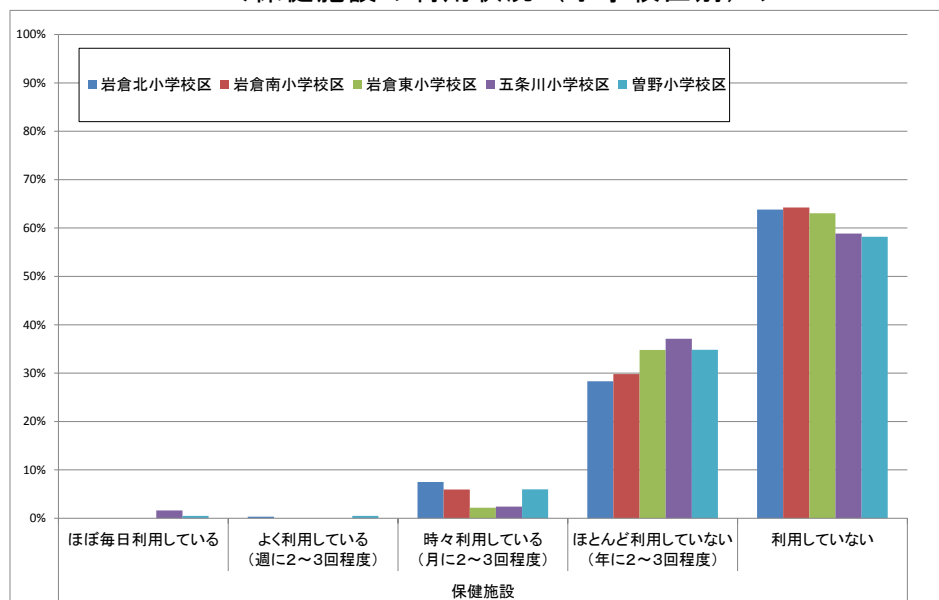
<施設の統合・削除に関する意見（年齢別）>



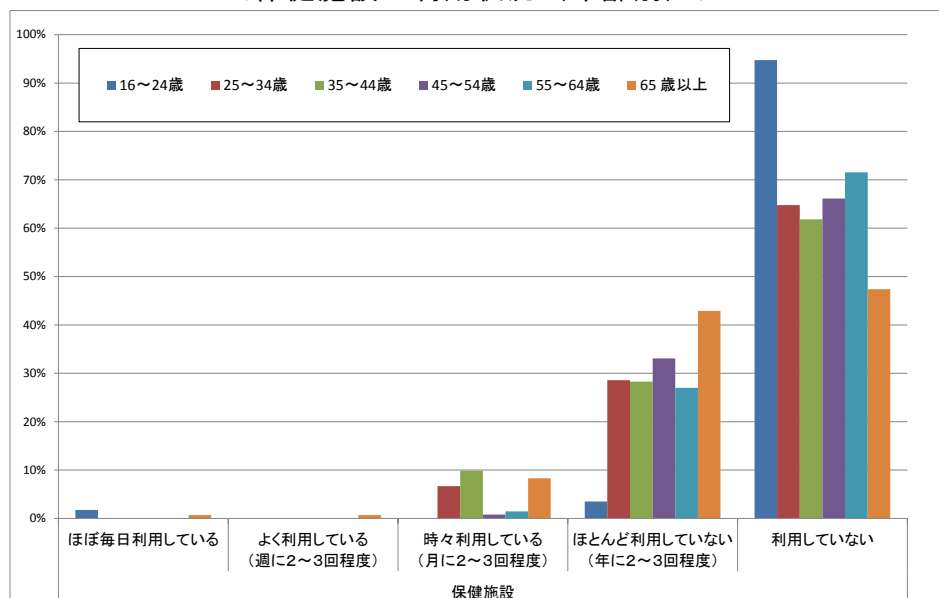
⑩ 保健施設

- 保健施設の利用状況に対する回答を地区別に見ると、全ての小学校区において、「年に2～3回程度利用している」人数の割合が、「利用していない」に次いで多くなっています。
- 利用状況に対する回答を年齢別に見ると、16～24歳においては、利用していない人数が9割を超え最も多くなっています。また、65歳以上においては、5割を超える人が、過去1年間に保健施設を利用しています。

<保健施設の利用状況（小学校区別）>



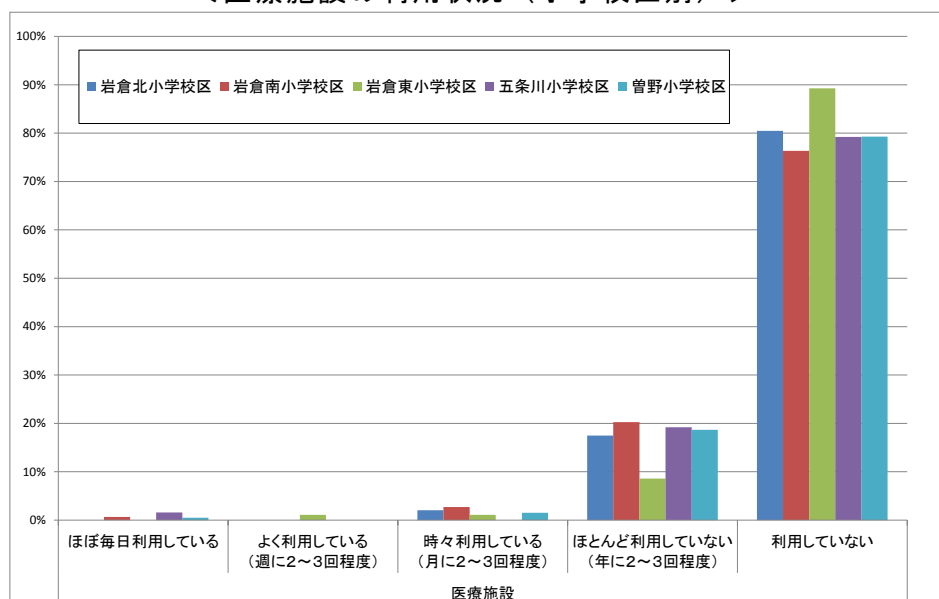
<保健施設の利用状況（年齢別）>



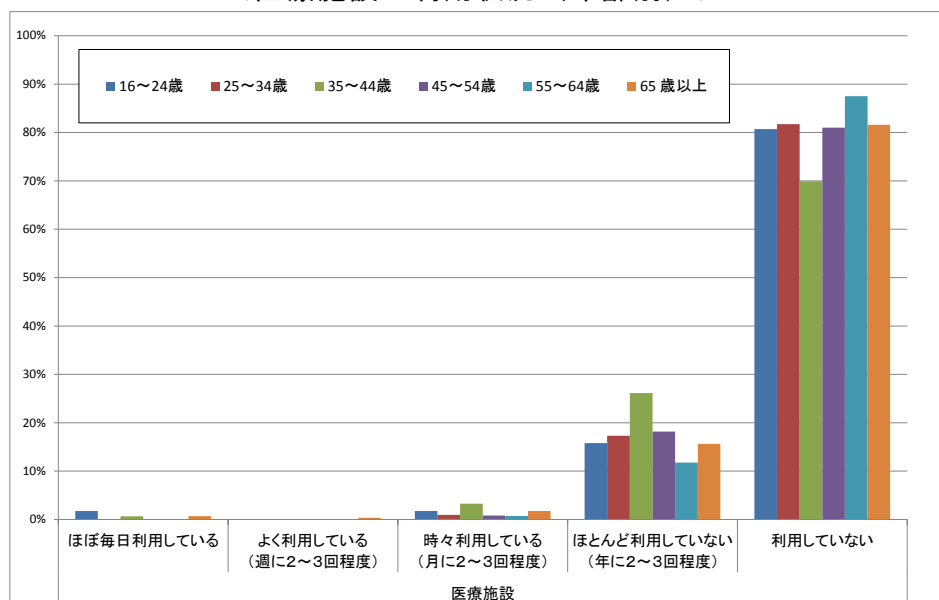
⑪ 医療施設

- ・医療施設の利用状況に対する回答を地区別に見ると、岩倉東小学校区において、過去1年間に医療施設を一度も利用していない人の割合が、最も多くなっています。
- ・利用状況に対する回答を年齢別に見ると、35～44歳において、過去1年間に医療施設を利用した人の割合が高くなっています。

<医療施設の利用状況（小学校区別）>

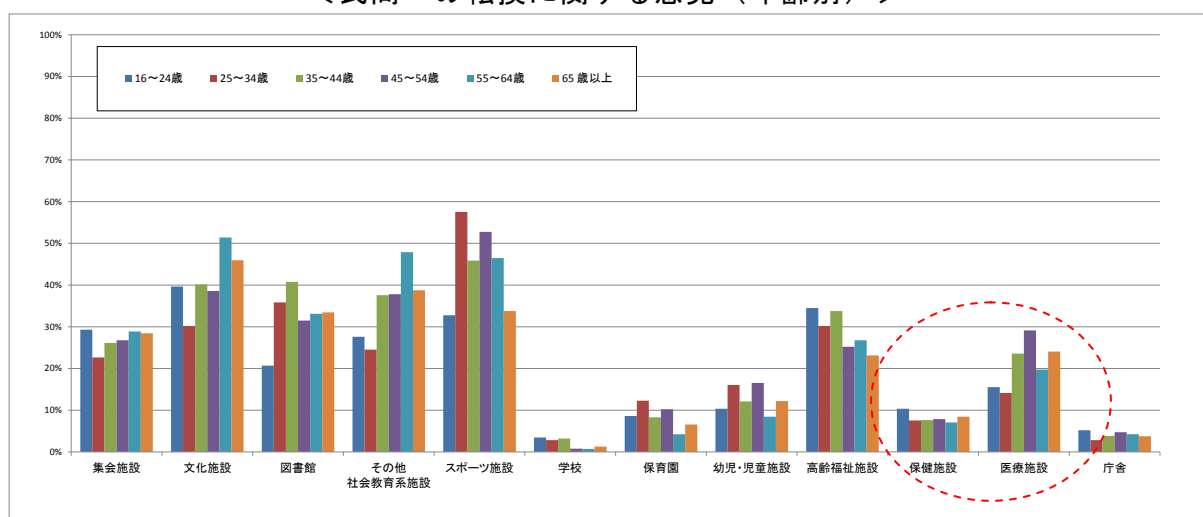


<医療施設の利用状況（年齢別）>

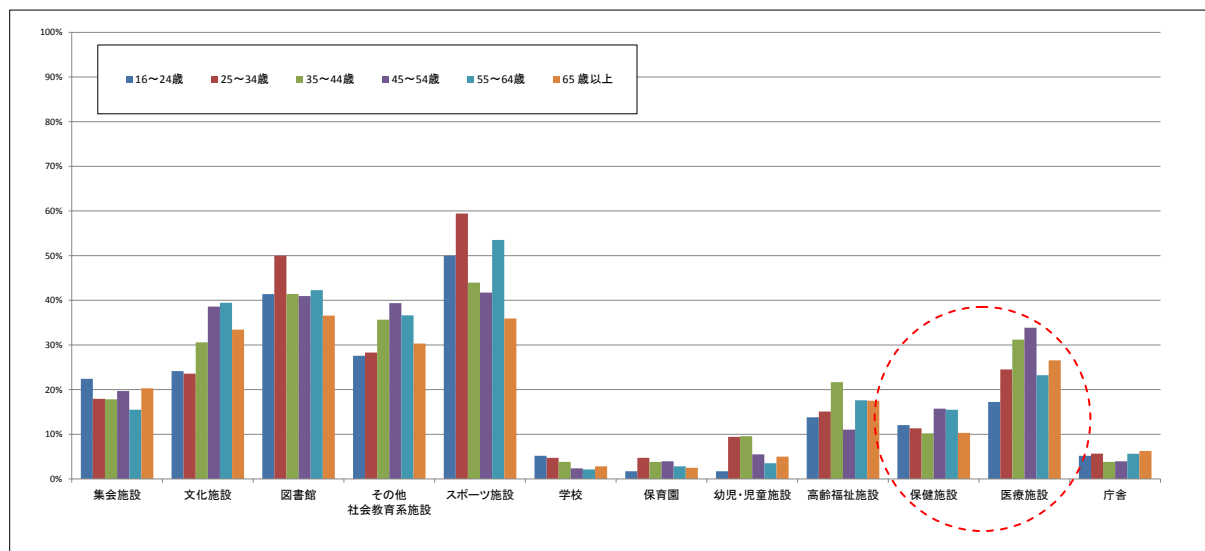


- 医療施設は、「今後も維持すべきだと思う施設」に対する回答数が、全体の 30.2% となっており、併設している保健施設の 27.4% と大きな差は無いと言えますが、「民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設」及び「近隣自治体の施設を使用してもよいと思う」施設に対する回答では、保健施設の倍以上の回答数となっています。どちらも、過去一年間に利用している人数の割合が多い 35～44 歳の回答数は他の年齢と比べ比較的多くなっています。

<民間への転換に関する意見（年齢別）>



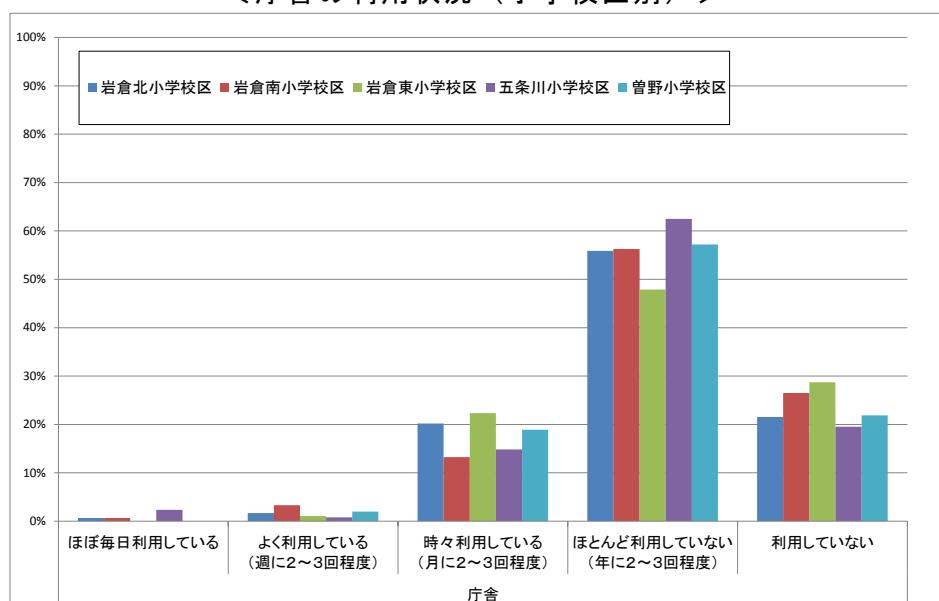
< 近隣自治体の利用に関する意見（年齢別） >



⑫ 庁舎

- ・ 庁舎の利用状況に対する回答を地区別に見ると、全ての小学校区において、「年に 2 ～3 回程度」利用していると回答した人数の割合が高くなっている。
- ・ 利用状況に対する回答を年齢別に見ると、55～64 歳において、過去 1 年間に施設を利用した人の割合が高くなっている。

< 庁舎の利用状況（小学校区別） >



< 庁舎の利用状況（年齢別） >

